

起因物、事故の型：乗用車、バス、バイク - 交通事故（道路）の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	15～16	道路の3車線の真ん中を走行中、左車線に侵入してしまい、走行中の大型ワンボックスカーと衝突し、首と左肩を痛め、回転性のめまいで入院し、痺れもある。	48	90101	30～49
1	12～13	集荷を終え、帰局する際に直進で走行中、信号の無い交差点エリアで、左方から一時停止をせずに勢いよく相手車両が飛び出し、左前角と左後角を二段階で衝突され、右前方の雪山に乗り上げた。	38	110101	10～29
1	7～8	排雪作業中の片側規制を実施していたところ、フロントガラス凍結で、前方不注意の軽乗用自動車が規制中の整備員に気付かず、走行して来て、規制車の手前でやっと止まった時も人を撥ねた事に気づかなかった。	58	170201	50～99
1	9～10	国道を業務のため走行中、緩やかな左カーブで路面がアイスバーンのためハンドルを取られ、スリップして左側歩道に乗り上げ、走行車線に戻ろうとしたがスリップし、対向車線へと飛び出してしまい、対向車に正面衝突したものである。	72	80109	10～29
1	18～19	送迎業務を終え、ガソリンスタンドで給油し、会社（右方向）へ戻るのに中央分離帯をかわすため一度左折し、片側2車線の左側車線に進み、その車線からUターンしようとして右ウインカーをあげて右折したところ、右側車線を走行してきた車両が運転席側に衝突し、右肩を負傷し、右肩脱臼と靭帯断裂を負った。	57	10101	300～499
1	20～21	バスの運行業務が終了し、営業所に回送している途中、バスが交差点を先頭で信号待ちのため停車していたところ、すぐ後ろの自家用車が後続	56	40202	30～49

		車に追突され、その勢いでバスに追突し負傷した。			
1	18～ 19	被災者はタクシーに乗り業務中、当方が直進していたところ、見通しの悪い所から相手方が出て来たのに気づき、ブレーキを踏んでハンドルを右に切ってかわそうとしたが避けきれず、接触した事故である。	47	40201	100 ～ 299
1	9～ 10	走行中、雪道の轍でハンドル操作を誤った相手車両が、当社車両に衝突した。	50	80109	10～ 29
1	6～7	朝刊配達中、次の配達先へ向かう為、小道から道路に左折で侵入した後、後方からの車がスリップし、そのまま追突された。その際、頭部・頸部・右肩・左下腿を負傷した。	49	80205	30～ 49
1	9～ 10	訪問先に向かうため社用車を運転中、店舗駐車場から突然車線上に車両が進入してきた。確認と同時にブレーキをかけたが、スリップして回避できず、自車の右前部と相手車の左前部が衝突し、その反動で左側のゴミステーションへ衝突した。	39	130201	50～ 99
1	12～ 13	バイクで配達時、凍結路面でスリップしてタイヤがロックし、転倒してバイクの下敷きとなり、左脇腹を強打した。	32	110101	500 ～ 999
1	9～ 10	野菜配達途中、町道の交差点で、相手方の確認不十分のため、物損事故（自動車事故）により負傷した。	27	60101	10～ 29
1	12～ 13	訪問看護の仕事を終えて、営業車で向かっている途中、トンネル内で急にめまいがし、対向車線にはみ出し、対向車と衝突をした。	46	130201	1～9
1	14～ 15	お客様宅から支部へ帰社途中、バイクで走行中、道路の溝にバイクの前輪がはまり、そのままバイクと共に転倒した。	40	90103	500 ～ 999
1	18～ 19	現場より事業所へ社有車の軽自動車を運転し帰社する途中、県道の交差点を直進していたところ、左手脇道から出てきた2台目の車と接触した。身体に痛みがあったため、救急搬送となった。	53	30199	—
1	4～5	バイクで朝刊を配達していて、右折した時前輪がスリップして転倒し、	53	80205	10～

		ハンドルに右脇腹をぶつけた。			29
1	21～ 22	中央交差点にて右折する際に、対向車線から来た直進車両と衝突事故を起こし頭部と両膝を打撲した。	69	40201	1～9
1	15～ 16	配達を終えた後、強風にあおられ1メートル下の田んぼに落ちてしまった。	36	110101	100 ～ 299
1	13～ 14	第一当事者（被災者）は業務で上記道路を社有車にて走行中、左側道より一時停止を怠った第二当事者（加害者）より、車両後方側面に衝突された。被災者車両は電柱に激突した後、2～3回横転して停止した。	66	170201	30～ 49
1	16～ 17	配達からの帰局途中、路面凍結した道路で自動二輪車の後輪が滑り、とっさに左右両ブレーキをかけたところ、前のめりになって転倒し、右足を地面に打ちつけた。	29	110101	100 ～ 299
1	15～ 16	次の訪問先へ向かう途中、農道（舗装路）を走行中に、進行方向左側からの突風に煽られ、農道右側へバイクの車体が運ばれて田んぼの土手斜面をバイクごと滑り落ちて転倒した。	60	110101	50～ 99
1	10～ 11	補修工事のため、下り車線に工事帯がある片側交互通行の上り線で交通誘導警備中、上り線の車両を停止誘導し同僚警備員が下り線の車両を上り線に流していたところ、流された加害車両が工事帯を避けて上り車線を通行し、工事帯を過ぎても下り車線側に戻らず上り車線を直進してきたため、その車両に轢かれてしまった。	35	170201	50～ 99
1	2～3	トラックを運転走行中、信号のある十字路交差点に青信号で直進していたところ、対向右折車と衝突事故を起こした。	54	11305	10～ 29
1	13～ 14	オフィスから約束のお客様と打ち合わせ先である飲食店へ、同僚の運転する車に同乗して向かう際、待ち合わせ先の駐車場に入るためウイカーを出して停車したところ、後方よりトラックに追突され、頸椎・腰椎捻挫・肋骨骨折・左足痺れ・めまい・吐気・頭痛を負った。	34	90103	—
		オフィスから約束のお客様と打ち合わせ先である飲食店に車で向かう			

1	13～ 14	際、待ち合わせ先の駐車場に入るためウインカーを出して停車したところ、後方よりトラックに追突され、首のムチウチ、めまい、両腕に痺れ、左骨盤あたりに内出血を負った。	26	90103	—
1	10～ 11	住宅街の中の道路で、配達を行っているとき、次の配達先に行く際に右折するため中央へ進路変更を行った。右前方に歩行者がいたため左側に進路変更して減速したところ、後方の自動車が追い抜きをかけようとして後方を確認せずに右折を開始し、後方の自動車と衝突した。	31	110101	100 ～ 299
1	15～ 16	バイクで集金業務中、交差点において左側より走行して来た第三者運転車輦と出合い頭に衝突し負傷した。	51	80205	1～9
1	12～ 13	T字路を自動二輪車で配達作業中、左折するため、T字路手前で停車していた所、左側から左折してきた相手自動車が衝突してきた。局社員は左側に倒れ、ひじと膝を打撲する怪我を負った。	41	110101	100 ～ 299
1	20～ 21	訪問介護利用者宅へ公用車で移動途中、進行方向である交差点の信号が青であることを確認した上で直進していたが、交差する道の左側から相手方の車が出てきて、ブレーキを踏む間もなく衝突し、エアバッグもしくはハンドルに腹部を強打した。	29	130201	30～ 49
1	19～ 20	渋滞のため停車していたところ後方より普通車に追突される。	62	40201	300 ～ 499
1	11～ 12	営業部から顧客宅へ向かうと途中、原付で交差点手前信号が青になったので進もうとした所、相手（車）が曲がってはいけない所を曲がろうと急に出てきたので回避できず、ぶつかってしまった。	23	90103	50～ 99
1	18～ 19	タクシー運転業務中、歩行者の横断待ちのため停止したところ、後方のタクシーが止まりきれず、当方に追突したため負傷した。	48	40201	500 ～ 999
1	18～ 19	バイク走行中風が強く、トンネルから出た際、風に煽られて左側のガードレールに車体が接触した。体勢を立て直そうと右に体重移動した際、	17	80209	—

		勢い余って反対車線の歩道まで転倒した。			
1	13～ 14	従業員用業務連絡バスの右後方座席に乗車し、訓練センターへ移動する際、当該場所交差点の左側信号機に当該バスが追突し、全身打撲と右腕を骨折する怪我を負った。	52	170202	500 ～ 999
1	13～ 14	従業員用業務連絡バスの右先頭座席に乗車し、訓練センターへ移動する際、当該場所交差点の左側信号機に当該バスが追突し、全身打撲と顔面・鼻骨を骨折する怪我を負った。	54	170202	500 ～ 999
1	13～ 14	特定契約のバスを運行中交差点で運転操作を誤り、信号柱に衝突し負傷した。	50	40202	100 ～ 299
1	17～ 18	路上において、バス後方にて信号停車中に乗車を申し込まれて、トランクに荷物を入れようと降車した際、ギアをDレンジのままサイドブレーキもかけずに降車してしまい車が動き出してしまった。急いで止めようと運転席に乗り込みブレーキをかけようとしたところ、アクセルとブレーキを踏み間違えてしまい加速して前方に停車中のバスに追突し受傷した。	43	40201	300 ～ 499
1	2～3	空車にて進行中、脇道より相手の車が一時停止もせずに飛び出して来て、当方の車両に衝突し、逃走した。当初は体にあまり痛みを感じなかったのだが、その後、痛みで眠ることができなくなった。	69	40201	100 ～ 299
1	20～ 21	渋滞にて低速走行中、後方より追突された。	41	40201	100 ～ 299
1	14～ 15	交差点手前にて、信号待ちしている時に、後方より車両が当方車両に追突し、当方車両が前方車両に追突し、当方車両運転手が負傷した。	61	40201	100 ～ 299
1	12～ 13	タクシー営業中、信号待ちのあと発進し、先行車との車間距離が狭くなったので減速をしたところ、後方より追突され負傷した。	52	40201	100 ～

					299
1	8～9	路線バスを回送にて、第一通行帯を走行中、第二通行帯の右後方に走行していた相手乗用車がいた。相手乗用車が強引に追い越してきた為、当方右側に接触する事故が発生し、頸椎捻挫を負った。	42	40202	100～ 299
1	4～5	上り料金所1レーンで、ETCカード有効期限切れ車両の対応中に、その車両が突然急発進し、撥ねられ、左膝打撲・左肘打撲・右手関節捻挫・頭部打撲・上前歯一本脱臼を負った。	66	170209	100～ 299
1	18～ 19	児童発達支援室のサービスを終了した児童を送迎中に運転手が左折しようとしたところ、児童から「違うよ」と指摘を受け、慌てて車をバックした際に後ろの車の前方部にぶつかってしまった。なお、被災労働者は後部座席にいて、当たった衝撃のため、右首と右肩に強い痛みを生じた。	29	130201	30～ 49
1	14～ 15	営業車で移動中、坂道を上って左カーブのある場所で、速度が出過ぎてしまったため、中央線から対向車線へ出てしまい、対向車のトラックに荷台に衝突してしまった。	24	80109	50～ 99
1	11～ 12	二輪車で配達業務の為走行中、片側2車線の交差点を右折する際、対向車線を直進してきた相手車両と衝突した。	31	110101	500～ 999
1	20～ 21	前の信号が赤信号のため停車、青信号に変わったので発進、3mほど進んだ所で後続車に追突され負傷した。	61	40201	50～ 99
1	18～ 19	配達の帰途、バイクで左カーブを走行中、ハンドル操作を誤り、道路縁石とバイクの間に左足が挟まれた。	20	80109	10～ 29
1	16～ 17	タクシー乗り場より男性1名を乗せ走行中、前車が突然Uターンをし回避を試みたが、避けきれずに接触した。	68	40201	100～ 299
1	13～ 14	運転席後部に乗り訪問介護に車で向かう途中、前方に停車中の車に追突し、運転席にぶつかり、首・左脇・右腕・左足を負傷した。	64	130201	10～ 29

1	13～ 14	当方社員は配達を終え帰局途中、当該路地の信号の無い交差点へさしかかり、交差点を直進しようとしていた。左側に相手方車両を目視していたが、当方道路が優先であったため、交差点に進入したところ、相手側車両が、路地から出て来た為、接触し横転し、頸椎・右胸・右大腿を負傷した。	30	110101	100 ～ 299
1	8～9	最初の利用者宅での仕事を終え、次の利用者宅の介護サービスに向かっている途中、前方の自動車が路肩に停めてあったトラックを避けて走行した所、前方から車が進入してきて、急ブレーキをかけ、自分が運転していたバイクのブレーキが間に合わず、ぶつかってしまい負傷した。	50	130201	10～ 29
1	20～ 21	会議後の懇親会に出席し帰宅する際に交通事故に遭い、尿管等の損傷が疑われる。	69	50101	10～ 29
1	12～ 13	帰局途中、交差点通過中に強風にあおられふらつき、交差点先に縁石に接触し、バイクから投げ出され左足かかと部分を強打し負傷した。	37	110101	300 ～ 499
1	1～2	朝刊を配達するため路上をバイクにて走行中、前方の路地へ左折しようとハンドルを曲げた際、路面が凍結していたためにタイヤがスリップし転倒、負傷した。	52	80205	10～ 29
1	19～ 20	バイクで配達に行く際、店舗横の1本道で、マンホールを避けようとした事でハンドル操作を誤りバランスを崩し左側に転倒し、左腕を受傷した。	22	140201	10～ 29
1	13～ 14	駐輪場よりバイクで顧客宅へ向かう際、国道（複数車線）の向こう反対車線に右折で出ようとし、左側から来た乗用車に気付かず接触転倒し負傷した。	70	90103	—
1	11～ 12	当方バイクに乗務し配達していたところ、相手方の車が猛スピードで当方に直進してきたため、左方のバイクで移動し停車していたとき、相手が気が付かずに直進し接触し、右腕を負傷した。	46	110101	300 ～ 499
1	11～	被災者は乗車走行中、横断歩道上に歩行者を発見した為停車したとこ	63	40201	50～

	12	ろ、後方より直進して来た相手方車両に追突され負傷した。			99
1	12～ 13	お客さまの会社に訪問後、会議があるため送り、その後戻る途中、直進していたら、右側面に加害者運転の車がぶつかってきた。	42	90103	100 ～ 299
1	11～ 12	営業に向かう途中、左カーブを曲がり終えた直後、前方不注意により左側カードレールに衝突し右膝を負傷した。	25	90101	1～9
1	9～ 10	配達のためバイクで走行中、四輪自動車が路外の駐車場から逆走してきたため衝突し、転倒して頭部を打撲した。その後、硬膜下血腫の症状が現れ、投薬治療を受けていたが症状が悪化し、休業となった。	50	110101	100 ～ 299
1	7～8	自宅から、道具その他を取りに寄ってから、会社まで向かう予定で自宅を出発し、交差点の信号が赤のため停止し、青に変わったので発信しようとしてスリップして転倒し、右ヒザを負傷した。	29	30209	—
1	18～ 19	自動車が側道より右折しようとした所、右側から来た車両と衝突した。自社のレンタカーを引き取りに行き帰社する途中での事故である。	29	11701	1～9
1	11～ 12	本線路肩で非常電話の雪かきが終了し、車両（ワンボックス）の右後方に、一般車（普通乗用）が漫然の運転により左側へ斜行し、作業員の持っているスコップ及び停車中の車両（ワンボックス）に接触・衝突した。	43	30199	50～ 99
1	8～9	当社から現場へ向かい、同社社員運手のレンタカーの助手席に同乗し移動していた。交差点に於いて優先道路を走行中、突然右側から一旦停止せずに進入した軽バン（メーカー不明）と接触した。接触の衝撃により、内臓損傷の疑いがあったため、ドクターヘリにて搬送された。	48	40302	10～ 29
1	14～ 15	被災者は、納品予定の品物をキャラバンに積み込み、会社を出発し、第3事業所に納品後、現場近くに来たところ、くしゃみをしたはずみでハンドル操作を誤り、反対車線に寄ってしまったため、慌てて戻そうとしたが今度は切り過ぎ、道路脇の街灯に衝突してしまった。	56	11409	10～ 29
	16～	被災者が雪を軽トラで捨てに行く作業中、交差点の信号機前で前の車の			30～

1	17	後ろに停車中、後方より、車両に追突された。その衝突により前方の停車車両に玉突きとなり、負傷した。	69	130201	49
1	7~8	凍結により滑り、対向車線へはみ出し対向車と正面衝突し、後続車2台が後ろからぶつかった。	68	40201	10~ 29
1	4~5	市道で50ccバイクで新聞配達中に左折しようと回った瞬間に前輪が滑って、左側に転倒して左肋骨骨折をした。	68	80205	—
1	10~ 11	運転中に道路に積もった雪に乗り上げ、スリップし、中央分離帯に激突した。	48	11305	100 ~ 299
1	18~ 19	従業員を就業場所から自宅まで送迎するため運転していたのだが、青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	72	170101	500 ~ 999
1	18~ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	37	170101	500 ~ 999
1	18~ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	55	170101	500 ~ 999
1	18~ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	35	170101	500 ~ 999
1	17~ 18	弊社元請工事の洗面造作工事の作業を終え、社有車を運転して自社片付け場へ戻る際、交差点付近にて、くしゃみをした反動でハンドル操作を誤ってしまい、左前方の電信柱に激突し、胸や頸椎を打ちつけてしまった。その際、内装パネルが割れて右ひざに刺さったため、右ひざも負傷した。	21	30202	1~9
		夕方の送迎で、利用者を1人乗せ自宅へ送る時、主要道路に出る所の下り			

1	16～ 17	坂になっている信号のない交差点で、右折待ちで停車していた。その時、後方から来た車が、左後方にぶつかってきて、首と背中を打った。相手の運転手は、西日がまぶしくて気付けなかったと言っている。なお、被災者以外の職員は同乗していない。	22	130201	30～ 49
1	10～ 11	タクシー勤務中、一時停止確認不十分が原因で、相手車両と交差点内で出合頭の事故が発生した。なお、相手方は普通乗用車であった。	68	40201	10～ 29
1	19～ 20	路上で、社員は小包の配達作業のため、自動二輪車で走行中、坂道を上がろうと加速した際にバランスを崩した。体勢を立て直した後、視線を一旦下げて、顔を上げたところ、正面に歩行者を発見した。ブレーキをかけたが間に合わず衝突し、相手は転倒して救急搬送され、社員も右側に転倒し負傷した。	47	110101	—
1	16～ 17	原付バイクで夕刊配達をしている際、信号のない交差点で出合頭に左からきた乗用車と衝突負傷した。	74	80205	1～9
1	4～5	朝刊の配達のため、バイクにて走行中、石を踏んだため滑って転倒し、右足首付け根付近を打ち、細かいヒビが入った。	50	80205	10～ 29
1	13～ 14	交差点手前で、退社後、帰宅途上（バイク）にて追い越し車線を走行中に、並走していた車両が右折しようとして確認せずに追い越し車線に進入し、相手車両右後輪と当方バイク左側面と接触し負傷する。	39	40301	10～ 29
1	12～ 13	バイクでデリバリーお届けの帰り道、お客様宅から戻る途中、交差点で曲がったところ、車輪が溝に挟まって、右ハンドル側に倒れた右足が後ろの荷台に挟まって転倒し、右足を受傷した。	41	140201	10～ 29
1	13～ 14	客先に車で向かう為、県道を走行中、赤信号の為、前方車両に続いて停車したところ、後方車両から追突され負傷した。	55	40301	300 ～ 499
1	16～	片側一車線の道路をバイクで帰局途中、右折するためにウインカーを出し赤信号で止まっていた。信号が青に変わり、前車が直進したため進もうとしたところ後方より進行してきた乗用車がすり抜けようとした際、	33	110101	300 ～

	17	乗用車の右前フェンダーがバイクのキャリーボックス左側面に衝突した。バイクは倒れそうになったが、踏ん張って転倒はしなかった。しかし、徐々に立ってられないほどの痛みが出たため救急搬送された。			499
1	13～ 14	顧客宅を訪問した後、別の顧客宅へ向かう途中、青信号で走行中、南の方から相手方車両が赤信号で突っ込み被災した。	49	90103	500 ～ 999
1	4～5	バイクにて朝刊配達中、降雪の為、スリップして転倒した。	31	80205	1～9
1	3～4	原付バイクにて朝刊配達中、次の配達先へ向かっていたところ、信号の無い交差点に於いて、安全確認をしたが、住宅が建ち並び見にくかった為、右折しようとした際に、左側より直進して来た軽自動車と衝突した。その際にバイクから投げ出され、体を打ち付けてしまい受傷した。	75	80205	30～ 49
1	3～4	前方からスリップしてきた対向車（4t平）が運転席側に衝突し、その衝撃で運転席が潰れ、ハンドルに挟まれ被災した。なお、4t平がスリップしたのは、その前に大型トラックが4t平に追突していたからの情報である。当時、22センチの積雪があり、最低気温はマイナス2.4℃であった。	51	40301	50～ 99
1	6～7	バイクで朝刊配達中、脇道から出たところ、通行中の乗用車の横に接触して転倒し、負傷した。	52	80205	—
1	8～9	被災者は業務のため本社より現場に向かう為、自家用車にて左車線を走行していた。交差点にて信号待ちで停止していた所、右車線より車線変更してきた軽自動車が20～30kmの速度で被災者車の後方へ追突し、その衝撃で腰がしびれる様な感覚が生じた。	41	30199	30～ 49
1	8～9	交差点へ北から進入し左折のため赤信号で停止中、後方より他社旅客自動車に追突され負傷した。	63	40201	30～ 49
1	19～ 20	降雪の後（約5時間後）、路面がその部分だけ凍結していたのに気付かず、カーブ手前で減速のためブレーキを掛けたところ、スリップして左側へバイクが転倒し、左肘骨折、左肩打撲をした。	64	110101	300 ～ 499

1	7~8	自宅から訪問看護宅へ向かう途中、対向車道路は路面凍結したことによりスリップし、横滑りをしながら正面衝突となった。	31	130201	—
1	16~17	道路を営業用スクーターで営業先に向かって走行中、路面の凍結箇所ですクーターがスリップして転倒した。左側に転倒した際、路面に左肘を強打し、左胸が左手で圧迫された。	47	110101	100 ~ 299
1	0~1	訪待停車中、後方よりノーブレーキで追突されたもの（旅客運送後の途中）。	55	40201	100 ~ 299
1	13~14	乗務のため乗継車（軽自動車）にて、乗継場所である駐車場へ向かう際、交差点で赤信号のため停車していたところ、後方から来た自家用車が、脇見運転により追突してきた。	42	40202	50~ 99
1	2~3	お客様3名を乗車中、左路肩停車中の車両がいきなりUターンし追突した。	58	40201	100 ~ 299
1	18~19	お客様を降ろした後、交差点を右折するため後方を確認し本線左側車線より順次車線変更していき本線右端の車線に入る際、後方からくる車両を通過させた後、右車線に入り前車に続いて走行していた所、右側側道より出ようとする車両がいたが停止しているのを確認したため、そのまま通過しようとした所、当方右後部にいた相手車両が当たってきた。	51	40201	100 ~ 299
1	1~2	本線へ合流する手前の加速時にスリップして左側に衝突後、本線へ飛び出し中央分離帯に衝突して停止した。	41	40301	30~ 49
1	6~7	一般道の交差点において、お供完了後、北から南に走行中、当方青信号で交差点内において、西より走行してきた先方車（交通違反）が、当方右側後方に追突、そのまま中央分離帯へ衝突したあと横転した。	52	40201	100 ~ 299
1	9~10	物件視察へ向かう途中、路上を自転車でゆっくりと走行中、T字路手前の看板から交わる道路を確認、停止線上に車輛がなかった為、交差点へ侵入したところ、加害者タクシーが出てきた為、ぶつかり左ヒザを強く打	42	80409	—

		ち、腰・手・首に衝撃を受け負傷した。			
1	9～ 10	お客様宅でのサービスが終了し、原付バイクで自宅へ戻ろうと走行中、対面通所可能だが、狭い道路と狭い道路の交差点で飛び出し確認のため道路の真中付近へ寄ったところ、対面から進んできた自動車と正面衝突して転倒し、右足と頬を打った。	72	130201	10～ 29
1	22～ 23	路上で、応援先から自店へ車で移動中、前方不注意により、前の車と衝突した。	20	140201	—
1	17～ 18	病院北側を走行中、前車が停止したので、続いて停止したところ、後方より追突された。	60	40201	100 ～ 299
1	16～ 17	弁当の配達の為、車を運転中、新規お客様のお宅を探していた所、住宅街の行き止まりの道になり、Uターンしようとしてアクセルを踏みすぎハンドル操作が追いつかず、住宅壁に激突し、左手を骨折した。	62	80209	30～ 49
1	17～ 18	中央分離帯のある片側二車線にて、幹線道路の追い越し車線を走行していたとき、側道から相手の車が飛び出してきて当方左側面に追突した。	47	110101	—
1	17～ 18	利用者宅より事務所へ帰ろうと自転車で移動していた所、道路の曲がり道でゆるやかな登り坂を上ろうとしペダルをこごうとした時にペダルを踏みはずし、右に倒れて両手をついて倒れ、左手首にひびが入った。	62	130201	10～ 29
1	18～ 19	配達の帰り、バイクで外灯が無く、暗くて道幅も狭い道路を走行中に、前方歩行者に気づかず衝突し転倒する。	19	140209	—
1	5～6	新聞配達を終え125ccのカブを運転していたところ、路面が凍っていたためかタイヤが滑り、そのまま右方向に倒れてしまった。右肩が路面に着いたままバイクと共に滑り30メートル程先でやっと止まり、起き上がろうとしたが右腕に力が入らなかった。	49	80205	—
1	12～ 13	お客さま宅へバイクにて走行中、道路にて路面が凍っているように見えたため、徐行していたが前輪がスリップし右側へ転倒し、右肩を強打した。	53	110101	300 ～ 499

1	3~4	自転車で配達中、赤信号の交差点を横断しようとし、走行していた車と衝突して、事故に遭う。	73	80205	30~ 49
1	5~6	バイクで朝刊配達中に、信号待ちをしていたが、歩行者用の点滅信号を見て、赤信号のまま発進し、そこへ青信号で走行してきた軽自動車と衝突し、転倒した。	60	80205	10~ 29
1	16~ 17	便所清掃のためオートバイで移動中、信号を左折した時に水たまりで転倒して負傷し、腫れがひどくなった。	45	170209	10~ 29
1	14~ 15	自動二輪車にて配達先へ移動中、登り勾配を登りきる直前で路面が突然凍結していたため、タイヤがスリップして自動二輪車が後方に下がり始めた。路面に脚をつけてバイクを支えようとしたものの靴も滑ってしまい、バイクが右側に倒れ、右脚がバイクの下敷きになった。	62	110101	300 ~ 499
1	16~ 17	車で走行中、対向車がスリップしてセンターラインを越えて衝突してきたため、頸部や胸を負傷した。	25	90109	50~ 99
1	10~ 11	業務のために路上を車で移動していたところ、赤信号停車中に後から別の車に追突され負傷した。	32	80109	—
1	3~4	バイクにてA宅に配り終え、B宅に行く途中、路地を左折しようとした際に道路が凍結しており、転倒した。	28	80205	10~ 29
1	21~ 22	駐車場にて、代行のお客様の車両を駐車場より出すためにバック誘導をしていた際、後方の街灯にぶつかりそうになったので、慌てて左手を出し体をつけて運転者に声をかけたが聞こえず、ブレーキが遅かったので街灯のポールに手が挟まった。	59	40201	30~ 49
1	10~ 11	配達業務中、信号交差点において、青信号となり動き出した時に、後から猛スピードで来た車に追突された。	24	80109	50~ 99
1	5~6	交差点にて新聞配達の作業を行っているとき、雪等の影響で路面が凍結した状態であったため、配達用バイクの後輪がスリップし、体勢が崩れ進行方向の左側に転倒し、左足を強打した。なお、バイクのタイヤはスタッドレスに変更していた。	57	80205	10~ 29

1	10～ 11	交差点を右折しかけた際、北から直進してきたトラック（対向車）とぶつかり、首・右肩・腰・両下腿を負傷した。	33	170209	1～9
1	20～ 21	応援のため勤務していた時に、バイクで配達中（出前）、周りが暗かった為、交差点に入って右へ曲がろうとした時に左側から来た軽自動車と衝突し、救急搬送された。	40	140201	—
1	15～ 16	塗装部第2塗装課に従事する受傷者Aは、業務が終了し、自家用車にて会社立体駐車場を2階から1階へ下りていった。2階から1階へのカーブに差し掛かった際、出勤のために1階より上がってくる作業員Bの車両をカーブミラーで認識し、内側に寄って一旦停止し待機した。作業員Bは、2階のカーブを曲がる際に受傷者Aの車両に気づいたが間に合わず、正面衝突し、受傷した。	40	11502	1000 ～ 9999
1	17～ 18	体育館前交差点内において、タクシー業務終了後にタクシー駐車場に戻り自家用車に乗り換えて、売り上げを納金する為に本社に移動していた時に、コンビニに立ち寄って日報のコピーを取り、交差点内でUターンしようとした時に直進の車と接触し、頸椎等を負傷した。	68	40201	30～ 49
1	3～4	路上に於いて、左方向から進行して来る関係車を認め、急制動をかけるも間に合わず、当該車に接触し、双方が損傷を負った。	61	40201	100 ～ 299
1	18～ 19	路上で、原付バイクにて集金を終えて戻るとき、前方を走行していた軽自動車が急に左折したため、左側にハンドルを切って転倒した際、左下腿を負傷し、軽く頭部を打った。	76	80205	10～ 29
1	15～ 16	発電所工事において、整地工事に使用する砕石が足りなくなり、元請の指示により、被災者（下請会社社員）が砕石置場に取りに行くこととなり、ダンプカーで路上を走行中に、センターラインをはみ出した対向車と衝突し、右手・右足・頸部を負傷した。	26	30301	10～ 29
1	14～ 15	当該車が、右折時に安全確認をするため交差点の中央付近で停車した際、後方より進行して来た関係車両に追突を受け、双方が損傷を負った。	56	40201	100 ～ 299

1	13～14	歩道で工事関係車両を誘導するため立哨していた際、走行してきた車両が、コンビニ入口から斜めに歩道に進入し、縁石をまたぎながら走行して来た。当該整備員は奥の車両の動向を確認しており、歩道左側から来た車両に気付いたが避けきれず、加害車両の左前部ではねられ、左足腓骨・脛骨の骨折、靭帯損傷及び鎖骨・肋骨・腰部の打撲の重傷を負った。	55	170201	30～49
1	0～1	自動車を運転中、信号待ちをしていたところ、後方より追突された。	37	90103	30～49
1	20～21	荷卸しの為、荷卸し先の会社の前にトラックを止め、トラック後部のドアを開け、トラック後方より運転席へ戻ろうとトラックの陰から一歩踏み出した時に、トラックぎりぎりに対向して来た普通乗用車にはねられた。	51	40301	30～49
1	16～17	農作業を終えて、会社の車で収穫した物を車から降ろすため事務所に帰る途中、信号の無い交差点で、相手の車が見えにくかった事もありスピードをゆるめて進入したが、互いの確認不足により相手方の車にぶつけられてしまった。	31	60101	10～29
1	12～13	自動車で走行中、右側路地より出てきた車とぶつかり、前方左側の民家の壁に衝突した。車は大破するも外傷がなかったため、警察等への届け出後に帰宅したが、吐き気・倦怠感等が生じ入院となった。	43	90103	10～29
1	8～9	子店舗と納め先病院へ配達のため、公用車の軽ワゴン車で向かい、配達を終了して帰る途中、国道で上り車線を走行していたとき、左カーブに差し掛かるところでブレーキをかけたが、路面凍結のためスリップし、対向車線へはみ出し、対向車のトラックと衝突し、その後、死亡が確認された。	58	80209	10～29
1	8～9	被災者は、夜間勤務を終えて助手席に同乗し営業所に帰社途中、ドライバーの運転ミスにより左側の石塀及び右側のガードレールに衝突し、その衝撃により負傷を負った。	63	170201	10～29

1	14~ 15	社用車で走行中、前方3台の車輛が減速したが、前方注意不足により気付くのが遅れ、追突を避けるため急ハンドルし、対向車線を越え空地に進入した。咄嗟のことでブレーキを踏めず、空地石壁に衝突した自損事故である。	82	170101	1~9
2	11~12	交差点で車を運転している時に、青信号で進入したところへ左から来た車が停止せずに走行をして来たので、ブレーキをかけたが間に合わず衝突してしまった。	43	150101	10~ 29
2	11~12	会社を出て店へ商品を届け、その帰り道の道路でダンプカーと正面衝突し全身強打で外傷性ショックで死亡した。現場は片側一車線の緩やかなカーブでブラックアイスバーン状態であった。	54	10104	10~ 29
2	11~12	工事施工中、現場で発生した伐木・枝等を大型ダンプで運搬作業中、実車にて集積場へ向かう途中、現場に差し掛かったところ、反対車線を走行してきたワンボックス車がカーブ途中でスリップし制御不能な状態で横向きになりそのまま当方車両車線に飛び出してきて、回避するため左へハンドル操作したが間に合わず激突した。相手車両が確認できたころにはスリップ状態でありブレーキを踏んだが効き始めた頃にぶつかった。	38	30107	—
2	9~10	渋滞の為、停止している際、後方から追突された。	47	40301	50~ 99
2	8~9	信号待ちをしていたところ、後方より追突された。加害者の話では、路面がアイスバーンになっており、ブレーキを踏んだ際、止まることが出来ず滑ってしまい、追突してしまったとのことである。	41	90103	100 ~ 299
2	6~7	バイクで朝刊配達し、販売店に戻る時に、相手方の車フロント面がバイク左側にぶつかり投げ出された。	48	80205	10~ 29
2	16~17	T形道路で国道を青信号で走行中、市道から一時停止をせず出て来たため出会い頭に衝突し、反対車線を信号柱に衝突し、左足を骨折した。	45	30209	—
		交差点において、本人が運転する車両が一時停止の標識の認識を怠り、			

2	14~15	同交差点に進入してしまった。当時、本人が運転していた車両の速度は30~40km/hと思われる。尚、本人は、衝突直後の記憶がなく、相手車両の運転手の方が救急車を手配し、そのまま病院へ緊急搬送された。	25	130201	1~9
2	14~15	片側1車線の交通量の少ない通りを直進中、次の配達先に気をとられ、緩いカーブであることに気付くのが遅れ、砂のたまっている路肩で滑って、縁石に接触した後、転倒して落石防護ネットの支柱にぶつかったものである。	31	110101	100 ~ 299
2	15~16	夕刊配達中に、バイクで交差点で右折待ち停車中、相手方の軽自動車を追突してきた。その衝撃で転倒し受傷した。	65	80205	—
2	9~10	交差点で右折の矢印が出たので少し前に出た時右側より救急車が来たので止まった時、後ろから強い衝撃があり追突された。ガクンと体が前のめりになり、しばらく動けなかった。車の移動時ガタガタと騒音と振動があり、後頭部に違和感を感じた。警察には連絡したが、救急車は呼ばなかった。	68	130309	—
2	11~12	業務で車両で移動の際、信号機のない交差点を右折しようとしたところ前方右側の駐車場からバックで出庫しようとしている車両がいたので、待機していたが、後方確認をせずにバックして来たので、当方車両に衝突し、その衝撃により首を負傷した。	58	170201	100 ~ 299
2	17~18	用車でお客様宅に訪問介護に向かう途中、信号のない交差点で停止中に、後方から相手方（第三者）車両に追突され体を強打して負傷した。	38	130201	—
2	11~12	前日から始まったワカメの加工中、茹で方を担当していた者が足を滑らせて前方にあった茹で釜（水槽）に転落した。作業をしやすくするためにプラスチックケースで足場をかさ上げして使用しており、その足場の上に茹でたワカメの破片が落ちて、これを踏んで滑ってと考えられる。	32	110101	100 ~ 299
2	16~17	工場内でサンダーにて研削作業をしていた時、研削箇所以外のところに接触し、サンダーが跳ね返り左脚膝の内側にサンダーの砥石が当たり切れた。	25	110101	500 ~ 999

2	10~11	病院付近を顧客宅へ向かって走行中、信号の無い交差点で、左から進入してきた軽トラックに左側面に衝突されてしまった。自車輛は、道路外に出てフェンスに激突して止まった。その為、被災者は全身に打撲を負ってしまった。	32	90103	10~ 29
2	8~9	利用者の送迎の為、車を運転し、交差点に差し掛かった時、右より交差点に進入してきた車が有り、急ブレーキを掛けたが間に合わず相手方車体の後輪付近に激突した。衝突のはずみで相手車両が、左手より交差点に進入しようとしていた車両Bに当たり止まる。（当時路面凍結有）	36	130201	50~ 99
2	12~13	営業活動にて車で移動中に居眠りをしてしまい、道路脇の崖に転落し、車が破損し、運転者は打撲を負った。	53	30202	1~9
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	24	30202	—
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	23	30202	—
2	14~15	配達途中、信号機のない交差点を直進しようとした際、左側から直進してきた幼稚園の送迎バスと衝突して負傷した。	29	110101	300 ~ 499
2	6~7	二車線道路で、食材の配達途中によそ見をして、中心の縁石に乗り上げてしまい、車が横転した。	20	80209	—
2	15~16	帰宅途中、路上で報告者が乗車していた自家用車が対向車線へ入り、トラックと正面衝突を起こした。原因としては、睡眠不足が原因による仮眠状態が事故を引き起こしたとの見解である。	39	130101	1000 ~ 9999
2	13~14	出勤して店に着いたところ、社員の方から業務に使用するシール剥がしを買ってくるよう頼まれ、バイクで向かっていた。交差点で信号待ちのため車の後ろに停車したが、バイクだったため前の車の後をすり抜けて	26	140309	30~ 49

		前につめようとしたところ、自分の前に停まっていた車が左折してきてバイクの右側に接触し、負傷したものである。			
2	15~16	二輪車で走行中、左方より一時停止違反で右折してきた自動車と衝突した。	38	110101	100 ~ 299
2	15~16	当運営施設へ自動車で行く途中、交差点において、安全確認を怠り、一時停止をしなかったため、左側から垂直に走行してきた車に、衝突され、車が横転し、首を負傷したものである。	63	130201	—
2	3~4	地元の坂道を新聞配達のため、バイクで通過中、雪が残っているのに気がつかず、スピードを上げて上ろうとして転倒し、右肩を路面に打ちつけて鎖骨を骨折した。	59	80205	10~ 29
2	0~1	社用車で客先に向かう途中の道路を走行中、携帯電話のナビ機能の画面を見ようと下を向いた。顔を上げたら連なっていた金属ポールが目の前にあり、数本なぎ倒し、個人宅の敷地の塀にぶつかり車が止まった。その衝撃で右腕をぶつけ、骨折と診断された。	23	80209	10~ 29
2	12~13	午前中の配達を終え帰局途中、前方信号が赤のため前方の車両に続いて停止したところ、後方から走行してきた車両に追突された。	34	110101	100 ~ 299
2	12~13	営業車で納品の途中、緩い左カーブにて先行車両が右折するため停車し、そこに直進する形で先行車両右後部に衝突して対向車線を走ってきた相手車両運転席側後方側面に衝突して停車した。当方車両フロント部分大破の衝撃によりエアバッグが作動し、エアバッグに顔面を強打した。その際、目（眼球）に傷がついた。	22	80209	—
2	11~12	交差点において契約者様のお宅に伺う際、交差点で右折をしようとしたところ前方不注意等により電柱に衝突した。首を損傷（むち打ち）した。	33	170209	—
		工事作業現場から会社に戻るために社用車を運転し、交差点にて信号待			

2	17~18	ちで停車していたところ、後続車に追突される。その際、首・腰・背中に強い衝撃を受け負傷した。	37	30309	—
2	15~16	配達の帰り丁字路を右折しようとしたところ西日で前の電柱に気付かず、電柱にフロント右側を衝突した。	52	11209	—
2	15~16	配達の帰り丁字路を右折しようとしたところ西日で前の電柱に気付かず、電柱にフロント右側を衝突した。その時助手席に乗っていた。	51	11209	—
2	10~11	バイク2台で走行していたところ、被災者は後続車で、五差路において先行者が右折しようとし、後続車は右斜めへ進もうとしたため先行車の右後部に接触して転倒し負傷した。	51	110101	—
2	4~5	朝刊配達で最後の配達先に配り、バイクで会社へ戻る途中の事故である。路上に産廃のセメント屑が多数落ちていて、よけきれずバイクごと右に倒れ、負傷した。	67	80205	10~ 29
2	5~6	配送中、赤信号に気付かず停車中の前方車両に衝突し負傷した。	22	40301	30~ 49
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	61	170101	50~ 99
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	30	170101	50~ 99
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	51	170101	50~ 99
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	53	170101	50~ 99
		交差点で車で配達する為に仕事中、交差点手前で信号待ちをしていると			

2	16~17	後から乗用車に追突された。その衝撃により、頸椎を痛める。ワンボックスカーは右部後ろを破損した。	63	80209	—
2	16~17	一般道路（優先）を走行中、右側農道より前方不注意一時停止を無視した軽トラックが進入し、追突された。	38	90103	50~ 99
2	13~14	バイクに乗車し、午前中の配達を終え戻る途中、交差点を直進していたところ、対向右折車が出て来て衝突した。その際、右足大腿骨、右足膝、右手小指を骨折し、顔4ヶ所の切り傷の負傷をした。	24	110101	10~ 29
2	12~13	お客様勤務先から同僚の運転する車に同時して帰社する途上の事故である。見通しの悪いカーブを減速して走行中、左脇から出てきた車が左前に衝突した。衝撃でシートベルトが胸部と腰に食い込み、頸部を捻挫した。事故発生場所は信号のない道路で、自車が走行していた道が優先道路だった。頸椎捻挫、胸骨部、腰部を打撲した。	29	90103	30~ 49
2	12~13	お客様を訪問後、車で帰社する途上の事故である。見通しの悪いカーブを30~40km/hで走行中、脇道から出てきた相手車が自車左前に衝突し、衝撃でシートベルトが胸や腰に食い込んだ。一時停止標識は無かったが、自分の走行していた道が優先道路だった。頸椎捻挫、胸部・腰打撲、背中痛みあり。同僚が同乗していた。	42	90103	30~ 49
2	12~13	荷降ろし完了後にトラックの荷台に上がり道具を片付けていたところ、後方から来た乗用車に追突され荷台の中で跳ね飛ばされて全身を強打した。加害者は救護することなく、車を置いてその場から立ち去ってしまった。	42	40301	10~ 29
2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車も交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	21	30302	1~9
2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車も交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突	20	30302	1~9

		し、自車に乗っていた5名が負傷した。			
2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車が交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	23	30302	1~9
2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手のクラウンが交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	26	30302	1~9
2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車が交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	23	30302	1~9
2	4~5	バイクで朝刊配達中、まだ暗い中、前方から自転車が向かって来たので避けたところ、ハンドル操作を誤り道路脇の鉄製のゴミ置場に激突して転倒し、負傷した。	68	80205	—
2	20~21	無線機を使用した片側交互通行の誘導作業中、誘導員の車線変更合図を無視して進行してきた車両に横から衝突されてしまった。	72	170201	30~49
2	6~7	幹線道路に車を止め、新聞を降ろすため運転席から降り荷台に新聞を取りに行こうとした時に、右側から来た車に追突され負傷した。	58	40301	10~29
2	3~4	タクシー営業中、前方車両が交差点をふさぐ形で停止していたため当方車両も停止したところ、後方から来た相手車両に追突され負傷したものである。	23	40201	100~299
2	1~2	仕事で社有車で移動中、急にスリップし急カーブし、ハンドルを戻そうとしたが運転操作不能になり、何度も車両が横転し逆さまに停止した。	45	170209	10~29
		交差点において労働者が駐輪場での自転車の整理作業を終え、別の駐輪場での整理作業を行うために横断歩道を青信号に従って歩行して横断中			300

2	8~9	に、交差点を左折しようとした普通乗用自動車が、運転者の前方左右注視義務違反により横断歩道を歩行中の労働者に衝突し、労働者を転倒させて、労働者が骨盤骨折、後頭部打撲傷、腰部打撲傷、左臀部打撲擦過創の傷害を負った。	80	150101	~ 499
2	0~1	道路を横断中、一時停止をしたつもりだったが安全確認不完全の為、優先道路にあたる相手方と衝突する。	43	140201	—
2	13~14	当該運転士はお客様御一行を目的地に迎える作業のため朝に出勤し、同僚運転士と共に点呼後、出発し、回送運行で目的地に向かった。その後、現地場所に到着した。当該運転士は、立寄先まで運転し、その後は同僚運転士に運転を交替し出発した。最後の降車場所に向かい走行していたところ、車両左側をトンネル左側壁に衝突させ、右に寄ったためハンドルを左に切ったところ反動で右側壁に車体右側を衝突させる事故となったものである。	47	40202	50~ 99
2	19~20	信号の無い交差点（相手側一時停止あり）を直進しようとした際、右側から来た相手側バイクに接触し負傷したものである。	55	110101	500 ~ 999
2	13~14	バイクで配達する際、相手方四輪車へ追従して路地へ進入し、相手方四輪車が急停車したためバイクを止めて降車しようとした。その時に突然相手方がバックしたため衝突し負傷した。	26	110101	300 ~ 499
2	10~11	料金所出口付近で小麦粉の配送中に他車両と接触し首を痛めた。	63	40302	30~ 49
2	3~4	被災労働者はタクシー乗務員として業務中、空車で進行していたところ進行方向に対して右側（対向車線側）から外国人の男性が、横断歩道のない場所を横断してきたため、当該乗務員はこの男性と接触することを避けるために停止したが、そこに後続の相手法人タクシーが追突して来た。この事故に依り、当該乗務員は同日に病院にて検査他受診、頸椎、腰椎、胸椎に怪我を負った。	47	40201	100 ~ 299
					100

2	22~23	道路を進行中の信号待ちで後続車に追突されたものである。	51	40201	~ 299
2	10~11	配達途中の交差点を徐行で進行した際、交差点左手側（一旦停止標識あり）から車に突っ込まれ、反対側の電信柱までトラックごと飛ばされてしまい運転席ドアで右脚を強打した。	32	40301	30~ 49
2	10~11	配達途中の交差点を徐行で進行した際、交差点左手側（一旦停止標識あり）から車に突っ込まれ、反対側の電信柱までトラックごと飛ばされてしまい運転席ドアで右脚を強打した。	32	40301	1~9
2	19~20	停車をしていた際、後方より進行のタクシーに追突されたものである。	53	40201	100 ~ 299
2	19~20	路上を営業のため空車走行中、乗車申し込みを受ける。その際に後方及び側方の安全を確認せず漫然と車線変更をしたため、左後方から来た乗用車と接触し、衝撃により頸部を負傷した。	47	40201	100 ~ 299
2	18~19	左側に停車中に、右側より右折して来た車両が当方車両の右側面ドア下に接触をした。	47	30110	1~9
2	18~19	出社し点呼を受け数回仕事をした。出庫してから徐々に体調が悪くなってきたので、ガスを充填してから帰庫しようとスタンドに向かう途中、片側2車線の左側に停車していた大型ダンプカーに気が付くのが遅れ、当方の左前方が相手方右後方に追突し、その時負傷したものである。	58	40201	100 ~ 299
2	16~17	バイクで給油のため、店舗から向かっている時、細い道から大通りを横断しようとしたところ、停止した車の陰から来たバイクと衝突、転倒し、左膝蓋骨にヒビが入った。	45	140201	30~ 49
2	13~14	被災者は迎車走行中にレーンで停車した。信号が青になり一旦前進してから前方車両にならって再び停車したところ、後方の相手車両がそのまま直進してきたために当方車両に衝突し、負傷したものである。	66	40201	50~ 99
		原付バイクにて配達業務中、読者宅アパートの駐車場から当該事故現場			

2	5~6	の通りに出た際、対向車線である右車線を走行し、次の目的地をみつけ道路を横断した。その際、相手車輦と接触し負傷した。その際、当方運転手は酒気帯び運転であった模様である。	63	80205	1~9
2	3~4	空車にて走行中、青信号にて交差点を進入した際、左方向より赤信号を無視した車輦に衝突された。	40	40201	100 ~ 299
2	5~6	バイクで朝刊配達業務を終え販売店に戻る途中、ハンドルを取られ、ガードレールと杭に衝突し負傷したものである。	64	80205	1~9
2	2~3	新聞配達の為、原付バイクで配達先に移動中に受傷した。駅入口の交差点の停止線で停止したところ、後ろから来た車両に追突された。	44	80205	1~9
2	18~19	軽四輪自動車にて配達作業に従事中、渋滞中の道路で停止していたところ、後方から追突された車両が当該車両の頭部に追突し、その衝撃で、首、肩、上腕部等を負傷し病院で治療を受けた。加害車両は当社社員の運転する1t車で、前方不注意により渋滞のため停止していた車両に後方から追突し、追突された車両が更に前方の当該車両に追突するという玉突き事故である。	25	110101	100 ~ 299
2	1~2	被災者は、実車走行中、前方が工事中の為、停車していたところ後方から走行してきた相手車両に追突され負傷したものである。	44	40201	100 ~ 299
2	18~19	片側三車線道路を走行中、右側の車線が渋滞中で渋滞中の車が急に車線変更してきて、相手車の左側前と自車右側後が接触して負傷した。	69	40201	100 ~ 299
2	17~18	被災者は実車走行中、前車に引き続き停止したところ、2台後ろの車両が後方の車両に追突した為、その反動で当方車両に追突し、負傷したものである。	52	40201	50~ 99
		被災者は担当路線を運行中、交差点を赤信号のため停車車両の後に停車し、同時に異音と揺れを感じたため追突されたと思い後方を確認したと			100

2	14~15	ころ、相手車両（軽トラック）のフロントバンパー部が当方のリアバンパーに追突した損傷を確認した。現場で事故処理を行い営業所へ入庫した。事故直後から首に違和感があり入庫後病院を受診した。	53	40202	～ 299
2	23~24	被災者が道路上で交通誘導警備中に、片側交互通行の工事帯側から走行してきたバイクと道路を横断していた自転車が衝突し、そのまま被災者の方へ来たため、避けきれず、巻き込まれた。	68	170201	30～ 49
2	14~15	資源回収場所から次の回収場所へ車で向かう途中、側道から右折しようとしたところ、右から直進してきた車と衝突し負傷した（頸椎・腰椎捻挫、頭部挫傷）。	33	150102	1～9
2	18~19	メニューを配布している際、投函が終わり転回しようとしたところ、二輪がぬかるみにはまりバランスを崩し、転倒した。転倒した際、車体と地面に左足を挟まれ、左足甲を骨折した。	23	80209	—
2	7~8	現場に向かう際、片側一車線の道路を通行中、100m位手前から対向車が左車線を通行し始め、気付いてよけようとしたが、間に合わず、正面衝突した。	42	30202	10～ 29
2	2~3	前の県道で、朝刊配達のため道路を横断していたところ、進行方向左側より来た乗用車と衝突した。頭部を強打した。救急車で病院に運ばれたが同日明け方、外傷性くも膜下出血のため死亡が確認された。	69	80205	10～ 29
2	5~6	バイクにて配達中、バランスを崩し右側に転倒し、右手が道路に着き手首を負傷した。	31	80205	1～9
2	15~16	社有車で相手方の運転にて駐車場を左折し進路に出て、10～15m位先の電柱に衝突した。被災者は助手席に同乗し、「前を見ろ」と注意したが間に合わなかった。原因は運転手のわき見運転と見られる。	24	150101	10～ 29
2	5~6	新聞の配達へ行き、ポストへ新聞を投函して戻る時に、砂利敷きの通路で足をとられ、転倒し、左足を骨折した。この時の天候は晴れで路面は乾燥しており、凍結などはなかった。又、玄関灯は人感センサー式で転倒しており、路面に障害物等はなかった。	44	80205	—

2	22~23	運転代行業務中に、お客様の車で交差点を南側より北進で青信号で進んでいたところ、西側寄り赤信号で無視してきた車に左側面を衝突され、その勢いで真横に4回転半して当社のアルバイトが負傷した。多分100対0で相手が悪いです。	41	170209	30~ 49
2	3~4	交差点にて南向きで信号待ちで停車中に追突される。	55	40201	—
2	14~15	バイクで北に直進中、最初の交差点にて、右方向一旦停止で乗用車が停止したのを確認して直進したが乗用車が出て来て、避けきれずにバイク後輪付近に接触し、転倒する。	49	130201	100 ~ 299
2	5~6	バイクにて朝刊配達作業中、配達途中に新聞がバラけてしまい組み直す為一旦会社に戻る途中、交差点を左折する際、路面が濡れていたためタイヤがスリップし中央分離帯に衝突し、そのまま転倒し負傷した。	52	80205	50~ 99
2	16~17	道幅の狭くなっている道路を進行中、対向車が来ていて前方車が停止していた為、停車していたところ、後から相手方車両が追突してきたものである。	26	90103	30~ 49
2	21~22	作業場所から自宅へ帰宅中に、交差点上で、青信号で右折レーンに入り一時停止をし、直進車が来ていないことを確認してから交差点に進出し、歩行者を渡らせるため横断歩道手前まで進出し停車したところ、直進車が来て衝突した。その衝撃で頭を打って気を失い、救急搬送された。	33	170209	100 ~ 299
2	20~21	3車線の真中車線を走行中、左車線の車に当てられ右車線に寄る。右車線の車に追突され横転して反対側車線に飛び出す。その時対向車線の車に衝突される。	37	30201	—
2	13~14	配達の為、客先前の路上に駐車し、降車して車両右側面を荷台に向かって歩いていたところ、後続車の相手方車両が当方車両の右側を通過する際、車間間隔を見誤ったために相手方車両の左ミラーが被災者の左腕に接触し負傷したものである。	36	40301	50~ 99
2	17~18	現場作業が終わり、資材置場までの移動中で前方不注意により3tダンプ	42	30106	—

		で停車中の一般車両に追突した。			
2	11~12	お客様宅に配達するため、バイクを停車させようとしたが、右手に力が入らなかったためブレーキが掛けられず、そのままバランスを崩して、左後方に背中から転倒した。後日別の治療のため病院で検査を受けたところ、左肋骨にひびが入っていたことが分かった。	42	110101	100 ~ 299
2	4~5	出社後、トラックへ乗り換える為にトラックを駐車しているところへ乗用車で向かう途中の信号のある交差点で右折をする為に交差点の真ん中で待機し、信号が青になったので右折を開始した際、赤信号の直進車が左側面前方に衝突してきて、その衝撃で手首を運転席のドア内側にぶつけて右手首を骨折した。	38	40301	50~ 99
2	0~1	タクシー乗務中に交差点を信号青で直進していたところ、対向車線の相手車両が直近で右折してきたため衝突する。	58	40201	—
2	14~15	交差点を青信号にて右折待ちし、対向車が通過の後右折を実施した。右折中に左方確認の次に右方確認して進み、視線を正面に戻した際には、左方からの歩行者に気付いてブレーキを掛けたが間に合わず、歩行者に衝突した。（横断歩道上かは不明）右方確認した際の視認が出来ていなかった。	53	11403	1~9
2	8~9	クラブハウス前ロータリーにおいて、被災者は、後方からロータリーに入って来たお客様Aの車が完全に停止した事を確認してから、前方に停止していた車のトランクからゴルフバッグを取り出していた。お客様Bが自車両のトランクを開けるため、ハンドル下部に気を取られた際に誤ってブレーキペダルから足が離れたため車が動き出し、作業をしていた被災者の左足太腿裏に接触した。	63	140301	100 ~ 299
2	10~11	在宅介護の仕事を終えて、利用者様のガレージからバイクでエンジンをかけずに後ろ向きに出ようとした時に、後ろ向きに進行していた相手方の車と衝突し、転倒して負傷した。	61	130201	30~ 49
		店舗の前の歩道で自転車を押して通った時、背後からすごい音で私と自転車で車に突っ込んだ。店舗前（向かって左側）に停めてあった車の下			10~

2	3~4	に入り込まされ車と自転車の下敷きになった。加害者は被災者より2m離れた所（右側）に止まった。	64	80205	29
2	15~16	特養施設へ書類を届ける為、進入口よりバイクで左折した。後方より車の音がしたので左側に寄ろうとしてバイク前輪が縁石に接触した。身体が歩行道路に飛ばされてしまった。左肩から激突し、左膝も裂傷した。近くにいた高校生が病院へ連絡してくれ、病院にて初期治療を受けた。左膝は、すぐに縫合を行い、左肩はレントゲン及びCTを撮り、骨折していることが判明した。入院と言われたので自宅に近い医療機関へ転院を希望した。	63	130201	50~ 99
2	11~12	事業所所有原付バイクで路地を北上中、東から来た小型スクーターと四つ角の中心辺りの出会い頭に衝突した。小型スクーターが原付バイクの前カゴ部に右側から当たった為ハンドルが取られ、右側に転倒し、右膝外側と左足首内側を打撲した。	45	130201	100 ~ 299
2	11~12	高速道路にて、3車線のうち一番右側の車線を走行中、ハンズフリーの無線イヤホン装着しようとしたところ誤って助手席側の足元に落としてしまい拾い上げようと前方から目を離したところ、前方のトラックがブレーキをかけており追突回避の為左へハンドルを切ったが追突は避けられず足が挟まれてしまい骨折となった。	43	10709	1~9
2	19~20	当日夜間、団地内道路の十字路交差点付近にて、右折して来た車に、左端に逃げつつ、後方にも下がったが、全く気が付いていなかった運転手により正面当たりされ後方に1回転しながら飛ばされた。	53	170209	30~ 49
2	4~5	配送途中の走行中に左折した時に段差があり、乗り上げてバランスを崩して転倒した。その時にバイクが倒れて左足に強打し、薬指と小指を骨折した。	56	80205	—
2	11~12	お客様のお宅での幼児を済ませ帰宅途中に自転車で走行中、路地から出てきた車の左折時に巻き込まれ、自転車ごと転倒し、バンパーの下に挟まれた。	50	90103	—

2	13~14	住宅地の信号機がなり路地の交差点でバイク走行中に右から来た、軽自動車の助手席（左前輪後部辺り）に衝突した。	35	130101	—
2	14~15	朝、定期調査を持参し現場へ単車で出発した。午後、定期調査を終え、支所へ帰所するため直進中、左店舗駐車場出口で一旦停止している相手車を確認した。そのまま直進したところ、相手車が急に右折のため発進した。右側へよけたが、相手車の前面と単車左側が接触し、転倒し受傷した。その後、救急車で医療機関へ搬送された。	54	170209	—
2	19~20	走行車線を約90km/hで走行中、前方に40~50km/hで無灯火のトラックが有るのに気付き、急ブレーキを掛けたが右にハンドルを切った。ハンドルが操作性を失い、右ガードレールに接触しそうになったので、左にハンドルを切った。左ガードレールに衝突しながら、停止した。	56	80109	10~ 29
2	18~19	警備作業を終えて作業車を駐車場に置きに帰った後に駐車場からバイクにて事務所へ戻っていたところ、十字路交差点で一旦停止を無視し直進したため左側から来た自動車と衝突し、負傷した。	44	170201	30~ 49
2	17~18	配達を終え帰局するため、右折する際、右方の確認を怠り、停車車両の発見が遅れ、急ブレーキを掛けたが、前輪がロックしてスリップした。転倒した際右上半身を強打し、負傷した。	61	110101	300 ~ 499
2	14~15	当方交通整理の行われていない丁字路を直進中、相手二輪が減速せず左折をして当方正面と衝突した。当方先方二輪を回避していたため、左方に設置されていたアーチ型車止めと衝突して転倒した。	24	80209	10~ 29
2	11~12	信号機の無い交差点をバイクで直進するため進入したところ、右方から来た自動車と接触した。当方から交差点に入るまでには、フェンス、街路樹があり、右方の確認が不完全な状態で左方を確認し進入していた。接触時に当方社員はバイクごと転倒し負傷した。	45	110101	100 ~ 299
2	16~17	丁字路で、バイクで夕刊配達中に、右折しながらバイク後部の新聞のずれを直そうとしたところバランスを崩し、左側路面に転倒した。その際左手首と右親指、右小指を負傷した。	68	80205	30~ 49

2	18~19	店舗間の移動で、本店から2号店に移動する際、道路を横断しようとした時に、バイクと接触し、負傷した。	54	80209	10~ 29
2	10~11	市道において、通行規制中の工事現場で交通誘導警備業務に従事していた。反対車線の車両を通行させる為に、北西側カーブの車両を停止させていた。車側からの通行車両が通過の際、何らかの原因で警備員立哨車線側に進入して接触し、警備員は転倒した。その際、右肘裂傷、右肩・右足打撲等で1週間の加療を要する怪我を負った。	63	170201	100 ~ 299
2	12~13	社内イベントが開催されるため、会場へ行く途中の事故である。道路を直進中、交差点で、相手車が進入してきた際、助手席側に接触したものである。	51	90103	10~ 29
2	6~7	新聞配達のため自転車で渡っていた時、東から来た車と衝突し頭部を負傷した。現在ICUにて治療中。	69	80205	30~ 49
2	15~16	交差点で赤信号のため停止しようとしていたところ、後方から来た相手車両に追突されたものである。	46	40201	50~ 99
2	13~14	社有車に乗り、顧客宅へ向かう途中（運転中）、車内にある書類を確認したところ、他のファイルがハンドルに引っ掛かり操縦不能に陥り、電柱に衝突し、左足甲を骨折（楔状骨折）する。	42	80209	1~9
2	11~12	昼交代の為、バイク移動中、交差点にて当方が青信号で直進し右折して来た軽自動車と衝突した。顔面を強打し、救急車で搬送される。	33	170209	50~ 99
2	11~12	バイクでの配達途中において、アパートの敷地から次の配達先へ向かうため右に進んだ際に、タイヤが滑ってしまい右側に転倒しそうになったので、右足で支え体勢を立て直したが、バイクの後部に付いているキャリアボックスがアパートのゴミ集積場に当たってしまい左側に転倒しそうになった。その際に、再度体勢を立て直したが、前方にあった車止めに前輪が当たりブレーキがかかった状態になり右側に転倒して胸を強打した。（アパートの敷地は雨で濡れていて滑りやすい状態であった。）	62	110101	500 ~ 999
		自動車整備の為、車両を運転して道路を走行していた。交差点で前方の			

2	14~15	車両が赤信号の為停車した。本人の車両は停車をせず、前方の車両に追突した。本人は全身打撲と胸骨骨折をした。前方の車両は完全に停車していた為、前方の車両に過失はないものと思われる。	18	11701	50~ 99
2	15~16	トンネル南出口周辺にて、新聞配達中、急に前を小動物（狸？）が横切ったため避けようとして転倒し、バイクの前輪が左足に乗り上げ、左足を骨折した。	54	80205	1~9
2	11~12	配達のため宅配バイクで交差点付近を東進していたところ、北進してきた自動車と衝突し負傷した。	43	140201	10~ 29
2	18~19	業務中の移動の際に信号にて停車中に後方より追突され、その衝撃により前方の車に追突した。（玉突き事故。）車両はつぶれ、全身を強く打つ。	42	90209	—
2	17~18	作業現場での業務を終えて会社に戻る途中、県道で右折するため対向車待ちで道路上に停止していたところ、後方から加害者が運転する車が被害者の車（軽トラック）へ後ろから追突し、その際頭部、首に強い衝撃を受けた。	59	30201	—
2	12~13	配達途中（二輪）、交差点青信号で注意しながら右折していたところ、右方向から信号を無視してきた車両と衝突し、8~10m引きずられたものである。	33	110101	500 ~ 999
2	16~17	夕刊配達時、バイクで走行中に前方を走行していた相手自動車が急停車をしたため、ブレーキをかけたが間に合わず、衝突し、負傷した。	55	80205	10~ 29
2	11~12	道路で一時停止後、発進し、右折しようとしたところ、左側から直進してきた車と接触した。	54	90103	30~ 49
2	10~11	オフィスから約束のお客様宅へ車で訪問する際の事故である。交差点で赤信号停車中、追突された。4台の玉突き事故で自身は先頭車であった。事故後はアポをキャンセルした。首、腰のむち打ち、頭痛、吐き気あり。事故後、救急搬送された。	36	90103	30~ 49
		雨天時の新聞配達時、原付バイクで歩道に乗り上げる際、段差で後輪が			10~

2	3~4	スリップし転倒した。その時慌ててバイクから飛び降りたが、右足がバイクと縁石に挟まれ、右足甲及び右足薬指の付根の2ヶ所を骨折した。	47	80205	29
2	14~15	車で向かう途中（運転者）、信号が赤のため停車中に、後方の車に追突された。	38	80109	30~ 49
2	15~16	現場へ図面等を届けた帰り、本社に向かって社用車で走行中、目の前の信号が黄色に変わったため停止したところ、後方の右車線を走行していた相手車が、前方にいた右折の車を避けるために左側に車線変更をして、当方の車に追突した。なお、事故直後は、加害者は「（信号が変わったばかりだから）お宅の車がそのまま行かだろろうと思った」と言っていたが、後から「青信号だった」と発言が変わった。	30	30199	1~9
2	22~23	高速道路を走行中に、後ろを走行していた乗用車に追突された。なお、当社は労災とは認めていない。	43	40301	10~ 29
2	18~19	配達用自動二輪車で配達先から戻る途中、片側一車線の直線道路で前方を走行していた四輪車がスピードを落としたため、当方も減速しようとブレーキを掛けたところ、前輪がロックしてしまい転倒し受傷した。当日は雨の降り始めで路面は滑りやすい状況であった。	55	110101	100 ~ 299
3	16~17	業務終了後、会社送迎バスにパート社員6名を乗せ営業所を出発し、運行ルートに合わせ走行中、交差点を右折レーンから信号機の右折矢印が点灯したことを確認し、交差点へ進入した。右側の横断歩道を確認して右折しようとしたところ、対向車線を走行してきた車が送迎バス車体の左側に衝突した。事故の衝撃により、乗車していた6名のうち1名が揺れる社内で手をつき、右手親指付け根を骨折した。	63	50101	100 ~ 299
3	10~11	実車運行中、対向車線を走行していた相手車が脇見をした際、当方車線に進入してきて正面衝突し負傷した。	55	40202	100 ~ 299
3	7~8	交差点にて赤信号で停車していたとき（会社より改修工事現場に向かっている途中）、後ろからきた車がスリップをして止まりきれず衝突し、頸椎・腰椎・前胸部を負傷した。	46	30209	1~9

3	20~21	空車で走行中、お客様が合図してきたので停車しようと思ったが、左側工事のため、後方からすぐ車が来ていたので先に行ってもらうため、合図しようと思ったときに衝突された。	71	40201	50~ 99
3	18~19	配達終了後、原付二輪車で片側二車線の路線道路橋の左車線を走行中、頂上から下りに入った際、凍結路面に前輪がふらつき始め、足を出して体勢を整えようとしたが、左側に転倒して左肩を強打し負傷した。	25	110101	300 ~ 499
3	8~9	回送中に交差点で左折する際、一旦停止しようとしたところ、後続車両が前方不注意により自車後方部分に追突し、その衝撃により負傷した。	27	40202	100 ~ 299
3	15~16	被災者は、作業現場へ向かうため走行中に、交差点で相手車両と衝突し、右鎖骨骨折および肋骨骨折を負った。	29	170209	1~9
3	15~16	利用者宅に向かって走行中、わき見運転をしまい、道路左側の電柱に激突した。エアバッグが作動し、右腕と胸部を強打し骨折した。	54	130201	30~ 49
3	22~23	電気事故対応後、協会に戻るため走行中、交差点の信号が赤に変わったため停車したところ、後方から車両が追突した。	45	170209	30~ 49
3	12~13	十字路交差点を直進中、ウィンカーを出さずに右折してきた対向車と衝突した。	30	90103	30~ 49
3	9~10	交差点で赤信号で待っているときに、急に具合が悪くなり意識がなくなり、アクセルを踏んだまま車が走り出し、青信号で右側から進んできた車に衝突し、その反動でアパートの間に衝突し停止した。停止したときに意識がなく、救急搬送された。	64	40201	10~ 29
3	15~16	本人は一時停止、相手は優先道路の十字路で、本人が一時停止して左右確認し前進したところ、相手の車が左側から直進して衝突した。	60	90103	10~ 29
3	11~12	現場へ向かう途中、反対車線へ飛び出してしまう、対向車と衝突した。 (過失割合は本人が100%)	50	30209	1~9
3	7~8	自宅から工場へ出張するため、交差点を青信号で直進したところ、対向	22	120109	1000 ~

		車が右折してきて衝突した。			9999
3	13~14	次年度業務のための巡回確認作業終了後に休憩をとり、そのあと別の客先に向かうため社用車にて走行中、前方を低速で走行中の車に衝突し負傷した。	70	30110	1~9
3	4~5	原付バイクにて朝刊を配達中、別会社の新聞配達員のバイクが路地から飛び出そうとしているのが前方に見えたため、急ブレーキをかけた際に転倒し負傷した。	67	80205	30~ 49
3	10~11	バイクで次の配達先に向かう途中、前方を右折のため20m手前から右ウインカーを出して右折を開始しようとした際、後方から相手四輪車が追い越してきて接触し、右肩と頭を打って救急搬送された。	31	110101	500 ~ 999
3	19~20	ガソリンスタンドにて灯油を購入し、会社に戻る途中、五差路の交差点を青信号で直進していたところ、左側の道路から赤信号を無視して進入してきた車両と衝突し負傷した。	35	70101	1~9
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車の助手席側後部座席に乗車していた。ほかに運転者と添乗者の計3名で移動中、車両が片側2車線道路の右車線を走行中に、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、首と腰を負傷した。	43	130201	50~ 99
3	10~11	訪問入浴の支援で、入浴車に運転者として乗車していた。ほかに2名の同乗者とともに、車両は片側2車線道路の右車線を走行中、左車線の車が急に車線変更してきたため減速したとき、後続車の大型トラックに追突され、背部と頸部を負傷した。	39	130201	50~ 99
3	5~6	新聞配達でオートバイに乗って道路上を走行中、道路上左側にいた歩行者と衝突し転倒し、頭部および顔面を強打した。なお、本人は衝突前後の記憶が喪失しており、相手方も意識不明である。	41	80205	30~ 49
3	16~17	当方に一時停止の標識有の交差点をバイクにて集金作業中、左側より走行してきた車と接触し左肩・左肋骨等を負傷した。	41	80205	10~ 29
		バイクで配達途中前方の自動車がゆっくり道路真ん中に寄ったため、そ			

3	11~12	の左側を通り抜けようとしたところ、相手車が左に寄ってきて接触し転倒し、本人はバイクの下敷きになり救急搬送され、骨盤と両足首を中心とした全身打撲が判明した。	58	140201	30~ 49
3	11~12	被災者はバイクで配達中、敷地内でUターンした際に右側に転倒し、バイクのステップが右第2趾に当たり負傷した。	33	110101	100 ~ 299
3	5~6	夜勤現場から日勤現場へ移動する途中、ポールコーンに接触しバイクが転倒し、顔面を強打して顔面に擦り傷、打撲多数を負い、歯が何本か折れた。	38	170201	30~ 49
3	17~18	事務所駐車場内にて、帰ろうと駐車場出口に向かい直進していたとき、相手は駐車場に頭から入れていた車をバックさせていた。相手は後方を目視していたが見えておらず、クラクションを鳴らしたが、そのまま相手車左後方部分と当該車の右前フェンダーが接触した。	53	130201	10~ 29
3	5~6	バイクで走行中、車道に停車してあった軽トラックに追突し転倒した。	69	80205	30~ 49
3	16~17	屋根付きバイクで配達中、車線変更をした際に転倒し、身体を損傷した。	40	140201	—
3	16~17	配達のため、電動機付き自転車に乗務していた。走行中、隣車線から車線変更してきた四輪車に驚き、急ブレーキを掛けたため後輪がスリップし、肋骨を骨折した。相手側四輪車とは接触せず、四輪車はそのまま走り去った。	51	110101	500 ~ 999
3	12~13	片側2車線の幹線道路上、信号待車中の相手方駆四輪に気づきが遅れ、ブレーキが間に合わず、相手方チルド車後方に当方前部を激突させた。当方は軽度打撲、相手方は軽度のケガ程度である。当時、本人は集荷後の帰局途中で、安心感からボーっとしていた。	44	110101	100 ~ 299
3	12~13	対面通行、片側一車線を青信号のため直進中に、前方交差点を徐行にて進入直後、相手四輪が突然右折を始めたため避けられず、相手四輪の右	48	110101	300 ~

		前方と自車二輪右側面が接触した。被災者は進行方向右側歩道へ飛ばされ、左踵を地面にぶつけ、右膝を車両と接触の際に受傷した。			499
3	15~16	外出活動から事業所へ戻る帰り道の一般道路上において、車2台に分乗し前後に並び走行中、追走車が前方不注意にて前走車に追突し、前走車に乗車していた被災者が腰椎および胸椎を捻挫した。	54	130201	10~ 29
3	10~11	踏切にて信号が青にもかかわらず、（踏切であっても信号機優先で一時停止要らず）、前方車両が踏切で急ブレーキをかけたため、隊員も急ブレーキとなり、左足を強めに道路について骨折した。	35	170201	10~ 29
3	17~18	前方渋滞で最後尾に停車中、後続の車に追突され負傷した。	71	40201	50~ 99
3	14~15	当方走行中、合流地点で停車したところ相手方車両に追突された。	52	40201	300 ~ 499
3	12~13	交差点で両車共に一時停止の規制がなく、お互い減速することもなく進入し衝突した。	53	40201	100 ~ 299
3	15~16	交差点を右折しようとして交差点中央付近で停止していたところ、信号が赤に変わる間際に対向車が止まったので右折を開始したところ、対向車線の先頭に止まっていた車が突然動きだし、あわててバイクのハンドル操作を誤り、転倒し負傷した。	30	110101	100 ~ 299
3	22~23	バイクで宅配中、交差点にて前方タクシーが客を乗せるため道路脇に停車、後続の車がスピードを落とし、続く自車バイクがブレーキをかけたが間に合わず接触し、転倒した際に右顔面・右手・右膝を打撲し、頸椎を損傷した（自己過失100%）。	39	140201	30~ 49
3	4~5	バイクで朝刊配達中、配達先からバイクで出ようとしたとき、その道路が大理石であったため、バイクが真横に滑り転倒した。	69	80205	1~9
		集荷後、帰局途中、片側3車線の幹線道路の左折車線で信号待ちのため停			300

3	12~13	車していたところ、後続2台の追突事故による玉突きに巻き込まれ追突され、頸椎捻挫を負った。	41	110101	~ 499
3	11~12	空車営業中、一方通行路にて、右前方にトラックが停車していたため、安全確認のため一時停止したところ、後方よりきた相手側に追突され受傷した。	51	40201	~ 299
3	9~10	狭い路地を走行中、対向車がきたので前車両に続いて停車したところ、急に前車両がバックしてきたため、クラクションをならしたが相手車両は止まらず、そのまま当車両のフロントバンパー部分に衝突した。	53	110101	~ 499
3	5~6	朝刊配達を終えて、店舗に戻るためにバイクで走行中、左側から走行してきた乗用車と衝突し転倒した。	24	80205	30~ 49
3	14~15	前方の信号が赤のため停止中、7人乗り乗用車2列目中央に本人が座っているとき、乗用車後方左側に加害者小型トラックが脇見運転の上ノーブレーキで追突した。はずみで乗用車は前方の大型トラックに追突し、本人はその衝撃で一時意識を失うも、同乗者に促され下車し、救急搬送された。	62	130201	50~ 99
3	10~11	配送用自動車運転中、入口交差点の赤信号から青に変わった直後、後方乗用車が衝突し頸椎を捻挫した。	44	80109	500 ~ 999
3	8~9	現場にバイクで向かう途中の交通渋滞中に、当方は直進しながら駅北口に向かっていたが、右側道路から直進し、車との間を通り抜けようとする乗用車の左バンパーが当方の右側面に衝突して転倒した。尚、当方からは、通り抜けようとする車が発見できなかった。	42	30201	1~9
3	20~21	赤信号に従い停車していたところ、後方より来た相手方乗用車に追突され負傷した。	59	40201	100 ~ 299
3	15~16	信号の無い交差点を自転車で渡っている時に、車と衝突して負傷した。	60	130201	30~ 49

3	6~7	バイクで朝刊配達後、店に戻る途中、バイクのハンドル操作を誤り、道路左側の側壁に接触し転倒して負傷した。	77	80205	50~ 99
3	16~17	当該者は空車回送中、T字路を直進した処左方より右折してきた相手方車両と衝突し負傷した。	57	40201	50~ 99
3	14~15	顧客店舗へ向かうため走行中、渋滞が発生し始め、前方車両が停止したため当車も停止したところ、後続車両に追突された。	39	40301	300 ~ 499
3	16~17	現場から会社に戻る途中、優先道路を20~30キロの速度で走行していたところ、相手が一時停止せず走行してきたため衝突してしまった。その際、車は民家の壁と相手の車に挟まれ停止し、エアバッグが作動したが胸を強打して骨折した。	40	30209	10~ 29
3	15~16	道路左側寄りを直進していた際、T字路左から道路を横切り、右側にある駐車場に駐車するためバックで進入してきた相手車両を避けきれず、右後方側面部分に衝突した。	43	110101	300 ~ 499
3	22~23	ピザを配達中、信号赤のため停車中、先方は停止線をはみ出していたため、左折車との接触を危惧し、当方に気付かず先方が後退し、当方と衝突した。当方は左側に転倒し、右足首捻挫と腰を打撲した。	21	80209	10~ 29
3	3~4	朝刊配達のため、バイクで路上を走行していたところ対向車を避けようとし、道路端のポールにぶつかってしまい、転倒して負傷した。	58	80205	30~ 49
3	15~16	道路をトレーラーで走行中、後方から走行してきた乗用車が中央分離帯に衝突し、その反動でトレーラー左側面に衝突され、その影響で道路左側のガードレールに衝突し、被災者が負傷した。	48	40301	30~ 49
3	5~6	車で朝刊配達中、付近の小路から出る丁字路でアクセルとブレーキをふみまちがえて右から来た車にぶつかった。	63	80205	10~ 29
3	11~12	国道脇の除雪作業の交通誘導の作業中、走行してきた軽ワゴン車にはねられ、頭部・胸部・腹部・骨盤・上肢・下肢を負傷した。	72	170201	1~9
		双方に止まれの標識がない交差点で、デイサービス利用者送迎用の軽四			

3	16~17	車両を運転中に、左側から車がきていることに気付いたが、距離が近すぎてぶつかると思い、アクセルを踏んで避けようとしたが間に合わず、車両の後部に相手の車両のフロントがぶつかり、軽四がはじき飛ばされ回転し、田んぼに落ちた際に頸部を負傷した。	48	130201	50~ 99
3	19~20	当方車両が被災場所の交差点を直進中、一時停止のある道路から停止せずに進入してきた相手車両が当方車両の左前角に衝突した。衝突の衝撃で当方車両が右方向にはじき飛ばされ、相手車両は交差点にあるカーブミラーに追突し、停止した。	52	110101	50~ 99
3	8~9	車で通勤し、従業員駐車場内の右奥から2番目の場所に駐車しているのを確認し、車から降り扉を閉めたのを自車内後ろで目視確認するまで、停車して待ち、その車右側スペースに止めようと、運転席側のドアを開け縁石ギリギリに止めようと目視で下がった。その際、時計をカバンの中から探そうと下を向きながら歩いていた被災者が、バックしてきた車の後方と衝突し、倒れた。	49	130201	50~ 99
3	16~17	片側2車線の道路、運転席後部座席乗用車（シートベルト未装着）相手の居眠り運転によるセンターラインをオーバーした。当方運転手が衝突を避けるために左にハンドルを切ったが、当方右後部座席側に相手車両が衝突した。	45	90103	50~ 99
3	11~12	優先道路の交差点を直進で進行中、右方向より相手車両が飛び出してきたが、衝突を回避する事が出来なかった。相手車両との衝突後は脳震盪を起こし動くことができず、救急搬送された。	57	130201	100 ~ 299
3	21~22	勤務を終え営業所へ戻る途中、交差点でのスリップ単独事故である。当日は降雪で、路面も積雪状況であった。緩い下り坂で信号が黄色に変わるのを確認し、減速の為ギアを下げた際スリップし、道路左側の電柱に衝突した。	34	170201	50~ 99
3	11~12	デイサービス利用者宅へ車で移動中、停止線標識なしの丁字路にて、減速して安全確認をしようとしたが左側に住宅があり、前に出ないと左右の確認が取れない環境と不注意が重なり、前に出すぎて右方向から来た	52	130201	100 ~

		車と衝突し、前胸部および左中指を打撲した。			299
3	7~8	朝の送迎時、利用者宅に向かう途中、十字路の出会い頭でデイバスと乗用車が衝突した。双方の運転手の前方不注意による事故であった。デイバスに同乗していた介護職員がシートベルトのない補助席に座っていたため、全身を打撲し、救急車で病院に搬送される。	64	130201	10~ 29
3	14~15	社用車を運転していた際、合流しようとして交差点で一時停止していたところ、相手方車両に後方より追突された。	48	110101	30~ 49
3	8~9	入居者送迎のため、他の従業員が運転する車両に同乗し、施設駐車場から出発しようとしたところ、当該車両が急発進し、道路向かいの家屋の壁に衝突した。	75	130201	10~ 29
3	9~10	利用者宅を出て車で走行中、自宅から出て右折しようとした車に当てられ頭部、頸部、右膝を負傷した。	36	130201	10~ 29
3	5~6	ドライバーが走行中、交差点の信号が赤のため停止していたとき、相手方後継車両が追突してきた。	41	40301	30~ 49
3	15~16	巡回業務のためバイクで南へ向け走行中、渋滞で車が列となっている左側を前進していたところ、南から来たタクシーが渋滞でとまっている車の間をぬけて、路地へ向け右折したため、進路を妨げられてタクシーの横へ衝突して転倒し、鎖骨骨折と肋骨骨折を負った。	33	170209	10~ 29
3	18~19	バイクで宅配途中、団地内の交差点付近にて直進していたところ、対向車が右折をして衝突し、転倒して左鎖骨骨折、左膝打撲裂傷を負った。	20	140201	30~ 49
3	12~13	訪問介護生活援助で買い物代行サービスを実施中、バイクにて利用者の自宅に戻る途中で車進入止めのU字ポールの間をバイクにてすり抜けようとした時、U字ポールに右足下腹部を強打し、打撲圧迫による切創を負い出血した。	65	130201	10~ 29
3	1~2	信号機のない交差点にて当方は北から南へ走行中、一時停止を怠った東から西へ走行してきた相手方と接触した。	55	40201	100 ~ 299

3	17~18	側道を営業のためバイクで走行中、右折の際、対向車線から直進してきた相手方車輛と衝突し負傷した。被災者が右折時、相手方車輛は交差点前の上り坂にいたため、被災者側から視認できず、相手方が直進を続け、事故が発生した。	26	90101	10~ 29
3	13~14	営業の路線バスに乗務中、バス停で停車していたところ後続車の玉突き事故に巻き込まれた。	39	40202	100 ~ 299
3	20~21	直線道路において路線バスを回送運転していたところ、後続から追従してきた相手乗用車の前方不注意により、追突を受けたため頸椎を負傷した。	47	40202	100 ~ 299
3	14~15	カーテン取り付けのため、同僚が運転する箱バン（軽自動車）に同乗し、運転手が入口看板をわき見していたため、車が車道左の縁石に乗り上げて暴走し、数メートル先の街灯のポールに激突して大破し、組んでいた左足を骨折した。	36	80209	1~9
3	14~15	営業およびカーテン取り付けのため、箱バン（軽自動車）に同僚を同乗させて、運転中に入口看板をわき見していたため、車が車道左の縁石に乗り上げて暴走し、数メートル先の街灯のポールに激突して大破し、左肋骨等を骨折した。	71	80209	1~9
3	13~14	会社から現場に向かうため北東に向いて走行し、交差点の信号が赤信号であったため、前方の車両に続き停車したところ、後方から走行してきた車に追突された。	61	30309	30~ 49
3	14~15	信号待ちで停車中、後方よりトラックに追突され負傷した。	53	40201	100 ~ 299
3	14~15	2車線バイパスの左側を走行中、後方確認のあと右側へ車線変更したところ、後方より追突された。	30	90103	300 ~ 499

3	14~15	2車線バイパスの左側を走行する車両に同乗中、同車運転手が後方確認のあと右側へ車線変更したところ、後方より追突された。	24	90103	300 ~ 499
3	11~12	片側交互通行のため2名で規制をしていたところ、男性運転手がぶつかってきた。本人は少しよけたが、その方向に向かって来て、田んぼに落ちた。	46	170201	10~ 29
3	16~17	青信号を交差点へ進入し直進したところ、対向車が右折し、交差点内で接触した。	43	90103	30~ 49
3	5~6	原動機付自転車で朝刊配達のため走行中、電柱のそばで意識不明で倒れているところを発見された。おそらく電柱にぶつかって転倒したものと思われる。病院搬送後、意識は戻ったが相槌を打つぐらいしか出来ないため、まともに話す事が困難な状況である。頭部出血及び内出血、腰打撲、肋骨骨折を負った。	60	80205	10~ 29
3	14~15	利用者様との事前面談の為、自身の勤め先である事業所から病院へ車で向かう途中、交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、2台後ろの加害者運転の車が、本人の後ろの車へ追突するという玉突き事故が発生し、外傷性頭部症候群、背部打撲、左手打撲を負った。	38	130201	100 ~ 299
3	1~2	朝刊配達の為、バイクで走行中、飛び出してきた猪と接触し転倒し、肋骨を骨折した。	56	80205	10~ 29
3	12~13	自動二輪車で配達作業中、地内の幅約1mの山道（コンクリート舗装）を走行中に、路上の落石にハンドルを取られ、道路右側側面に脱輪し転落し、バイクのハンドルに左脇を強打した。	42	110101	100 ~ 299
3	10~11	高速道路走行中、前の車の予備タイヤが落下して、そのタイヤを避けることが出来ず衝突した。そのあと運転操作不能となり、ガードレールに衝突した。	24	80109	1~9
3	9~10	右折レーンからUターンしようとしていた際、車が途切れたのを確認できなかったためUターンし、少しセンターラインに被ったため車線を整えようとハ	36	150109	1~9

		ンドルを操作したところ、後続の車に追突された。			
3	20~21	東向き走行中、交差点で赤信号の為、停車中の車列に続いて減速し、停車する直前に3台後ろを走っていた乗用車が前走車に追突し、玉突き状態で当方の車両に追突してきた。	58	40201	100 ~ 299
3	19~20	交差点にて赤信号で停車しようとした際、後続車から追突された。当該乗務員は社用車で前方を運転しており、後続車はお客様から預かったマイカーを別の乗務員が運転しており、社内間での事故となった。当日は雨で路面も濡れ、後続車のタイヤがスタッドレスタイヤであったため、制動距離が長くなってしまった。	46	40302	30~ 49
3	22~23	路上で工事用車両として待機中、規制内に入ってきた一般普通車両に追突された。	41	40301	10~ 29
3	16~17	自動2輪車で配達業務中、帰局のため、交差点を左折しようとしたところ、信号が黄色に変わった為、急ブレーキをかけたところ、雨で濡れていたためタイヤがロックし、右側に転倒し、左鎖骨骨折を負った。	28	110101	300 ~ 499
3	0~1	北向きに走行し、右手にある目的地に入ろうと右折したところ、直進してきた反対走行の相手車両と衝突した。衝突の際、自分が運転していた車のハンドルに胸を強打した。	69	40201	50~ 99
3	15~16	営業車を運転して営業先から営業所に帰る途中、居眠りをしてしまい、緩やかな右カーブを曲がり切れず道路沿いの民家に衝突して右膝の皿を割る怪我を負った。	48	80101	1~9
3	7~8	会社集合場所から作業所へ移動中、本線から下り料金所手前の直線路で車体左側を縁石か壁面に接触させ、その反動で車体が横転し被災した。	19	30201	10~ 29
3	6~7	第一当事者が運転する車両が後方からクラクションを鳴らされたことにより、方向指示器を出さずに急に右車線へ車線変更した際にスリップし、右車線走行中の第二当事者の車両左前方と接触し横転し、第一当事者が負傷した。	68	170201	1~9
3	11~12	営業業務にて運転中、信号のある交差点にて、自車は赤信号で停止中	60	80209	10~

		に、信号が青になった直後に後方の相手車から追突され負傷した。			29
3	3~4	バイクで朝刊を配達中、交差点の手前で減速したところ前タイヤが滑り転倒し、左胸を打ち肋骨を2本骨折した。	61	80205	10~ 29
3	5~6	新聞配達中、方向転換する時に後に下がり過ぎて、道から外れて3m下へ落下し、左膝を骨折した。	71	80205	30~ 49
3	8~9	事務引き継ぎのため原付バイクで出勤途中、前方を走っていた車がブレーキをかけ減速したので、こちらもブレーキをかけたがタイヤが滑り、ハンドルをとられ左膝が電柱に接触した。当時、異動予定の新任地に引き継ぎのため出張中であった。	43	90101	100 ~ 299
3	1~2	業務中に運転を誤り、ブロック壁に衝突し負傷した。運転中に携帯電話を落とし、取ろうとして運転を誤った。	59	40209	1~9
3	12~13	トンネル内で渋滞中（被害者のトラックは停止していた）、後ろから追突された。	53	40301	10~ 29
3	17~18	技術管理者が業務中に派遣先で打ち合わせの為、車で移動中、ゆるやかなカーブで対向車がセンターラインをはみ出し、正面衝突となった。	40	170101	100 ~ 299
3	15~16	道路の真ん中を走行中、右側追越車線を走っていた10tトラックが車線変更のために左車線に入ってきて右後方に接触し、自車は回転して停車した。	41	80109	50~ 99
3	15~16	高速道路を営業客先より会社方面へ運転走行中、並走車両との間で衝突事故が発生し緊急搬送された。	39	11701	50~ 99
3	6~7	路上に於いてタクシーに乗務運転中、脇見をしたため中央分離帯に衝突し、右足を骨折する。	65	40201	100 ~ 299
3	13~14	道路で車を運転中、道が砂利になっていたのでハンドルをとられ、立て看板と化粧ブロックに突っ込んだ。	19	150101	10~ 29
		会社から工場へ行く途中、交差点で黄点減で進入したところ、右側から			

3	0~1	車が衝突した為、首と腰を強く打った。	37	40301	1~9
3	13~14	国道でバキューム車の助手席に同乗中、し尿汲取り作業のためお客様宅へ向かっている時、右折しようとして停止しているところ、後ろから軽トラックに追突された。	27	150109	1~9
3	13~14	国道でバキューム車を運転して、し尿汲取り作業のためお客様宅へ向かっている時、右折しようとして停止しているところに後ろから、軽トラックに追突された。	28	150109	1~9
3	17~18	バスの路線研修のため駅間を往復し、復路の特急バスに乗車中、乗車していたバスと軽トラックが接触事故を起こし、急ブレーキの衝撃でムチ打ちとなった。	45	40202	50~ 99
3	11~12	配達のため、バイクを停車しようとした際、右側方向から犬が吠えながら飛びかかってきたため、バイクごと左側へ転倒し骨折した。	53	110101	100 ~ 299
3	8~9	路上において、赤信号のため停車していたところ、後ろから普通乗用車が約80キロのスピードで減速せずに追突してきた。	42	40302	1~9
3	4~5	左折専用ラインにて相手車が直進したため衝突し負傷した。	42	40201	100 ~ 299
3	17~18	サービス提供のため利用者宅へ向かっている際、相手方の私有地を通過時、相手の車がバックする事に気付き、左方向へハンドルを切ったが間に合わず、相手の車と接触した。	31	130201	50~ 99
4	3~4	当該乗務員は、夜勤勤務に従事し、真夜中に空車で信号待ち停止していたところ、後方から走行してきた車両が、当方の後ろに停止していた車両に追突し、その車両が玉突きで当方に追突し、さらに当方の車両が反動で前の車両に追突した4台の玉突き事故により負傷した。	56	40201	100 ~ 299
4	4~5	営業車で進行中、交差点信号が赤だった為に停車していたところ、後続	51	40201	100 ~

		車両の前方不注意により追突され負傷した。			299
4	21～ 22	夜センターラインの照度確認のため1人で写真撮影している際、黄色の作業車が南側車線の路肩に停車していた。写真撮影のために対向車線に黒板を持って出たところ、東から西方向に走行し作業車を追い越し中の車にひかれた。	68	30106	1～9
4	16～ 17	ケアマネジャーとして別拠点にいる利用者様にデイサービス利用票を届けるため駐車場に車を止めようとした際、ブレーキとアクセルを踏み間違えて足が滑り（原因不明）、車を支障物にぶつければ停止した。その衝撃でシートベルトに胸をぶつけて骨折した。	60	130201	30～ 49
4	23～ 24	駅の前にて信号待ちをしていたとき、後方より来た車両に追突され、そのまま前方の車両へと接触した。タクシーにはお客様が乗っていた。追突した車両は、ノープレー中（携帯を見ていた）で時速50kmであった。	49	40201	30～ 49
4	21～ 22	お客様を乗せ、交差点を右折のため交差点内にて対向車の有無を確認しているとき、信号が赤になった。交差点内で立往生していたところに、相手車両が右後方側面に衝突してきた。尚、自車は青信号にて交差点に進入していた。	59	40201	50～ 99
4	15～ 16	配達先に向かうため、下り坂の砂利道を走行中にリアタイヤが轍にとられバランスをくずし、左側石垣に衝突し停止した。衝突の際、左足を車両と石垣に挟まれ、左足脛骨腓骨複雑骨折を負った。	29	110101	100 ～ 299
4	16～ 17	交差点で待ち合わせ場所へ向かう途中、左側から赤信号無視した車に衝突され横転した。	32	90103	30～ 49
4	14～ 15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	22	170209	100 ～ 299
	14～	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラ			100

4	15	インを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	22	170209	～ 299
4	14～ 15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	18	170209	100 ～ 299
4	14～ 15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	19	170209	100 ～ 299
4	10～ 11	路上にて容器包装プラスチックを収集する為、集積所に塵芥車のハザードランプを点灯させ停車した。収集作業を開始しようとした時に後方から来た乗用車に追突され、首から腰を痛めた。	34	150103	50～ 99
4	8～9	朝礼等の終了後、3tダンプに2名同乗し、3名にて現場へ向かうため走行中、運転手が運転席の足元に気をとられよそ見をし、道路左側のガードレールに衝突した。	57	30309	1～9
4	4～5	新聞配達中にT字路を右折する際に、前かごの新聞を直していたところ誤ってアクセルをふかしてしまい、電信柱に激突した。	44	80205	10～ 29
4	3～4	道路（砂利道）を原付バイクで新聞配達中に、右折しようとして砂利に滑って転倒した。転倒した時に右足が原付バイクの下敷きになり、右足かかとを骨折した。	77	80205	30～ 49
4	6～7	会社車庫を出発し構内の作業現場に向かう途中、追い越し、反対車線の車両と衝突し、助手席に同乗していて負傷した。	55	30209	1～9
4	6～7	会社車庫を出発し構内の作業現場に向かう途中、追い越し、反対車線の車両と衝突し、後部座席（助手席の後）に乗車していて負傷した。	50	30209	1～9
4	4～5	道路上において、朝刊新聞配達作業中、バイクを走行させ交差点を右折し終えた際にバランスを崩し、バイクごと転倒し、左肩等を強打した。	54	80205	10～ 29

4	4~5	バイクにて朝刊新聞配達作業中、配達先敷地に入るため右折した際に、入口付近の地面の砂にバイクのタイヤが滑り横転し、右肩等を強打した。	64	80205	30~ 49
4	20~ 21	配達を終えて帰社するため、バイクで走行している時、路上に猫がいた。夜間で暗かったため、猫の1m手前まで気づかず、急ブレーキをかけたが間に合わず、猫とぶつかり右側に転倒した。	42	110101	100 ~ 299
4	5~6	バイクで朝刊を配達中、右折するときマンホールの蓋が前日の雨で濡れていたため滑ると思い、マンホールを避けたところ路面上の泥でタイヤが滑って転倒し、右肩が路面に激突し負傷した。	61	80205	10~ 29
4	15~ 16	配達途中、交差点に進入するため速度を10キロへ減速し直進したところ、直進車両の後方にいた相手車両が、突然右にショートカットして来て回避できず、バイクの前面に衝突し、バイクごと左に倒されて両膝を負傷した。	40	110101	300 ~ 499
4	8~9	オートバイにて朝刊配達作業中、配達先宅入り口の坂道でオートバイのタイヤが滑り転倒し、左胸と左足くるぶしを強打した。	58	80205	10~ 29
4	11~ 12	お客様宅を車で訪問する途中、交差点付近を走行中に飛び出してきた野良猫を避けようとして電柱に激突し、首・背中・腰のむち打ちを負った。	55	90103	50~ 99
4	14~ 15	両車優先の交差点にて一時停止をし、安全確認してから直進し（20km未満）、交差点内で左側からきた車に衝突される。	27	90103	500 ~ 999
4	2~3	バイクにて朝刊を配達中、次の配達先へ行こうとバイクを発進させたとき、右足が滑りステップからはずれ、ステップと地面の間に右足を挟み負傷した。	30	80205	10~ 29
4	12~ 13	配達のためバイクで走行中、Uターンをし直線道路を走行していたところ、急にハンドルを左にとられ、バランスを崩して左側へ転倒した。	53	110101	500 ~ 999

4	15～ 16	自動二輪車で走行中、道路左にある民家から右折しようとしてきた軽四輪車の右前方側面に衝突した。運転者は顔面から出血し、緊急搬送された。自動二輪車は左側に倒れ損傷し、また、相手運転者にケガはなかった。敷地出口はゆるやかな下り勾配になっている。	44	110101	100 ～ 299
4	15～ 16	配達後、次の配達先に向かうためT字路を左折しようとしたところ、相手方自転車に乗車した中学生が右折をして来て避けた際に当方自動二輪車を倒した。その際に、当方が右膝及び左大腿部及び腰部及び左肩を挫傷した。	22	110101	100 ～ 299
4	5～6	自社車両2台で工場を出発し、赤信号で交差点で止まる。信号が青になったので発進すると左側から信号無視のトレーラー車が交差点に進入し、先頭車両に衝突した。	72	80409	1～9
4	15～ 16	直線道路を自動二輪（110cc）で走行している際に左側民家から不意に猫が飛び出してきた前輪タイヤと衝突した。衝突した際にハンドルを取られ、バランスを崩し転倒した。	51	110101	100 ～ 299
4	4～5	オートバイで朝刊配達中、新聞投函後、オートバイを発進したとき、右側の高さ50～70cmブロック塀に前輪を引っかけてしまい、そのまま右側に転倒し、右足をオートバイとブロック塀に挟み右足指を負傷した。	54	80205	30～ 49
4	22～ 23	片側2車線の交差点で信号待ちのため停止をしていた際、後続の車両が、隣にいた車両が動いたため青になったと勘違いし、カーナビ操作に気をとられて先方の確認もせずに発進し、停止中の当方車両後部に追突してきた。	39	40202	10～ 29
4	4～5	配達中、死亡していた動物を回避しようとハンドルを操作したが転倒し、右足をバイクに巻き込まれ骨折した。	62	80205	30～ 49
4	22～ 23	当方信号で停車したところ相手方車輛に追突された。	55	40201	300 ～ 499
	9～	空車走行時に道路を右折したあと直進走行したとき、対向左折車両が当			100

4	10	該車線に進入してきて衝突した。	58	40201	～ 299
4	5～6	進行方向が青で左折時、ふくらみ過ぎて信号待ちの相手乗用車に接触した後、民家のブロック塀を突き破り、庭に進入した。	56	150102	10～ 29
4	2～3	交差点にて赤信号停車中、後方より進行してきた相車に追突された。	41	40201	50～ 99
4	19～ 20	三輪付バイクで配達中、信号のない交差点に進入しようとしたところ、相手方が一時停止を無視して交差点内に進入した。当方は交差点進入前に減速およびミラー確認を行うが相手方無灯火での走行であったため、交差点進入後に気がついて急ブレーキをかけるも避けきれず、当方左前、相手方左後方に接触し転倒した。相手方は転倒しなかったためそのまま走りぬけ、その場から去ってしまった。	25	80209	10～ 29
4	17～ 18	タクシー営業中に信号待ちで停車していたところ、後方で停車していた相手車両がブレーキを放し、追突された。	53	40201	500 ～ 999
4	15～ 16	仕事で移動中、電話をする為に国道本線の横にあるバス停にハザードを付けて停車していたところ、相手の車が斜め後方から車線をはみ出してぶつかって来た。自分の車は2m前方に衝撃でずれて、後方から座席にかけて大破し、その際に首や腰、肩に痛みが出た。	59	80109	50～ 99
4	17～ 18	警備先の大規模改修工事の就業を終えた後、通常はそのままバイクで帰宅するが、当日は支社に届ける書類があったため、支社に立ち寄る途中の路上交差点内を直進中、対向車が突然右折をしてきて衝突した。	56	170201	10～ 29
4	13～ 14	病院のタクシー乗り場で待機中に、後方のタクシーに追突された。	51	40201	100 ～ 299
4	11～ 12	路面で電車通過待ち停止中の際（乗客実車中）、後方より進行して来た車両に追突され、衝撃で頸椎を受傷した。	52	40201	50～ 99

4	17～ 18	バイクで集金中、直進しようとした際に右折しようとしたタクシーとぶつかり負傷した。相手方のタクシードライブレコーダーによると本人（バイク）が赤信号で進入してぶつかったとのことである。（よく覚えていないが黄色信号で入ってしまったらしい。）	36	80205	10～ 29
4	7～8	赤信号のため減速したところ、相手方車両に追突された。	60	40201	100 ～ 299
4	2～3	お客様自宅マンション前の路上で、ハザードランプを点灯し停止中に、車内にて会計業務をしていたとき、前方不注意の車速約40kmの車両に右後部を追突された。	55	40201	500 ～ 999
4	16～ 17	配達へ向かう途中、片側1車線見通しの良い道路で、前方にタクシーが停車していたため右に避けようと後方を確認した所、右車線に気をとられ前を向いた時には停車していたタクシーが想像よりも接近しており、ブレーキが間に合わず追突してしまった。	33	80209	10～ 29
4	11～ 12	市役所入口交差点から走行中、前方からの対向車が擦れ違い場所へ進入した為、安全を確認してから通り抜けようと一旦停止したところ、後方より車間距離を詰めて走行していた相手加害車両に追突された。	49	40301	50～ 99
4	3～4	お客様を送迎中の交差点にて、矢印の信号を見誤り直進してしまった際に、進行して来た相手車両に衝突した。	63	40201	100 ～ 299
4	20～ 21	バイクで宅配の途中、道を間違えたため、引き返そうと急旋回したところ、バランスを崩して転倒し、右肩を打撲骨折した。	40	140201	100 ～ 299
4	13～ 14	赤信号のため停止していたところ、後方より相手車両に追突された。	58	40201	50～ 99
4	8～9	自宅から客先へ業務命令により直行するため自動車で走行中、信号のない見晴らしの良い交差点を直進していたところ、右方向から相手車が直	61	80209	10～

		進ってきて衝突した。道路の状況は、こちら側が片道2車線の優先道路であり、相手側は1車線で一時停止標識があった。			29
4	10～11	路上を走行していたところ、目的地が反対本線側であったため目的地を過ぎたところで方向転換し、第1通行帯から目的地駐車場に入ろうとして左折ウインカーを点滅させ減速したところ、後方の第2通行帯を走行中のトラックを第1通行帯から追い抜こうと急加速してきた相手車両がトラックを追い抜くと同時に第2通行帯に車線変更を試みた際、相手車両の左フロント部に当方の右リヤ部が衝突し、相手車両は停止することなく逃げ去った。当方運転士は首に違和感を訴え、頸椎捻挫が認められた。	65	40201	100～299
4	8～9	信号待ちをしていた時、後続車に追突され負傷した。	54	40201	50～99
4	2～3	信号待ちのため、前車に続き停車していたところ、後方より走行してきた相手車両に追突された。	40	40201	100～299
4	19～20	被災者他3名は作業終了後、職長が運転する社有車で帰宅していた。主要地方道を走行中、信号の無い交差点で前方車両が右折待ちで停車していたので、続いて停車したところ、後方より追突された。職長が咄嗟にブレーキを踏んだため前方車両には接触しなかった。全員に外傷なし。	30	30199	10～29
4	12～13	当社採取場から事務所機材センターに帰る途中で車で走行中に、反対車線に入り、右側の電柱に正面衝突して車は全損した。	59	20209	100～299
4	5～6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	46	30201	10～29
4	5～6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	30	30201	10～29
4	5～6	現場へ向かうのに走行していたところ、左の建物のところからトレーラーが出てきて、ブレーキが間に合わず衝突してしまった。	45	30201	10～29

4	12～ 13	バイクでの配達を終え帰局するため、片側一車線の緩やかな登り左カーブを走行中、サイドスタンドが出たままになっていたのに気づかず走行し、スタンドが路面と接触し、バイクが右側に振られてセンターラインをオーバーし、対向車線から走行してきた相手車両の右前部と衝突した。	59	110101	100 ～ 299
4	15～ 16	キャディ業務が終わり、従業員駐車場から車を運転し右折しようとした道に出た際、右側から来たバイクと衝突する。車の運転手は怪我なし。	62	140301	100 ～ 299
4	18～ 19	郵便配達のため自動二輪で走行中、道路を左折しようとした際、自動二輪の一速が吹けなくなり、バランスを崩して左足をつこうとした。その際、橋と柵の間のすき間に左足が入り、転倒して左足を骨折した。	50	110101	100 ～ 299
4	12～ 13	配達先の直前の路上にバイクを止め配達を終え次の配達先に向かう際にUターンしようとしたところバランスを崩し、坂の下り方向に向かって右側に転倒し、右膝と右足首を負傷した。	37	110101	50～ 99
4	11～ 12	事業所へトラックを運転して走行中、市内の下り坂のカーブのあるところで反対車線を走行してきた乗用車がセンターラインをオーバーして、当方の右側側面に衝突してきたため、ハンドルが効かなくなった状態で反対車線に飛び出しガードレールに衝突し、右膝を負傷した。	64	40301	10～ 29
4	10～ 11	被災者は新築工事現場から工事事務所へ戻るため、工事事務所前の横断歩道を青信号で渡っていたところ、左折してきた乗用車に接触し、ボンネット上に乗り上げて地面に落下した後、左手をタイヤに踏まれた。	53	30201	50～ 99
4	16～ 17	T字路上で、原付二輪車に乗りT字路を左折するため停車していたところ、左前方から右折してくる自動車を認識していたので、自動車が右折するまでと待っていたところ、自動車が内回りして反対車線にはみだしてきたため回避することができず、衝突され転倒した。相手方は衝突するまで当方に気がついていなかった。	34	110101	100 ～ 299
4	15～	軽四自動車を運転し、集荷業務に従事していたところ、信号のある交差点で赤信号のため停車した時、後方の軽自動車が一度は停車したが、こ	45	110101	500 ～

	16	ちらが動く前に前進を始めて追突され、首を負傷した。			999
4	4～5	車を使用して新聞（朝刊）を配達中、運転を誤って横断歩道道路標識に衝突してフロントガラスに顔面を強打した。	50	80205	30～ 49
4	17～ 18	配達途中、幅2mの狭い路地から幅4mの優先道路へ（スピードは落としたが左右確認を怠り、停止線で停止をせず）進入したところ、左側から40km/hで西進してきた軽自動車と衝突した。当社バイクは5.5mほど引きずられ転倒し、社員は左足ひざ下を骨折した。	43	110101	100 ～ 299
4	12～ 13	高速道路出口一般道合流地点にて、社用車運転中高速道路を降り一般道に合流する際、一旦停止して右後方を確認中に後方から追突された。	43	80409	1～9
4	16～ 17	会社備品買い出しに行ったあと、車で会社へ戻る途中、渋滞になり、車を停止していた際に後方から普通乗用車に追突され負傷した。	36	11501	100 ～ 299
4	12～ 13	タクシー空車時の際、待機所から戻る途中、信号交差点にて赤で停車中後方から来た車に追突された。	63	40201	50～ 99
4	5～6	店舗応援の勤務終了後、自宅への帰宅途中、自動車運転中、対向車線へはみだし、走行中の軽自動車2台に接触した。	22	140201	10～ 29
4	12～ 13	バイクで配達中、山間の少し右カーブした道路でよそ見をしてしまい、曲がりきれず山の斜面に突っ込み転倒し、右手首を捻挫した。	54	110101	500 ～ 999
4	5～6	軽自動車でコンビニ納品分を配達中、ハンドル操作を誤り道路沿いの縁石に接触した反動でハンドルに顔面をぶつけ、頭部を打撲し、下顎を裂傷した。	52	80205	10～ 29
4	14～ 15	お客様のアポに向かう途中に、信号のない交差点で一旦停止をし、左右確認して動き出したところへ右側からトラックがスピードを上げ突っこんできたため、そのまま数メートル引きずられて車は大破した。	65	90103	50～ 99
		朝刊配達のため原付バイクで走行中、暗くて道路の状態がよく分からなかったが、道路に凹凸感があり、穴のあいたような所へはまってしま			10～

4	3~4	い、バランスを崩した際にステップと地面の間に左足首をひっかけ転倒し、左足首を骨折してしまった。	68	80205	29
4	5~6	朝刊を配達中、猪が飛び出して避けようとして転倒した。	69	80205	30~ 49
4	8~9	業者との集合場所から現場に向かってバイクで走行中、忘れ物に気づき集合場所に戻る途中、バイクが滑り顔面から転倒し、全身を強打した。	73	170201	30~ 49
4	10~ 11	空車で道路を北進中、横断歩道上に自転車が通過したため手前で停止していたところ、後続車である相手車輻に追突された。	52	40201	100 ~ 299
4	5~6	前方に走行していたトラックが渋滞のため減速し始めたところ、気づくのが遅れてブレーキをかけたが追突した。	48	40303	1~9
4	11~ 12	バイクで利用者宅から利用者宅へ移動中、交差点を右折する為に右車線に入ったところ、すぐ後ろの乗用車がミラーの死角に向かっていて見えず接触して転倒し、骨折した。	53	130201	10~ 29
4	3~4	道路を西行中、信号の手前で右側車線走行中の相手車が急に車線変更し、自車の進路を妨害し衝突した。	71	40201	100 ~ 299
4	3~4	交差点東にて信号待ち停車中、後方より追突された。	44	40201	100 ~ 299
4	9~ 10	事務所から利用者様宅へバイクで向かう途中、道路上でマンション駐車場から出てきた車に、乗っていたバイクの横をぶつけられて転倒した。	48	130201	10~ 29
4	16~ 17	次の訪問先へ向かう途中のT字路手前道路で、前方ワゴン車が左折ランプを点灯していたので、信号を左折すると思ったが手前の駐車場へ入り、ぶつかると思い急ブレーキで右に車体を傾けたところ、車には当たらずに転倒した。	56	130201	10~ 29
					300

4	10～ 11	交差点を直進中、対向右折車が被災者運転の車の右側へ衝突してきた。	34	90103	～ 499
4	8～9	廃棄物を積んで処分場へ運ぶため自社トラックにて走行中に、右側車線のトレーラーが接近して来て、左にハンドルを切ったときに車が横転した。	22	150102	1～9
4	9～ 10	3車線ある道路の一番左車線をバイクで走行中、中央車線を走行していたタクシーが前方に路上駐車していたタクシー運転手が手招きしたため、後方未確認のまま、急に車線変更してバイクの前に進入してきた。ブレーキをかけたが間に合わず、タクシーの左側面後方角の辺りに追突し、はずみで横転し、右足首ねん挫、膝打撲、すり傷を負った。	46	50101	10～ 29
4	17～ 18	道路を配達業務の為に二輪車で北進中、左側停止車両の間から従業員が自転車で南東方向へ横断しようと飛び出してきた為、急ブレーキをかけたが、左ハンドルに衝突し転倒した。	44	110101	100 ～ 299
4	21～ 22	職場から業務命令により部品を取りにいき直帰する途中、前方走行中のタクシーが急ブレーキをかけたため、回避しようとした際にバイクが転倒し、右足がバイクに挟まり、3カ所を複雑骨折した。	38	80209	
4	12～ 13	利用者宅より移動中、細い道を西に向かって原付自転車で走行中、T字路（信号、停止線なし）にて右折しようとしたところ、北向き一方通行で走行してきたタクシーと接触した。	54	130201	10～ 29
4	14～ 15	業務中に会社届け出のバイクで顧客宅から次の顧客宅へ移動中、信号のない交差点で相手自動車と接触した。	57	90103	30～ 49
4	0～1	下りを走行中、後方車輛に追突された。	35	40301	10～ 29
4	18～ 19	お客様ご乗車後、交差点で青色発進したところ、信号無視した車両が当車後部に衝突した。	55	40201	50～ 99
	14～	配達業務を終え、帰局途上、国道からの分岐点で自動二輪車で左方へ進入する際に左側へ転倒、顔面を負傷した。当該社員は、転倒前後の記憶			100

4	15	がなく原因不明である。警察の現場検証によると山間部を吹く突風により、転倒したとおもわれる。	53	110101	～ 299
4	15～ 16	図書館へ夕刊配達のためバイクで走行中、交差点で右側から来た車と衝突して転倒し、第3腰椎横突起骨折した。	64	80205	1～9
4	11～ 12	交差点付近で黄色点滅信号を直進中、左方（西）から接近した車両（赤点滅にもかかわらず一旦停止せず）との接触を回避すべく急制動したところ、ハンドルに左胸部をぶつけ打撲した。（相手は逃走した。）	29	90103	300 ～ 499
4	17～ 18	児童の送迎のために車の運転業務中、葬祭場の手前で警備員が停止するよう合図していたので停止していたところ、後ろから来た車両に追突され全身を強打した。	29	130201	1～9
4	16～ 17	利用者送迎の帰りに走行中、店出入口付近で、前方を走行していた車が店舗へ進入しているところへ追突した。	56	130201	100 ～ 299
4	17～ 18	保険商品のアンケート調査を行った後、職域を訪問途中、コンビニでお手洗いを借りるため車道に停車していたところ追突され、首・背中 of 捻挫、両手足の痺れ、腰痛となった。現場は見通しのよい直線道路で、立ち寄ったコンビニは訪問予定の職域のすぐ隣にある。	58	90103	30～ 49
4	17～ 18	ガス工事に係る交通誘導警備をしていたところ、片側交互通行で対向車両が向かってくるため、遠くに見えた車両に停止するよう合図したが、車両の運転手は気付かず前進を続け、接触してしまった。現場は、直線道路の緩やかな下りで、運転手の脇見による事故だった。	69	170201	10～ 29
4	11～ 12	幅約4mの小さく曲がりくねった道路上を配達のため自動二輪車で時速約30kmで走行中、道路左側の山肌から道路を塞ぐように反対側のガードレールの上に倒れ掛かっていた竹に気付くのが遅れ、衝突し転倒した。	51	110101	100 ～ 299
4	5～6	新聞配達中、バイクで下り坂を走行中にハンドル操作を誤り、ハンドルが壁にあたり転倒し、右足を打撲した。	84	80205	10～ 29
		路上でトレーラーを誘導し、先導車に戻ろうと振り向いた瞬間、直進し			10～

4	4~5	て来た乗用車にはねられた。	70	80409	29
4	18~ 19	自動二輪車で下り坂を走行中に道路上の砂利でタイヤが滑り、橋の落下防止コンクリートに前輪が接触してハンドル操作不能状態となり、高さ2メートルの川下にバイクと一緒に左側から落ちた。水の影響はなかったが、左腕を強打し動けなかった。	31	110101	100 ~ 299
4	9~ 10	自社の従業員が海から船を本社へ回航中、車1台を本社に配車する為2台で本社に向かったが、自社の1台がセンターラインをオーバーして対抗の相手車と正面衝突し、首・肋骨・腰などを骨折し、腸及び肺が破裂した。	61	11209	1~9
4	4~5	バイクにて朝刊配達中、バイクの運転操作を誤り、歩道沿にある建物（倉庫として使用中）の窓ガラスに突っ込み、ガラスを破損した。	38	80205	50~ 99
4	19~ 20	バイクを運転して、ピザの配達途中、バス停の片側1車線の道路において、バス停（バスカットあり）に停まっているバスの横を通過しているとき、自車を右横から追い越そうとした相手車が自車のハンドルに接触したため転倒した。	18	80209	10~ 29
4	11~ 12	学外の共同研究先に歩いて向かう途中、正門前横断歩道を渡る時に、軽自動車に向かい側から左折して一時停止し、それを見て歩行し続けると、軽自動車が横断歩道に進行し、本人と車前方バンパー部分が衝突し、本人はボンネット上に倒れて2~3m移動後、前方地面に倒れた。	60	120109	100 ~ 299
4	13~ 14	役場のお客様訪問を終え市内のお客様へ向かう途中、登り坂（カーブ）にさしかかった際に雨で相手車両がスリップし、当車両の右前部に相手車両の右後部が衝突した。	51	90103	50~ 99
4	12~ 13	路上にて台車を用いて徒歩で集配中、前方から走行してくる車両に気付き、道路端の安全帯にてやり過ごそうと待機していた所、相手車両左側前方部が台車に接触し、台車が左足部に接触し打撲する。	19	40301	10~ 29
		得意先の廃棄物を収集する為、パッカー車（自車）を道路左側に止め、助手席から降り、自車の前で自車後方（右）、対向車線（左）を確認し			30~

4	5~6	て、対向車線を渡ろうとした時、自車後方から追い越して来たタクシーに自車右側の対向車線の歩道まではね飛ばされた。	24	150103	49
4	0~1	路上にて当方が黄色点滅を走行中、相手車両が赤色点滅を一時停止せずに当方車両の右後部にぶつかってきて、頸部と腰部を捻挫した。	61	40201	50~ 99
4	10~ 11	訪問介護の業務の中で、利用者の依頼した買い物に車で向かう際、斜面地の駐車場で方向転換を行おうとした際に運転を誤り、駐車場の柵を突き破って7~8メートル下の地面に転落した。	67	130201	30~ 49
4	11~ 12	原付バイクで訪問介護の移動中に雨が降っており、カッパ、ヘルメット着用、水滴で前が見えづらくなっており、信号で急ブレーキをかけたところスリップし転倒した。その際に右側に倒れ、右腕、右脚、左手の甲打撲足のつけ根の内出血、右ひざ、右足の甲を擦りむいた。	53	130201	30~ 49
4	13~ 14	配達業務中、信号の無い十字路を走行中に、一時停止のためにブレーキをかけたところ、フロントタイヤがロックしスリップ転倒した。当時は雨が降っていた。	46	110101	50~ 99
5	18~ 19	一時停止の無い丁字路交差点を通過しようとした直後、右側から右折して来た一般車の左フロントバンパーと当方の右リアバンパーが接触した。	70	40201	100 ~ 299
5	23~ 24	走行中、お客様情報記載のメモを取ろうと目線を助手席に向けたところ、道路上の穴か何かハンドルを取られ中央分離帯にぶつかった。	25	40301	1~9
5	15~ 16	信号待ちで停車していたところ、信号が青になり発進したが、前方の車が動いていない（停車中のまま）なのに気付かず、追突してしまった。見切り発進をしてしまったことが原因である。	46	90103	10~ 29
5	19~ 20	営業車にて移動中、道路を走行していた際に前方不注意により車線をはみ出し、前方のポールに衝突した。衝突した営業車は360度回転し、運転者本人は衝撃により右手首、右肩を負傷した。尚、他者（他車）との接触はなく、同乗者もいなかった。	52	80209	1~9
		乗務中、走行中車両を方向転換しようとした時、後方より走行してきた			50~

5	6~7	車両に追突された。	72	40201	99
5	11~ 12	二輪車で片側二車線の左側車線を走行中、左側交差点で一時停止していた相手四輪車が飛び出してきて、当方二輪車後部キャリアボックス左側に衝突し転倒した。	60	110101	500 ~ 999
5	18~ 19	第一車線に入ろうとした相手車と接触した。	50	40201	50~ 99
5	12~ 13	客先へ向かって車で移動中、対向車線を走っていた加害者が右折しようとして正面から被害者の車にぶつかり、左胸と首を負傷した。	31	30202	30~ 49
5	15~ 16	業務中、交差点を右折しようとしたところ、右折の途中で対向車とぶつかる。車両の左側面に相手側の車が突っ込んだ状況で、事故当時は対向車側に右折しようとしている車があり、右側の視界が悪かった。	19	80209	1~9
5	9~ 10	出勤時、保育園駐車場に車を駐車しようとした際に耳の痛みを感じて気を取られ、アクセルを踏んだまま前進し、前方にあったポールに追突してしまった。	23	130201	10~ 29
5	16~ 17	運転中、赤信号で停止している際に後ろの車に追突された。後方車の携帯電話を操作していたことによるよそ見運転が原因である。	24	170101	100 ~ 299
5	13~ 14	客先訪問の帰りに、二台前方の軽トラックが右折しようとしていたため前方車両同様に停止していたところ、後方よりクラクションを鳴らし走行してきた車に激突された。	39	110101	100 ~ 299
5	17~ 18	送迎からの帰り道に誤って信号機に衝突してしまった。運転中にボーっとしてしまい運転操作を誤ってしまった事が原因である。車両は信号機にめり込んで全損し、頸椎捻挫、多少の擦り傷、切り傷を負った。	20	130201	100 ~ 299
5	17~ 18	当社工場近くのインターチェンジ付近の高速道路上で、客先より営業車で工場へ帰る際に誤って大型トラックに追突し負傷した。	37	11301	—
5	16~ 17	緩やかな右カーブ手前を走行中の車に同乗していたところ、相手方がセンターラインを越えて衝突して来た。	52	90103	10~ 29

5	3~4	農道で、原動機付自転車で新聞配達中、雨上がりで畑の土が道路に流れていたため、路面が滑りやすくなっているところで、マンホールの蓋の上を走行した際、タイヤが滑って転倒してしまい負傷した。	74	80205	—
5	12~13	二車線の道路を配達先へ向かうためバイクで左側走行中、前方の自転車が歩道から路上へ飛び出し右側走行してきた。自転車を避けようと左折し、歩道を越えてお客様宅の駐車場に進入したがタイルの上にコケが生えていたためブレーキを掛けた際滑って右側に腰から横転し負傷した。	39	110101	100~299
5	9~10	所定の収集場で作業を終え約30m先の次の収集場へ徒歩で向かうため、パッカー車の脇から交差点内に進入したところ、左側から直進してきた普通乗用車に撥ねられた。	54	150109	30~49
5	3~4	新聞配達業務のためバイクを運転中、路上において、Uターンしようとして切り返したところ、雨天により路面が滑りやすかったこともあり、誤ってバイクごと転倒してしまった。その際に、左足後部を強く踏ん張ってしまい負傷した。	62	80205	10~29
5	4~5	朝刊の配達中、バイクで右折した際雨のためタイヤがスリップして転倒し、左足根骨骨折、腰部挫傷した。	55	80205	10~29
5	5~6	朝刊を配達中、購読者様の新聞を配達後丁字路に向かってバイクで走っていたところ、右から車が左折しようとしたので、ブレーキをかけた。その道が砂利だった為、タイヤが滑り転倒してしまい、右足がバイクの下敷きになり、引きずられて捻ってしまった。	47	80205	50~99
5	3~4	バイクで朝刊配達中、道路を走行していたところ、対向車のライトに目がくらみ転倒し、左肩を負傷した。	57	80205	30~49
5	12~13	配達業務中、アスファルトの路面上に土が溜まり、ぬかるんでいる状態に気が付かずに走行したところ、リヤタイヤがスリップして転倒した。転倒した際、バイクが右側に倒れ右足親指を骨折し、左手首及び右膝を打撲した。	37	110101	100~299
5	3~4	交差点で右方向から来た原付バイクと衝突して負傷した。	76	80205	30~

					49
5	14～ 15	自動車を運転し利用者宅に訪問介護をする為駐車場に駐車しようとした際、バックをしようとして運転操作をしたが、実際にはドライブ状態のままだった為、アクセルを踏み込み前方の塀に衝突し全身を強打し負傷した。	63	130102	～ 299
5	19～ 20	看板設置の為、現場へ車で移動中、交差点にて赤信号で停車中、後方より追突された。	35	30309	1～9
5	14～ 15	およそ15ヶ所でパンを販売後、移動するため自車は時速約30kmで直進走行中、交差点に進入した手前で左方（約2m）の相手車を覚知したが、相手車と衝突し、自車は右側に横転して停止した。回避措置を講じる余裕はなかった。自車は移動販売車で、事故当時は惣菜・菓子パンを3割程度積載していた（シートベルト装着）。	39	10104	10～ 29
5	10～ 11	バイクでの配達中、配達先受け箱付近が砂利道になっており、バイクにまたがったままスタンドを立てようとした際、砂利で左足が滑り、倒れないように支えたところ背中がポキッと痛みが走った。	55	110101	～ 999
5	9～ 10	社長（顧客）宅に訪問し、火災保険の他社更改をする為に資料を受け取り、社長ご紹介の企業に訪問する為、社長の車の助手席に乗って向かっていたところ、一時停止無視の車が、左後方にノーブレーキで追突し、一回転して横転した。	43	90103	～ 999
5	16～ 17	当局社員が次の集荷先へ向かう途中、信号と渋滞のため停車していたところ、後続の車両が追突し、当局社員の前に停車していた車両と合わせ3台の玉突き事故となった。	57	110101	～ 299
5	16～ 17	帰局途中、見通しの悪い交差点で左右確認したにもかかわらず、右から直進してきた車に出合い頭に衝突し転倒した。	43	110101	～ 299
5	16～ 17	医師の送迎で走行中、前方から相手車両が対向車線に進入して来たため、左側に避けたが相手車両と衝突した。その際に胸部等を強く打ち、	51	130101	～

		頸椎捻挫等の負傷を負った。			299
5	16～ 17	業務終了後、帰宅のため病院職員運転の車の後部座席に乗車し走行中、前方から相手車両が対向車線に侵入し、正面衝突した。その際に腰部等を強く打ち、腰椎圧迫骨折等の負傷を負った。	58	130101	100 ～ 299
5	14～ 15	片側一車線の道を原付二輪車で走行中（配達業務を終えて帰局中）、後方から来た車を先に行かせる為に左に寄った際、くしゃみが出た。その際に原付二輪車の左ステップが縁石に接触しバランスを崩し転倒した。転倒した時に原付二輪車のキャリーBOXが左かかとの上に当たり、挫創した。	38	110101	300 ～ 499
5	19～ 20	社命により会社の車両を運転し得意先へ集金に向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車が右折してきて避けられず衝突し、胸部他を打撲した。	69	80109	1～9
5	13～ 14	当方ピザの配達中、センターラインのない狭路を直進中、先方四輪車が路外より発進をしてきて当方に接触し、当方二輪車に足を挟まれた。	46	80209	10～ 29
5	23～ 24	タクシー営業中、信号待ちで停車中、後方より来た相手車両に追突され負傷した。	56	40201	500 ～ 999
5	7～8	狭路から本線に出る際、一時停止で停止し安全確認をしていたところ、後方より相手方車両が追突し負傷したものである。	28	40201	500 ～ 999
5	22～ 23	交差点を青信号で直進中、右方より走行してきた車両と衝突した事故である。	56	40201	100 ～ 299
5	19～ 20	片側2車線の道路の第一車線を走行中、右レーンを走行していたタクシーが左に進路変更をしてきた為、急制動をして右側に転倒した。タクシーとの接触はなく、相手詳細は不明である。	22	80209	10～ 29
	15～	タクシー営業中、直進方向に進行していたところ、右後方から進路変更			500

5	16	してきた相手車両に追突され負傷した。	45	40201	～ 999
5	4～5	路上で新聞を配達中にバイクの操縦を誤り、縁石に乗り上げてしまい、バランスを崩し転倒し、左鎖骨を骨折した。	37	80205	10～ 29
5	0～1	交差点手前にて、赤信号で、信号より2台目で信号待ちしている時に、相手車両に後方より追突された。	51	40201	100 ～ 299
5	19～ 20	バイクで集金業務をしていた際、バイクの前かごに積まれていた荷物を飛ばないように手で押さえながら走行していたところ、バランスを崩し右側に転倒し、右足首がバイクと地面の間に挟まれた。	22	80205	10～ 29
5	14～ 15	本社から客先へ車で向かっている途中、トンネル内のジャンクションで、間違っ客先の方面ではない方に入ろうとしたため、慌ててハンドルを切り、本線に戻ろうとしたので、車体のバランスを崩し横転した。 (単独事故)	62	120109	10～ 29
5	13～ 14	通りから左折して進行中、左から一時停止しないタクシーが出て来て、衝突し、頸椎を捻挫したものである。	55	40201	100 ～ 299
5	10～ 11	現場から会社に帰る途中、雨の為、交差点で左に曲がろうとした時にバイクがスリップし、バイクと一緒に右側に転倒してしまった。	68	150101	500 ～ 999
5	9～ 10	タクシー営業中、赤信号のため停止したところ、後方から来た相手車両に追突され負傷した。	32	40201	500 ～ 999
5	22～ 23	信号のある交差点で、信号待ちで停車している時、後続車両に追突され、当方の乗務員が負傷した。	64	40201	100 ～ 299
		信号のある交差点で、当方が右折し、停車したところ、引き続き右折し			100

5	8～9	て来た後続車輻に追突され当方の乗務員が負傷したものである。	57	40201	～ 299
5	11～ 12	橋の上の道路で渋滞に遭って運転している社用車が停止中に、後方から来た自動車に追突された。	52	80109	30～ 49
5	11～ 12	利用者宅に向かうため原動機付自転車を運転中、見通しのよい十字路を直進しようと、十字路に進入した。その際、一時停止をした様子だが、完全ではなかったため、相手の車の運転席右前方のピラー付近に衝突した。そのはずみでヘルメットが脱げて、そのまま後方に転倒して後頭部を強打し、頭蓋内出血、肋骨骨折及び骨盤骨折を負った。	62	130201	1～9
5	4～5	朝刊配達のためバイクで走行中、路時から道路を横断し、向こう側路地に入ろうとしたところ、同道を走行して来た大型バイクと衝突した。当方は一旦停止目視による安全確認をしたが、相手バイクが想定外の猛スピードで走行していたので、相手車輻との距離の目測が狂ったと思われる。	27	80205	10～ 29
5	12～ 13	前がつまり停止していたところ後方車輻に追突され、頸椎捻挫の負傷をした。	58	40201	100 ～ 299
5	1～2	バイクにて朝刊の配達中、左折しようとしてバイクがスリップし転倒した。	37	80205	30～ 49
5	14～ 15	道路を走行中、手前の信号が赤のため、前方の乗用車に続き停車したところ、後部より異音と衝撃があり確認したところ、当方バス後部に乗用車が追突していた。	39	40202	50～ 99
5	13～ 14	自動車でショートステイの利用者様を、自宅から当老人ホームに送っていた際に事故が発生した。複数事故が起きている、緩やかな右カーブの細い道路にて、法定速度で走行中、自動車の左前方を塀にこすってしまったため、焦ってハンドル操作を誤り、左側面をこすりながら電柱に衝突した。ほぼ真正面からぶつかったため衝撃が大きく、エアバックが作動してしまい、鎖骨を骨折した。	59	130201	50～ 99

5	11～ 12	水道工事で一車線を規制して誘導中、左折車があり、脇道からも車両が来たので、左折車に止まってもらう合図をしたが、止まらず左折したのでよけたが、車の左側に右肘が当たり負傷した。	40	170201	1～9
5	17～ 18	配車地に向けタクシー車両を回送中、右カーブに差し掛かったところ、対向してきた軽自動車は極端に中央寄りを走行して来たため、危険を感じクラクションを鳴らした。対向車の運転者は気付かずに当方に向かって来たため、急ブレーキを掛け、道路左側に寄って停止したが、回避できず、衝突した。翌朝に頸部に痛みを感じ、頸椎捻挫となった。	58	40201	100 ～ 299
5	8～9	当社開催のキャリアアップ研修へと向かう為に同僚が運転する乗用車の助手席に乗って移動していた。向かう途中の信号のある交差点で、当方が右折しようと信号が青から黄色へと変わり、対向車が止まるだろうと進入した際に、対向車と交差点内で衝突した。この時の衝撃で助手席に乗っていた被災者は車から出られない状況となった。	57	170101	300 ～ 499
5	20～ 21	強度行動障害者への支援についての研修会参加のため出張中、研修会を終えての帰り道、高速道路を走行中、右前輪が道路上の落下物に接触した。同乗者が確認のため車から降り確認中、走行車線を走っていたトラックが後方より追突した。当方労働者は運転席に乗車中にて負傷し、同乗者は無傷であった。	44	130201	10～ 29
5	11～ 12	納品先へ向かう運転中に、不注意により対向車線にはみ出し、ダンプカーと正面衝突し、車の中で挟まれ骨折した。	64	11403	30～ 49
5	10～ 11	トンネル前で右側車線の交通規制があり渋滞が発生した。渋滞に気付く、前の車と十分な車間距離（60m以上）をあけて減速（時速30km）し、それと同時にハザードを着けて後方車に知らせた。しかし、後方車は気付かず、時速70km前後で衝突した。	26	80109	10～ 29
5	19～ 20	走行中、追越車線に停車中の事故車両に接触し、スピンしてガードレールに衝突した。	26	80409	50～ 99
	22～	発注先の注文の変動により、臨時業務で業務終了後に原動機付自転車で			

5	23	直接帰宅しようとしたところ、カーブで曲がり切れず転倒したがそのまま帰宅した。そのあと痛みがあり、鎖骨が折れていることが判明した。	19	11202	1～9
5	9～ 10	信号の無い交差点を通過中、左方向道路より相手の車両が通過し、左側面にぶつかった。	59	80209	30～ 49
5	9～ 10	被災者が駅北口タクシー乗り場にて一番手で待機していたところ、加害者の運転するタクシーが二番手につけようと、被災者タクシーの後ろにつこうとした際、自転車が加害者タクシーの前を横切ろうとしたためブレーキを踏んだが間違えてアクセルを踏んでしまい、被災者タクシーに追突し、その衝撃で怪我をした。	69	40201	30～ 49
5	21～ 22	お客様を乗せ走行中、交差点に差し掛かり、相手の、止まれ標識を無視してきた車両と接触した事故である。	28	40201	100 ～ 299
5	1～2	タクシーで病院の前お客様をお乗せしお送りする途中、交差点で信号が赤のため停止していたところ、後続車に自社の後部中央部分に追突され、腰を打った。	34	40201	100 ～ 299
5	3～4	バイクにて朝刊配達途中、道端の砂にハンドルを取られ、スリップして転倒した。	60	80205	10～ 29
5	18～ 19	営業部から顧客宅へ向かうため車にて走行中、交差点で左から一旦停止を無視した車に衝突された。	22	90103	500 ～ 999
5	19～ 20	交差点にて信号待ちで停車中に、後方よりワンボックス型バンに追突された。	61	40201	50～ 99
5	18～ 19	車が2台通れる場所（道路）で宅配便の荷物を配達しようとしている時に、小さな荷物を配達しようと左足を後ろに引いた際、相手方車の左リヤタイヤに左足のくるぶしが接触してしまった。後ろに下がる為に後方を確認していなかったこと、左足一歩が当たると思っていなかったこと、車両が車の横を通り過ぎていくとは思っていなかったことが原因と	43	40301	10～ 29

		思われる。			
5	16～ 17	商品配達の帰りの運転中、追越車線を走行中に走行車線から追い抜いてきた車をよけようと左にハンドルを切った際、ハンドル操作を誤り、側壁へ衝突し、転覆して停止した。	73	50101	10～ 29
5	4～5	朝刊配達の為、バイクで走行中、ゆるやかな右カーブに差し掛かった時、身体の右側から転倒してしまい、その際地面に頭と身体をぶつけて負傷し、肋骨骨折をしてしまった。	69	80205	50～ 99
5	5～6	市道にて、バイクで会社に戻る途中、横道から走ってきた自転車と接触し、転倒して頭部と顔面を強打した。	72	80205	30～ 49
5	21～ 22	交差点（片側二車線）にて、走行中の車の左側面でバイクにて走行中、右車線を走行中の車がウインカーを付けずに左車線に進入してきた。それを避けようとした左車線走行中の車が急ハンドルを切り、当バイクと接触し、バイクが転倒した。	33	130201	50～ 99
5	17～ 18	当日は夕立があり、本人は配達に出たが雨がひどかったので少し休んでから店へ帰るところだった。（その時はまだ雨が降っていた）バイク50cc（原動機付自転車）を運転して右折するとき、真南から北に向かってくるバイクと当たり事故になった。なお、本人には事故後の記憶がない。	21	80209	1～9
5	14～ 15	定期清掃班の作業車が、清掃資材搬送の為、ETC専用の入口に近付き、バーが上がったままだったので、そのまま入口を通過した。その際、車から「ETCカードが挿入されていません」とのアナウンスが流れた為、ゆっくりとブレーキを踏んだところ突然、後から、車に追突された。（急ブレーキは踏んでいない）追突車の運転手は、バーを通過して、坂道なのでアクセルを踏み込み、当社作業車に追突したとのことである。	62	150101	50～ 99
5	9～ 10	顧客宅から会社へバイクで移動中、前のトラックが減速したのに合わせてブレーキを掛けたところ、フロントブレーキを強く掛け過ぎ、前輪タイヤがスリップし転倒した。	42	30209	10～ 29

5	16～ 17	バイク走行中（業務中）の当社社員がカーブに差し掛かった時、対向から来た相手方車両（四輪）が予想より内側に切れ込んできたため、危険を感じた当社社員が回避しようとしたところバランスを崩し、転倒して投げ出されて負傷した。	43	110101	300 ～ 499
5	12～ 13	得意先より同じ市内にある次の得意先へ車にて移動中、左側より小動物が突然飛び出してきて道路を横切ったため、小動物を避けようとハンドルを切ったところ道路中央分離帯に車が乗り上げ、車が横転し腰を強打し骨折した。	25	80209	—
5	0～1	交差点において、左側から一旦停止を無視した車両と出合頭に接触し負傷した。	58	40201	100 ～ 299
5	21～ 22	お客様降車のため停止したところ、後続車に追突された。	67	40201	100 ～ 299
5	20～ 21	交差点を右折した時、前方を横切った何かが見えたため停車したところへ相手車両が追突する。	44	40201	50～ 99
5	10～ 11	交差点にて、徐行しながら直進していたところ、右側からの車が一旦停止をせずに直進してきたため衝突した。	29	40201	10～ 29
5	16～ 17	当事者が配達作業を終えて帰局する際、付近の緩い下り坂右カーブを時速40km位で走行中、前方に対向車が見えたため減速しようとブレーキを掛けたところ後輪がロックし、車体がふらつき左側に転倒した。転倒時に左肩を地面に打ちつけ、左足が車両の下敷きになったものである。	34	110101	100 ～ 299
5	14～ 15	信号機のある交差点で信号待ちをしていたところ、後方よりブレーキ音がした後に追突された。	52	120109	30～ 49
5	13～ 14	訪問介護サービス中、利用者宅から買い物に行く途中、路上にて事故が発生した。原付バイクで道路を南進し、駐車場へ入る為に右折しようとしたところに、後から追い越そうとしたバイクと接触し転倒した。相手	73	130201	30～ 49

		方のバイクが当方本人の足に直撃し、右足首に骨折を負った。			
5	4～5	お客様宅へ朝刊を投函するために、事故発生場所（路上、下り坂）にてバイクを停車しようとした際、バランスを崩して左肩からバイクと一緒に転倒し、左鎖骨を骨折した。（単独事故）	62	80205	30～ 49
5	23～ 24	タクシー業務中、幹線道路の交差点での事故である。原因は漫然運転で、赤信号を見落とし交差点に進入したためである。相手車両と接触した後、道路脇の樹木に衝突した。	57	40201	1～9
5	15～ 16	自動二輪車で配達を終え帰局途中、運転操作を誤り、道路脇の縁石に接触してバランスを崩し、転倒して負傷した。	54	110101	100 ～ 299
5	13～ 14	荷物の積み込みの際、利用者にバックドアを開けてもらうため車のカギを渡した。利用者は、車内が暑かったため冷房をかけようとしたところ、誤ってエンジンをかけてしまい、車が後退し始める。車を止めようとしたところ、引っ掛かって引きずられてしまった。	67	130201	30～ 49
5	16～ 17	社ユーザーでデイサービス送迎時、交差点で信号待ちで止まっていたところ、後ろから追突された。	32	130201	30～ 49
5	13～ 14	お客様宅から車で帰社途中、交差点で一旦停止し、確認後に右折したが、右側から直進してきた相手車が自車の右前方に衝突した。（けがの経緯は不明）現場には信号が無く、一旦停止の標識は自分側にあった。また、相手が見えていなかった。事故により、胸椎・右肋骨3番目骨折・右足先の痺れ、背中・腰・頭の痛み、右上腕に痣を負った。	67	90103	50～ 99
5	11～ 12	山道カーブを走行中、考え事をしていてカーブを曲がり切れず、山間側面に激突してしまった。	49	40309	1～9
5	8～9	事務所から現場にバイクで向かう途中、交差点で右折待機中の普通乗用車があり、減速して通過しようとしたところ、直前2～3m手前で右折を開始したため急制動の措置を取る暇もなく車両左側前部に衝突した。	58	170201	50～ 99
		バイクで読者宅へ配り終え、次の読者宅へ配達に行く途中、交差点に			10～

5	4～5	て、右手方向より来た新聞配達員のバイクと出会い頭に衝突し転倒した。その際に右鎖骨を骨折した。	67	80205	29
5	10～11	通信ケーブル敷設工事を実施するため、片側交互通行規制を実施中、第一当事者（被災者）が不足している材料を取りに行くため、西側から道路を横断し東側の民地に駐車していたユニック車に向かう際、左側より歩道を進行してきた第二当事者（相手方）であるタクシーに接触し転倒した。	47	30301	100～299
5	13～14	信号待ちをしていたところ、後ろから追突された。	38	90103	30～49
5	8～9	災害発生場所を南進中、横断歩道に歩行者を発見したため手前で停車したところ、後続の車両に追突された。	51	40201	50～99
5	15～16	事業所へ帰社中に、交差点で赤信号で進入してきた普通乗用車に接触され転倒した。	62	170209	10～29
5	3～4	交差点において赤信号で停止中、後方から走行して来たトラックに追突され、頸部捻挫他の怪我を負った。当日は搬入現場に向け走行中であった。	51	40301	50～99
5	11～12	信号停止中に、後方から追突された勢いで、前の車に追突した。	45	90103	10～29
5	9～10	駐車場から左折しようとして、20cm程の段差に気付かずそのまま進んでしまい、衝撃に驚いて慌てたところ、前で信号待ちをしていた車に衝突した。	74	90103	50～99
5	10～11	走行中に前車が停止したため停止中、後車により追突され、反動により前車に追突した。助手席側後部座席に乗車しており、突然の追突による衝撃で負傷した。	24	170209	1～9
5	10～11	走行中に前車が停止したため停止中、後車により追突され、反動により前車に追突した。助手席側後部座席に乗車しており、突然の追突による衝撃で負傷した。	41	170209	1～9

5	15～ 16	配達業務のためバイクに乗車し走行していた際、次の配達先へ向かうため勾配のある私道（中央に階段）へ左折進入したところ、落下物に乗り上げ前輪が浮き操舵不能となった。運転者は車両ごと右後方へ転倒し、左眼瞼と左肩を打った。	23	110101	500 ～ 999
5	14～ 15	取引先から次の取引先に行く営業車で移動中の信号停車中に、後ろからぶつかられ、頸椎捻挫、腰部打撲を負った。	43	11709	1～9
5	15～ 16	営業活動中、バイクで直進している時に交差点を青信号にて通過していたところ、左側方より右折にて交差点に進入してきた自動車と衝突した。（相手側は一時停止標識あり）衝突前にブレーキを掛けてハンドルを左に切ったが間に合わず、相手自動車の前方側面と接触し、相手自動車とバイクの間に転倒し骨折した。	23	90101	1～9
5	21～ 22	お客様宅へ車で訪問途上、道路が混む時間帯のため早めに出発したが、約束時間が変更になったため、経路上のコンビニで時間調整をしてお客様宅へ向かった際に、信号の無い交差点で左折のため停車中に、前方不注意の後続車に追突された。その際に左肩から脇腹にかけて打撲し、しばらくして腰部辺りに痛みが出て、びっこを引くようになった。	37	90103	50～ 99
5	15～ 16	配達業務のため自動二輪にて片側一車線の道路を走行中、右折するためにウインカーを点灯させ、センターライン付近に停車していたところ、後方を走行していた軽四輪が当方に気付くのが遅れ、当方車両の後部にノーブレーキで衝突した。	33	110101	300 ～ 499
5	11～ 12	当方車両が見通しの悪い交差点を多段階一時停止を行い徐行にて直進中、右から相手側車両が一時停止を無視して直進してきたため、当方車両は停止したが、当方車両右側と相手側車両正面が衝突した。	38	110101	100 ～ 299
5	4～5	バイクで新聞配達中、その日は小雨が降っていたため、路面に外灯の灯りが反射して前方が見えにくい状況であり、縁石に気付かず接触し、一瞬で左側道路に投げ出されて転倒した。	58	80205	1～9
6	21～	交差点左折時に、横断歩道を歩行者が通過待ちで停車したところに、追	69	40201	100 ～

	22	従して来た相手車両に追突された事故である。			299
6	15～ 16	交通規制現場で交通誘導警備が終了し、車で付近の集合場所に向かう途中、誤って車が左に寄り過ぎて、防雪柵に車体左側が衝突して車が回転し、運転していた被災者がその衝撃で頭部を打撲した。	29	170201	～ 299
6	16～ 17	片側通行の交通誘導業務に従事中、進行して来た乗用車が徐行する様子も無いので咄嗟に逃げたが、その時矢印板が飛んで来て、当該交通誘導員の右足首に強く当たり、右足踝を骨折した。又、乗用車は工事関係者の車輛に衝突し、3台の車輛に損害を掛けた。	71	170201	50～ 99
6	16～ 17	送迎運転中、走行中乗車名簿を落とし、それに気を取られ右カーブに気付かず直進し、左側歩道に車体を乗り上げハンドルを右に切り、反対車線の端の欄干に衝突した。乗降口が大破した為、運転席の窓ガラスを手で割り、運転席の窓から子供を抱いて降りる際、飛び降りて脊髄を損傷し、右手の人差し指と中指を骨折した。	73	150101	～ 999
6	15～ 16	当日はデイケア職員として施設利用者を載せたマイクロバスに補助者として乗務していた。利用者を降ろし、事業所に戻る途中、路外に駐車していた相手車両が無人の状態バックで動き出し、走行中の当方車両に衝突したものである。衝突した際、衝突箇所の近くの座席にいたこともあり、衝撃で首・腰・背中を負傷した。	50	130101	50～ 99
6	16～ 17	現場から会社へ帰社途中、トンネル内にて、対向車線をはみ出して来た車に追突され被災した。	38	30199	10～ 29
6	14～ 15	お客様宅に配達に向かう際、敷地内の砂利スペースに駐輪した。配達完了後、Uターンをして次の配達先に向かおうとした時、後輪がスリップし転倒した。自動二輪車が社員の左足に覆いかぶさり、負傷したものである。	26	110101	300 ～ 499
6	21～ 22	棚卸し先現場で、棚卸し終了後にトラックのアオリを持ち上げた際に、腰に激痛がはしった。	73	40201	50～ 99
		一方通行をバイクで走行中、前方を走る車が停止したため、当方も停止			

6	19～ 20	した。そうしたところ、前方の車が自宅駐車場へ駐車するため、後方の確認を十分に行わないままバックしてきて、当方のバイクに接触し、左側に転倒し受傷した。	48	80205	50～ 99
6	15～ 16	原動機付二輪車で信号機のない十字路交差点を右折する際、一時停止し左右確認していたところ、右方から直進してきた相手方乗用車が衝突した。	36	110101	300 ～ 499
6	14～ 15	ご利用者宅へ向かうため、公用車輛にて走行中、下り坂を下りきり、ゆるやかな右カーブを曲がりきる付近でセンターラインをオーバーしてしまい、対向車線を走行していた貨物トラック後部に接触し、貨物トラックの後を走行していたダンプと正面衝突する。その後、救急車にて病院へ救急搬送される。	57	130201	10～ 29
6	13～ 14	病院前交差点付近にて、赤信号で停車中に後方の車が追突され、玉突きの形で車に追突された。頸椎捻挫の怪我のほか、自動車後部が破損している状況である。	30	90103	10～ 29
6	16～ 17	工業の資材置場から自家用車で会社事務所に向かう途中、青信号で交差点に進入したところ、左手より信号無視の車が交差点に進入し、衝突した。相手方は赤信号での進入を認めている。	67	30209	10～ 29
6	12～ 13	当方二輪車は、T字路交差点を右折しようとしていた。当方はウィンカーを出し、右折する手前で後続の相手車をバックミラーで確認した。相手車との車間距離があったため、T字路交差点内で右折を開始した。その際、当社二輪車を後続していた相手四輪車が当方を追い抜こうとし、当方が右折を開始した際に相手車と接触した。	39	110101	100 ～ 299
6	5～6	バイクで新聞配達中、お客様のところへ新聞を入れ、国道に出て右折しようと思ったところ、車とぶつかってしまい、右足・顔・歯を負傷した。	37	80205	10～ 29
		当方社員が他社員の配達応援のため直進中、T字路に差し掛かるところで、左から相手車両が交差点内まで進入してきた。前方車両が避けたため、当方も右に避けようとしたが、相手車両が動きだしたことから避け			

6	15～ 16	きれず、衝突した。その衝撃で右方へ転倒し、当方二輪車の左前ウィンカー、及び左右ステップ、ギアの損傷が生じたことと、転倒した際に右足土踏まず付近にステップが刺さり負傷した。相手車両は右前ヘッドライト、及びバンパー、ナンバープレートが損傷したが、怪我はなかった。	41	110101	100 ～ 299
6	4～5	バイクにて朝刊配達中、前カゴの雨よけカバーが前輪に絡んで転倒した。左肩より地面に強打し、左鎖骨を骨折した。相手は無し。	45	80205	30～ 49
6	14～ 15	午前中の仕事を終えて、次の学校へ移動中、赤信号で停車したところ、後方から追突された。	46	90103	30～ 49
6	14～ 15	バイクで配達途中、幹線道路から右折して脇道に入ったところ、家の敷地から出て来た軽四輪車両と衝突し、負傷した。	53	110101	500 ～ 999
6	14～ 15	配達途中、バイクで青信号の交差点に進入するため前方の軽四輪に続き直進していたところ、対向車が突然ショートカットして右折してきて、バイク右後方に衝突し、その衝撃でバイクごと左に倒され負傷した。	42	110101	300 ～ 499
6	17～ 18	終業後、帰宅途中に通勤路である一般道で、左前方に自転車の高校生が停止しており、対向車もあったので停止していたところ、後続の2台後ろの自動車に追突（玉突き追突）された。	35	11502	30～ 49
6	21～ 22	配達からの帰り、乗っていたバイクのフロントブレーキが掛かり、リアブレーキを掛けたが、バランスを崩し転倒した。	24	80209	1～9
6	12～ 13	信号のある交差点での衝突だったが、記憶がないため、こちら側の信号が青だったか赤だったかは不明となる。こちらの車は縁石を乗り越えて停止し、相手の車はポールに当たって横転した。勤務時間中に営業活動をしている時に起こったものである。	23	80202	10～ 29
6	11～ 12	被災者は営業のため、お客様宅へ向かっていた。走行中、風に煽られてヘルメットシールドが外れ、そのことに気を取られて急ブレーキをかけたところ、左側へスリップし転倒した。その際、左肘・左膝・右わき腹	46	110101	300 ～

		を打撲し、両手・両足に擦過傷を負った。（原動機付き二輪車にて）			499
6	19～ 20	店内ペット用品売場の商品整理中に、レジ応援に向かう途中、急いで戻るため走っている時に足をひねり転倒し、右膝を負傷した。	20	80209	10～ 29
6	14～ 15	配車先に向かうため自動二輪車で直進中、信号機のある交差点において、右斜め前を走行していた軽ワゴン車が左折を開始したため、相手車両の左前部に接触し、双方に物損、当方が転倒し負傷した。	28	110101	500 ～ 999
6	10～ 11	片側3分の2を規制する現場で、反対車線にもはみ出すので、一人で片側交互通行の誘導を実施した。規制側の車両に停止の合図を出した後、反対車線の走行車両を確認するため、後ろ向きになった。そして振り向いた瞬間に、車が被災隊員に接触し倒れたところ、左足を轢かれた。その場から救急車で搬送された。	44	170201	100 ～ 299
6	1～2	深夜、タクシーを営業中、空車にて向かう途中で赤信号のため前車が停車をし、それに合わせて当車も停車をしたところ、後続車がいきなり追突してきた。前車の運転者と自身と後続の運転者が一旦車を降り、信号が青に変わったので発進して左側に車両を寄せて、警察を呼ぼうと車両を進めたが、後続車両が別方向へと逃走した。残った2車両で現場検証をし、ひき逃げ事件となる。	60	40201	30～ 49
6	5～6	被災者が勤務終了後に当社の送迎車両にて帰宅する際、車道に右折して出た時、左方から直進してきた相手方車両の右前部フェンダーと当方左後部フェンダーが衝突した。被災者は後部座席に乗車しており、衝突の際に衝撃で首を負傷した。	30	170101	30～ 49
6	5～6	バイクで朝刊配達中、T字路を右折する際、バランスを崩し転倒して負傷した。	58	80205	30～ 49
6	13～ 14	職場から原付バイクで帰宅途中、交差点右折後の直線道路上で前方を走るバスに気をとられ、道路の左端（道路と砂利の境目）を走行していたため、砂利との段差にハンドルをとられ、体勢を崩して砂利道に落ち、その脇の壁とバイクの左前方が接触し右に転倒し、バイクの下敷きにな	55	110101	500 ～ 999

		り負傷した。			
6	13～ 14	バイクで夕刊配達をしていたところ、車線のない道路を走行中、緩やかなカーブを曲がった時に、前方から来た車と正面衝突した。	47	80205	30～ 49
6	4～5	交差点付近を朝刊配達のためバイクで走行中、交差点で左折する為、前後のブレーキをかけたところ、横断歩道の白線上で前輪が滑り転倒し、負傷した。	52	80205	10～ 29
6	10～ 11	被災者は配達先へ向かうため、片側2車線の直線道路の左側車線をバイクで走行していた。信号のある交差点に直進で進入しようとしたところ、相手方四輪車が対向車線から交差点を右折しようとしてきたのに気づくのが遅れたため、交差点内で衝突し、左側へ転倒した。	62	110101	500 ～ 999
6	15～ 16	県道（路上）にて、買い物後、工務店資材センターへ帰社している時、突然加害者Aの車両がセンターラインを越えて、工務店Bの車両に正面衝突する。被災者は、助手席にてシートベルトをしていた。事故後、病院へ救急車にて搬送される。入院はせず、整形外科へ通院する事となる。	41	30199	10～ 29
6	4～5	信号待ちにて停車中、後方から走行して来た相手方車両に追突され、負傷したものである。	53	40201	100 ～ 299
6	18～ 19	約束のお客様と待ち合わせしたファミリーレストランに車で向かう途上の事故である。待ち合わせまでに時間があつたため、コンビニで飲み物を購入してトイレに行き、駐車場からバックで発進したところ、後ろから来ていた車に気づかず衝突した。オフィスから待ち合わせ場所の経路上にコンビニが無かったため、道路を一本入ったところの店に行った。災害発生の1時間前までは、オフィスで事務作業をしていた。頸椎捻挫と腰に痛みが生じた。当初、医師からストレートネックと診断を受け、事故とは直接の関係は無いとの判断で休職なしとなった。その後も痛みが引か無かったため、再受診した際に首の硬直があり、労災との関連が認められたため休職となった。	32	90103	300 ～ 499
		朝一約束のお客様と待ち合わせした店に車で向かう途上の事故である。			

6	9～ 10	交差点手前を走行中、救急車が来たので停車したところ、後続車に追突された。お客様が仕事の打ち合わせで外出されるため、その合間の時間に契約手続きをする予定であった。お客様に事故にあった旨を伝えたと ころ、現場まで来て下さり、手続きをした。（頸椎捻挫）	26	90103	300 ～ 499
6	7～8	タクシー乗務中、一時停止不履行の相手車が前方に飛び出したため衝突し、負傷した。	52	40201	100 ～ 299
6	16～ 17	当該乗務員は、当日ダイヤを運行中、バス停においてお客様乗降のため停車中、後方から来た乗用車に追突され、負傷したものである。	44	40202	100 ～ 299
6	11～ 12	交差点で信号待ち後、青信号に変わったので、同交差点内を進行し、信号残り車である相手車両の後方を通過しようとしたところ、突然、相手車両がバックしてきたため避けきれず、当車の右側面が損傷し、当車運転手も骨折するなど負傷した。	70	40201	100 ～ 299
6	19～ 20	暗い坂道をバイクで下る途中、急に左方向より自動車が現れ、驚いて急ハンドルを切り転倒した際、右肩鎖骨を骨折したものである。	51	80205	10～ 29
6	14～ 15	道路を直進にて走行中、前方の路地から一時停止せずに左折して出てきた相手車両と衝突し、当車運転手は頸椎を負傷した。	54	40201	100 ～ 299
6	21～ 22	列移動停車後、相手タクシーの不注意で追突事故となる。	47	40201	100 ～ 299
6	16～ 17	住宅街の路地を二輪車で配達中、住宅の塀沿いに左折するため、交差点手前で一時停止し、再度、発進し走行したところ、路面に砂利がある場所でブレーキ操作をしたため後輪が滑り、慌ててハンドルを右に切ったところ、そのまま車両ごと転倒した。左足首が二輪車の下敷きになり怪我をしたものである。	21	110101	100 ～ 299

6	7~8	バイクで朝刊配達業務中、一時停止せず、確認不十分で見切り発進した為、優先道路を直進して来た第三者運転車輛のドア横に衝突し、負傷したものである。	18	80205	1~9
6	14~15	運転士は、バスセンター発、ターミナル行を運行していた。その後、休憩のため車庫へ回送途中、バス停交差点にて、赤信号に従い前車に続いて停車したと同時に、居眠りをしていた後続の一般車に追突されたものである。	45	40201	300~499
6	7~8	朝、現場へ向かう途中、被災者が車の助手席から窓を全部開けて左肘を出していたところ（走行中）、片側一車線の道路で、前方に右ウィンカーを出して右に曲がる車が止まっていたので、左に車を寄せて直進しようとしたところ、運転手が左に寄せ過ぎて、看板らしき物に被災者の出していた左肘がぶつかり負傷した。	53	60101	1~9
6	20~21	社有車で移動中、高速道路で交通事故が発生した。事故現場はサービスエリア（SA）付近で、SAで休憩後、接触した模様である。自車は転覆し、相方車は横転した。本人は事故のショックでSA出発後の記憶がなく、事故の原因及び詳細は不明である。現在、警察署にて事故原因を捜査中である。	46	30203	30~49
6	10~11	バイクで営業活動のため得意先へ向かう途中、信号機のない交差点において、左方向より直進してきた軽ワゴンとぶつかった。被災者側に一時停止の義務があり、両足で停止し確認したが、左側が見え難いため徐行しながら直進したところ、事故になった。一時停止線が車道本線より手前にあり、その場所では十分な安全確認が出来ないこと、及び左側の駐車場にパワーゲートがあり、駐車中で左方向が見え難かったため、かなり手前にある一時停止線との2段停止で進んでしまった。ミラーの位置が悪いことと、事故当時、パワーゲートで加害者側からもバイクが見えづらく発見が遅れたことは、加害者・警察も認めている。バイクの速度が出ていなかったため、跳ばされず車に押される形で転倒した。	28	90109	10~29
		三輪付バイクに乗って配達中、道幅6mずつの一時停止の無い十字路で、			

6	21～ 22	当方直進、相手方大型バイクは右側から直進であった。右側に家があり、双方とも相手の存在に気が付かずに衝突し、双方ともに転倒してしまった。	21	80209	10～ 29
6	14～ 15	交差点で信号待ちのため停車中、相手方に追突され負傷した。	33	50101	50～ 99
6	12～ 13	業務中、交差点内にてバイクで右折待ち停止中、後方より乗用車が追突してきた。当方は、バイクごと押し出され転倒した。後方部からの追突につき、骨盤周囲を打撲し、転倒時に左側肘・膝を強打し、並びに擦り傷にて負傷した。	48	170209	50～ 99
6	9～ 10	利用者を送迎するため添乗員として社用車で移動中、交差点にて直進レーンから右折レーンに入って右折する際に、後続車両に接触され負傷した。相手車両はそのまま逃走したため、ナンバー等は確認できず、警察へ当て逃げの被害届を提出した。	51	130201	50～ 99
6	12～ 13	お客様の自宅に訪問をして帰社する際に、歩道を歩いていたところ、進行方向からバイクが歩道上を走ってこちらに向かってきた。危ないと思い、歩道の左側にある垣根ギリギリまで避けたものの、加害者はよそ見運転をしていた為に被災者の存在に気が付かず、衝突してそのまま逃げ去った。その影響で、今までどこも痛くなかった腰に痛み、右足の付け根から右足の甲・指先までに痺れと痛みが出てしまった。今まで腰や右足の既往症は一切なく、あんま・指圧・マッサージ等にも通った事もない。医師の診断によると、腰椎ヘルニア、右足下肢の痺れと痛みとのことである。	26	90109	1～9
6	0～1	仕事を終了し、倉庫に向けてワンボックスカーを運転していた。高速道路の渋滞と、当日朝に服用していた鼻炎の薬の影響で、眠気を感じながら運転していたところ、信号待ちで停止しているトレーラーに追突した。追突時のシートベルトの締め付けにより、右鎖骨を骨折した。	49	40301	30～ 49
		社有車に同僚を乗せて、清掃作業を行うため客先現場へ向かっていた。信号機の無い交差点を当方車両が優先道路を直進していた時、左から相			

6	15~ 16	手方車両（一時停止の標識があった）が、一時停止せずに飛び出してきたため、左側後方タイヤ付近に衝突した。その衝撃で当方車両が横転（運転席の窓が下になった状態）しながら反対車線側に滑った後、歩道に乗り上げ、反動で通常の体勢に戻り停止した。当方の運転手は、車のガラスが体に刺さり手術を受けたが、その夜に帰宅した。	23	150101	100 ~ 299
6	12~ 13	走行中、左側飲食店駐車場より相手車が直進して来たらしく、減速もなく車道に進入してきた為、自車の左側面スライドドアに激突され、右に横転した。相手車もはずみで右に横転する事故となった。目撃者によると、駐車場内を急加速し、その勢いのまま進入して行ったとのことである。ペダルの踏み違いによるらしい。	35	80109	10~ 29
6	15~ 16	県道で対向車が中央線を越え、運転手側のドアに衝突してきた。相手は救護もせず逃走して行った。運転手と助手席者は、ガラスの破片が目に入り、身動きがとれず、病院に救急車で搬送された。	61	170209	50~ 99
6	15~ 16	県道で対向車が中央線を越え、運転手側のドアに衝突してきた。相手は救護もせず逃走して行った。運転手と助手席者は、ガラスの破片が目に入り、身動きがとれず、病院に救急車で搬送された。	59	170209	50~ 99
6	8~9	乗務中、駅の手前で意識消失を生じ、バスの進路が右に流れて、電柱に衝突した。	60	40202	30~ 49
6	16~ 17	電気工事を終え、翌日使う予定の電気工事の材料を受け取り、会社に帰る途中、右折しようとして直進の車と接触後、停車中の車にぶつかり、肋骨、頭部等を負傷した。	49	30301	1~9
6	3~4	仕入れのため市場に向かうためトラックを運転中、交差点で右折信号待ちをしていた際、右折信号が出たのでトラックを発進させた時、直進してきた乗用車と衝突し、トラックの車外へ放り出された。	40	80209	1~9
6	21~ 22	一般道路上でパンクスペアタイヤ交換作業を終え、路上に設置していた三角停止板を自車の後方ドアを開け収納中に、後方より走行して来た相手車両が自車右後部に追突し、自車の車体とドアに右下腿部を挟まれた。	29	170209	10~ 29

6	11～ 12	雨の中を配達作業中、道路で突然突風があり、配達用鞆に被せてあった雨具が風に煽られて右側（対向車線側）に舞い上がった。危ないと思いフットブレーキ及びハンドルを左側にきった際、スリップ転倒した。その際にバイクの右側へ投げ出され、右腓腹筋挫傷（肉離れ）をした。	28	110101	50～ 99
6	18～ 19	道路を配達のためバイクにて走行中、ギアチェンジをしようとした際にステップから足が滑り、つま先が地面に接触し、足を捻った。	63	110101	100 ～ 299
6	12～ 13	二車線の右側を北へ走行中、左側を走行する車両が、バス停でバスが止まった際、ウインカーも出さずに急に進路変更をしたため、左側ボディと接触した。その衝撃により、頸椎捻挫となったものである。	67	40201	50～ 99
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	41	170101	50～ 99
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	42	170101	50～ 99
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	47	170101	50～ 99
6	10～ 11	ドライバー研修中、交差点の信号待ちにて停車中、後方より追突された。	36	40301	1～9
6	10～ 11	ドライバー研修中、交差点の信号待ちにて停車中、後方より追突された。	25	40301	1～9
6	15～ 16	交差点で信号待ちをしている車両に、後方から追突した。	54	90103	100 ～ 299
		配達後、沿道へ出るため左折した時、前輪がスリップし、転倒して強打			

6	6~7	した。救急車にて病院の救急外来を受診後、帰宅し静養する。	66	80205	—
6	14~ 15	社員は、相手方車両の後方を軽四自動車で行っていた。相手車両が点滅信号の交差点を通過し、停止したので、後ろで停止したところ、相手方が急にバックしてきて衝突された。	40	110101	500 ~ 999
6	12~ 13	信号のない交差点を直進のため時速30km程度でバイクに乗って進入したところ、右側から交差点直進のため車両が進入してきた。衝突を避ける為、左にハンドルを切ったが、相手車両左前方に衝突し、右橈骨遠位端骨折、右大腿左挫創を負った。（当方が優先道路であった。）	24	90101	500 ~ 999
6	15~ 16	三車線の中央車線より、三車線目の追越車線へ進路変更をし、前の車両を追い越した際、前の車両も追越し車線へ進路変更をして来て、衝突した交通事故である。当方タクシーは営業中で、乗客1名有りであった。	63	40201	100 ~ 299
6	9~ 10	信号のある交差点で、患者を迎えに行く途中、青信号を確認して、交差点に直進進入したところ、右方向より赤信号で交差点に進入して来た相手車と衝突し受傷した。	73	130101	300 ~ 499
6	17~ 18	信号待ちしていたところ、後方車に追突された。	67	11703	100 ~ 299
6	9~ 10	ゴミ収集作業中、当社作業車の後部から車道に右足を出したところ、足を踏まれ、右足関節を負傷した。	38	150103	10~ 29
6	17~ 18	配達帰り、信号のない交差点へ直進にて進入し、右から直進してきた乗用車の右後ドア付近に接触し転倒した。尚、交差点進入時は徐行しており、一旦停止しなかった。	18	80209	10~ 29
6	16~ 17	交差点付近、舗装工事における片側交互通行作業に従事していた。片側交互通行の際、交差点付近に立ち、一般車が無かったので、同作業員に止めていた一般車を流して良いとの合図を出し、流し始めた時に右折車に気づき、工事規制付近に1台分誘導出来るスペースがあったので誘導している最中に、流れてくる一般車に気付かず、右足を1歩後ろに下げた	31	170201	10~ 29

		時、一般車に足を轢かれて後ろに転倒した。立ち上がった時には、その一般車はいなかった。			
6	12～ 13	観光バスを運転している最中に、対向車（軽乗用車）が20m程手前からセンターラインを越えて来たため、正面衝突の事故となった。その際の衝撃により、腹部および足を強打した。	47	40202	30～ 49
6	14～ 15	現場へ向かう途中、脇見運転のためセンターラインを越え、対向車と衝突した。	19	30110	1～9
6	15～ 16	学校用務で必要な混合油を購入し、自転車で学校へ戻る途中であった当該職員は、道路上で、道路脇の車庫から出てきた自動車と衝突し、下敷きになって引きずられた。すぐに救急車が急行し、医療センターに搬送されたが、その後すぐに別の病院に転院となり、そこで治療を受けたが、負傷箇所からの出血がひどく、出血性ショックのため亡くなった。	64	120109	1～9
6	3～4	バイクで朝刊配達中、牛乳配達車が直進しているところに脇道から飛び出して衝突し、転倒した際に、両足の擦傷と右肩から右脇にかけて打撲し、救急車で搬送された。（本人に事故当時の記憶がないので、相手からの証言による。）	46	80205	30～ 49
6	4～5	バイクで朝刊配達中、十字路交差点を進入しようとしたところ、右から来た乗用車と衝突して転倒し、その際、右足がバイクの下敷きになり負傷した。（右膝関節挫創、右足関節靭帯損傷、外傷性頸肩腕症候群）	52	80205	30～ 49
6	16～ 17	配送の荷物を積み込むため本社から向かい、1km程走行したところで、道路中央線を越えてきた対向車に衝突した。衝突を避けるためにハンドルを左に切ったところ、道路脇のコンクリートの土留めに当たり、トラックが右方向に転回し、反対車線側の側溝にはまった。その際に、腰・肩・前腕・下腿に挫創・挫傷を負った。	43	40301	10～ 29
6	12～ 13	配達中、細い路地（真ん中がアスファルト）を走行中、前方に人がいたため避けようとした際、前日からの雨によって、グレーチングが濡れていたためバランスを崩した。倒れないように踏ん張ったが踏ん張りきれず、左側へ転倒した。転倒した際、バイクのハンドル及びミラーにより	46	110101	100 ～ 299

		左胸を強打した。			
6	13～ 14	片側交通規制をし、交通誘導をしていたところ、停止中の先頭車両に後方より前方不注意の車両が追突し、続いて誘導中であつた警備員が同車に撥ねられて負傷した。	63	170201	100 ～ 299
6	6～7	互いが狭路の進行において、当方は東行き、先方は南行きで、南北の道路に一旦停止の標識があつた。交差点進入時、北方向よりノーブレーキで南行して来た車両に気付くも、先方のスピードが出ていたため、停止出来ずに当方の車両に接触した後、東南角のビルへ突入した。直接大きな衝撃はなかったが、急な運転操作を強いられた事によって、体調の不良に至つた。	68	40201	100 ～ 299
6	17～ 18	バイクに配達物を積み込み、乗務しようとスタンドを下ろし、バイクを出す際にバイクが揺れて転んでしまい、左肘を伸展骨折した。	35	110101	100 ～ 299
6	14～ 15	利用者宅へ訪問する途中、十字路の交差点をバイクで走行中に、左側から出て来た乗用車と接触した際に転倒し、左肩脱臼、靭帯断裂（2ヶ所）が発生した。	42	130201	10～ 29
6	15～ 16	夕刊配達終了後に自転車で戻る途中、バランスを崩して転倒した際、腰を強打した。	68	80205	50～ 99
6	12～ 13	お客様訪問のため自動車で向かっている途中、交差点で赤信号で停車していたところ、後方から車に追突された。	48	90103	500 ～ 999
6	8～9	交差点を右折する際、直進して来た車と接触した。	67	40201	100 ～ 299
6	0～1	丁字路を直進中に、進行方向右側より左折して来た車と衝突した。	32	130201	1～9
6	9～ 10	駐車場にて車両をバック誘導の際、車道走行中の車と接触した。	59	170201	10～ 29

6	7~8	取材のための出張中の事故である。当日デーゲームの為、昼食用の弁当を買いに駅地下へ向かった。歩行中、後方でスリップした自転車が本人にぶつかり転倒し、病院へ救急搬送され、頭部CT検査を受けたところ異常がなかったので、一旦ホテルに戻り休憩し、食事をとったところ嘔吐した。再度同病院へ行ったところ、右腕に痛みがあったが打撲程度と思い帰宅した。その後、右腕の痛みが引かず、骨折が判明した。全治2ヶ月で入社制限はない。また、本人は転倒してから救急搬送されてからの記憶がない。	52	80205	100 ~ 299
6	1~2	指定顧客訪問のため、路面電車が走る道路を青信号で進入した際、路面電車が走る道路を走行する4輪が右側から赤信号で走行してきたため、衝突した。（当方原付、先方4輪）	49	170209	10~ 29
6	16~ 17	レンタカー回送中、被災地の交差点にて、赤信号に変わったため減速し停止しようとしたが、ブレーキの踏みがあまく、信号待ち停車中の車両に追突した。	22	170209	1~9
6	4~5	交差点付近で信号待ちをしている時、居眠りしてしまいブレーキペダルから足を離してしまった為、前方に停車している自動車に追突してしまった。	49	130201	10~ 29
6	14~ 15	交差点過ぎの中央分離帯に衝突した。商品の搬送業務が終了し、東から西向きに走行中に運転を誤り、事故となった。	68	80209	10~ 29
6	10~ 11	ミニダンプカーの助手席に乗り、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、負傷したものである。	44	150103	50~ 99
6	3~4	バイクで配達中、道路でバランスを崩して自己転倒し、負傷したものである。	54	80205	10~ 29
6	15~ 16	交差点東200m先の道路上で渋滞停止中、後方より追突されたものである。	60	40201	100 ~ 299

6	11～ 12	ブロック大会へ出席するため走行中の事故である。右折車両がいたため停車していたところ後から追突され、衝撃で前の車に追突し、3台玉突き事故になった。前方車への衝突時にエアバッグが作動し、胸部を打った。（胸部打撲）事故後は救急搬送されたため、ブロック大会には参加出来なかった。1台目（不明）、2台目（本人）、3台目（加害者）となり、最初に追突した最後尾の加害者が全て支払いとなる。	37	90103	300 ～ 499
6	11～ 12	実車（女性1名）で交差点を信号待ち停車中、先方に追突され、はずみで前車に追突したものである。	67	40201	100 ～ 299
6	16～ 17	信号待ちのため停車していたところ、後方から来た乗用車に追突されたものである。	57	40201	50～ 99
6	15～ 16	リハビリ利用者を自宅まで送迎するため、送迎車の助手席に被災者が同乗していた。送迎後、利用者の自宅前の路地から車が飛び出してきたため、運転手が急ブレーキを踏んだところ、シートベルトを着用途中の被災者が、反動で額を車内の窓枠に打ちつけた後、その反動で座席に頸部を強く打ちつけた。	65	130201	50～ 99
6	21～ 22	規制準備のため、看板ウェイトを持って車両が接近していないことを確認後、歩道側から中央分離帯へ横断中、追い越し車線を走行して来た乗用車左側面と接触した。接触直前に車両に気付き体を反転し、車両に対して正対し、仰向けに倒れ込んだ。その際、左足甲が車に接触し受傷した。	65	170201	30～ 49
6	5～6	バイクで新聞配達し店へ帰ろうとした時、道なりにバイクを走らせている途中、犬を避けようとして急ブレーキを掛けたところ、身体が前方に倒れた。バイクを起こし、店へ帰った時も大したことはないと思い、怪我のことも言わずに帰宅し一眠りしたが、左手が腫れて痛くなった。その際、右腕や右膝の治療してもらったが、レントゲンで左手骨折と分かり、手術を受けた。	65	80205	1～9
		当社取引会社の施工現場へ、発注を受けた資材の納品作業に出向き（実			

6	12~ 13	際には門が閉まっており納品出来なかった)、そこから帰社途中に被災した。被災者は運転中、前方の信号に気を取られ、中央線を跨いでしまったため慌ててハンドルを左に切った。その際、左側面の縁石を乗り越えて、トラックが歩道にて停車し負傷した。	29	170209	10~ 29
6	11~ 12	渉外活動のためバイクで道路を直進中、右方より直進していた車に気付かず交差点へ入ってしまい、車に衝突し、鎖骨・腰を骨折した。	38	90101	100 ~ 299
6	2~3	お客様を乗せ、戻る途中、発生場所交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、後方から加害者運転の車が、左側に同じく停止していた軽トラックの右後部へ接触し、その後、被災者が運転するタクシーに追突してきたため負傷した。	57	40201	50~ 99
6	11~ 12	訪問介護の業務を終えて車で帰社するため、交差点を東へ右折しようとしたところ、東から直進してきた車と衝突した。	61	130201	1~9
6	15~ 16	2tトラックで廃棄物を運搬し、帰宅中に交差点内において右折しようとした際、直進して来た対向車と接触し、負傷したものである。	46	30209	1~9
6	4~5	バイクで新聞配達途中、道路を走行していたところ、未舗装でぬかるみになっているところでタイヤが滑り(原因不明)転倒して、バイクと路面の間に左足が挟まれた。(自損事故)	64	80205	30~ 49
6	17~ 18	配達を終え帰局していた際、舗装状態も悪く、細く傾斜のある道路を走行していた(時速30km)。前方から来た車両を発見し、急ブレーキを掛けたところ後輪がロックし、左斜面に衝突し、左上腕骨部分を強打した。	25	110101	50~ 99
6	10~ 11	仕事の打ち合わせの帰り道で、軽自動車に同僚を乗せ運転中、車の前にトラックが割り込んで来たため避けようと、急ブレーキを掛けたがハンドル操作が出来ず、壁等にぶつかり負傷した。	22	170209	10~ 29
6	10~ 11	仕事の打ち合わせの帰り道、同僚の運転する軽自動車に同乗中、トラックが車の前に割り込んで来たため、同僚が急ブレーキを掛けたがハンド	20	170209	10~ 29

		ル操作出来ず、壁等にぶつかり負傷した。			
6	15～ 16	急な坂を下っている際、右折するために強く前ブレーキを掛けた時に、突然ワイヤーが切れて減速出来ず、アパート玄関に衝突した。その際、左のブロックの壁に左膝をぶつけた。	55	80205	1～9
6	15～ 16	雨のため路面が濡れていて、坂道の三叉路手前でバイクがスリップし、転倒した。	74	80205	30～ 49
6	15～ 16	現場から現場へ移動中の事故である。二車線の道路を走行中、左追い越し車線から右車線へ車線変更を行う際、前方の車に気づかずにハンドルをきり、車が横転する事故となった。	65	30301	30～ 49
6	8～9	得意先に納品後、私道より県道へ行くため、右折しようとして一旦停止をして、左右確認後、双方車が通過しゆっくり発進して右折したところ、県道より走行してきたトレーラー車に左側面を当てられた。その際に身体を車内ぶつけられ、右肩・右腰を強打して打撲し、左手首を捻挫した。	48	80109	10～ 29
6	17～ 18	自動二輪車で配達業務に従事中、交差点手前に止まっていた軽自動車の後ろで停止していたところ、前方の車が突然バックしてきて追突した。相手軽自動車は、右方からマイクロバスが左折してきたため、慌ててバックしたが後方を確認していなかったため、当方の自動二輪車に気づいていなかった。	37	110101	50～ 99
6	1～2	代行の仕事中、館前でハザードをつけて停車中、相手の車が後方より追突してきて横転し、左足打撲、頸椎捻挫をした。	30	170209	1～9
6	4～5	新聞配達の勤務中、いつもの配達エリアをバイク（原付）で配達宅へ配達を終え、次の配達先宅へ移動する際、信号機のある交差点を直進していたところ、その日は雨が降り続いて見通しが悪いためか、直進側交差点角の縁石に接触し、そのまま左側にバイクごと転倒した。その際に、腰や頭部を打撲した。しかし、そのまま最後まで配達業務を終え、帰宅した時に具合が悪くなり、救急車で病院に搬送された。	59	80205	10～ 29
		走行中、交差点で青信号のため交差点に進入したところ、左側から赤信			50～

7	16~17	号にもかかわらず進入してきた相手の車がこちらへ突っ込んできて衝突した。	48	80209	99
7	10~11	集配業務のため、信号のある交差点を自動二輪車で直進中、対向車線で右折待機していた相手車両が右方を確認しないまま右折したため、当方自動二輪車の右側面に接触し、右足を負傷した。	45	110101	~ 499
7	11~12	リフォーム工事現場で窓枠交換作業をしていた。片手に工具を持って窓枠に手をかけたところ、朝つゆで足場が濡れていたため、すべて約1.5m下に落下。足場の一番下のパイプに跨いで落ち負傷した。	30	110101	~ 999
7	13~14	午前の配達を終えて帰局途中、左折して一方通行道路に入ろうとした際、道路左側から横断しようとして飛び出してきた自転車を発見し、衝突を避けようとハンドルを左に切ったところ、バランスを崩し転倒、負傷したものの。	18	110101	~ 499
7	12~13	二輪車での集配業務中、路肩にバイクを止め、徒歩にてお客様宅へ郵便物を配達。配達後、バイクへ戻ろうと敷地から歩道へ出た際に、歩道を走行していた自転車と衝突し、転倒した。	49	110101	~ 499
7	11~12	事務所から工事現場へ向かうため、山間の道を運転していたところ、緩やかな右カーブで、左側の森から飛び出してきた野生動物を避けるために、必要以上に右にハンドルを切った。そのことにより、反対車線を越え、道路から8m程低くなっている谷へ落下した。車は横転することはない、180度向きを変えた状態で停止した。なお、同乗者はなく、運転者である被災労働者のみが搭乗していた。	23	30202	30~ 49
7	14~15	待機していた当該運転員が発進する際、突然、立ちくらみの症状を発症し、ふらっとなり、意識がもうろうとなつて走行し、車止めを倒し、堤防を下り、樹木にぶつかり止まった。その際、腰を負傷したものである。なお、同乗者はいなかった。	75	170209	~ 499
7	15~16	社用車（ワンボックスカー）で客先へ商品を配達するため、高速道路を走行中、雨のためスリップし、中央分離帯に接触の単独事故により首などを負傷し、救急搬送された。	34	80109	1~9

7	17~18	作業終了後の帰宅途中、インター付近下り車線にて3人乗車のワゴン車が、ガードレールに衝突した。（詳細）前を走行中のバスを追い越し、さらに前を走行中の乗用車を追い越したところ、タイヤが外れそうな感覚があったためハンドルを左に切ったところ、左のガードレールに衝突し、スピンした。（運転者）	65	30107	30~ 49
7	17~18	作業終了後の帰宅途中、インター付近下り車線にて3人乗車のワゴン車が、ガードレールに衝突した。（詳細）前を走行中のバスを追い越し、さらに前を走行中の乗用車を追い越したところ、タイヤが外れそうな感覚があったためハンドルを左に切ったところ、左のガードレールに衝突し、スピンした。（同乗者）その反動でワゴン車から投げ出され中央分離帯に衝突した。	57	30107	30~ 49
7	17~18	作業終了後の帰宅途中、インター付近下り車線にて3人乗車のワゴン車が、ガードレールに衝突した。（詳細）前を走行中のバスを追い越し、さらに前を走行中の乗用車を追い越したところ、タイヤが外れそうな感覚があったためハンドルを左に切ったところ、左のガードレールに衝突し、スピンした。（同乗者）	29	30107	30~ 49
7	15~16	郵便配達のため、自動二輪車に乗車中、信号のない十字路交差点で、左側から一時停止標識を無視して交差点に進入してきた相手車両に接触され負傷した。	38	110101	500 ~ 999
7	12~13	労働者が国道を舗装中、国道沿いの建物の駐車場から乗用車が道路に出た際、ブレーキとアクセルを踏み間違え前方の乗用車に追突し、その衝撃でハンドルを切ってしまい、工事中の労働者と他作業員の合計2人に接触し、さらにコンバインドローラにぶつかり停止した。	59	30106	10~ 29
7	11~12	郵便物配達時、当方自動二輪車がT字路交差点の一時停止ラインで停止している時、左側道路から内回りして右折してきた車両に正面衝突され負傷した。	36	110101	500 ~ 999
		二輪で次の配達先に向かい砂利道を時速20キロで直進し、T字路手前でブ			50~

7	13~14	レーキをかけたところ、前タイヤが砂利にとられ、バランスを崩し転倒。右膝蓋骨骨折および右足ふくらはぎを挫傷した。	19	110101	99
7	2~3	歩道地下でケーブル張替工事を行っていたが、部材不足で一時中断し、3人が歩道上の一緒の場所にいた所へ、走行してきた車両が2人をはねて、歩道の作業車へ追突し反対車線で停止した。警備員は車道へ飛ばされ骨折した。	25	170201	50~ 99
7	2~3	高圧ケーブル張替作業中に滑材が不足したため、作業を中断し滑材が届く間、車両荷台上の端で待機中に走行してきた乗用車が突っ込んで来たので、荷台中央に逃れる際に荷台の縁に左足の甲をぶつけた。	38	30301	10~ 29
7	2~3	高圧ケーブル張替作業中に滑材が不足したため、作業を中断し滑材が届く間、歩道で待機中に走行してきた乗用車が突っ込んで来て、はねられた。	65	30301	10~ 29
7	5~6	50ccバイクにて新聞配達業務に従事中。村道を時速約25km/hで走行中、本来バイパスに出るため右折すべきところ、バイクの操作を誤り直進してしまい、路上に設置された車両防護柵に衝突しバランスを崩し左側に転倒、その際、左大腿部を強打し受傷したもの。	62	80205	1~9
7	11~12	バイクで走行中、信号の無い十字路を通過する際、左から進入してきた車両の発見が遅れ、急いでハンドルを切ったが避けきれずに衝突し負傷した。	21	110101	300 ~ 499
7	15~16	車輛を運転中、脇見運転をしたことにより渋滞中の車列に後方から追突してしまい、運転席に下半身を挟まれ救急隊により救出されたが、左膝及び腰にケガを負った。	35	40301	10~ 29
7	13~14	バイクで郵便物の配達途中、十字路交差点を青信号で直進しようとしたところ、右折しても間に合うだろうと判断して右折を開始した対向の相手方乗用車と衝突、転倒して負傷した。	41	110101	300 ~ 499
7	3~4	朝刊の新聞をバイクでマンション区域の配達を終え、次の配達区域に向かう途中、駅西出口交差点にさしかかり右折しようとしたとき、直進し	32	80205	50~

		てきた対向車と接触、対向車のボンネットに体が跳ね上がってしまいフロントガラスに頭を打ち受傷したもの。			99
7	2~3	ゴルフバッグを運搬機に運ぶ際に、段差につまずき左足を捻り、左膝を痛めた。	58	80205	10~ 29
7	8~9	馬運動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然走り出し引きずられ、左肩部を負傷した。	42	150102	30~ 49
7	5~6	工事現場2階の階段室で、はしごを使って1階に下りようとした際に、2階の床より一段下がったハシゴの踏板に足を掛けた際に、右足を踏み外し、1階の内装床パネルまで転落し被災したもの。	51	80205	10~ 29
7	16~17	業務終了後、送迎車にて走行中、車輻の電気系統が突然故障しブレーキが利かなくなった。下り坂で減速できず、前方を走っていた車輻に接近したため車輻の左側をガードレールに衝突させ停車させた。この車は車検を受けている。	64	150101	100 ~ 299
7	16~17	業務終了後、送迎車にて走行中、車輻の電気系統が突然故障しブレーキが利かなくなった。下り坂で減速できず、前方を走っていた車輻に接近したため車輻の左側をガードレールに衝突させ停車させた。この車は車検を受けている。	75	150101	100 ~ 299
7	3~4	バイクで新聞を配達中に砂利でハンドルを取られ転倒。右手を負傷してしまった。	60	80205	30~ 49
7	4~5	細い山道で朝の新聞配達中、いのししが出てきて接触し、バイクごと倒れギアとステップの間に足を挟んでしまい、左足首を骨折してしまった。	67	80205	10~ 29
7	13~14	住宅地の道路から大通りへ出る交差点の信号にて停止をした際に、後続の乗用車に追突された。	39	40301	100 ~ 299
7	1~2	お客様（女1人）を乗せて進行中、交差点で、信号待ちで停止していたところ後方から来た車両が追突して来たため首、腰に傷害を受け、また	65	40201	100 ~

		乗っていたお客様も傷害を受ける事故にあった。			299
7	14~15	バイクを走行中、意識を失って転倒。右鎖骨骨折、右脇腹打撲を負ったもの。	44	110101	~ 9999
7	9~10	1軒目の配達先に向かう途中、二輪車でトラックの後方を走行していたところ、信号機のない交差点で右側から出てきた左方確認を怠った相手方の自動車の正面と当社社員の右側面とで衝突。相手方は一時停止はしたものの、トラックの後方の二輪車に気付かず交差点に進入したものの。	62	110101	~ 499
7	10~11	バイクに乗り、郵便局から配達先へ向かうため、交差点を直進中、前方を走っていた自動車が左折しようとして急停止し、それを避けるため急ブレーキをかけたところタイヤが滑り左に転倒。	43	110101	~ 499
7	10~11	被災運転者は航空燃料送油沿線を車両巡回中、交差する道路を横断する際に一時停止の標識に従い停止線で停止した後、前方に設置されたミラーで左右を確認しようとしたが右側が見えなかったため注意をしてゆっくりと前進して右側を確認しようとしたら、回送路線バスが迫って来ており回避する間もなく衝突し負傷したものの。	37	170201	~ 9999
7	12~13	駐車場で友人と友人から紹介をいただいたお客様と待ち合わせをし、友人の車でおお客様の希望されるレストランに向かう途上の事故。踏切で停車中に追突された。友人からお客様を紹介していただき、レストランで昼食を取りながら保険の説明をする予定だった。事故後は救急搬送された。頸椎捻挫、右肩の打撲、腕が重い感じがして上げにくい。	30	90103	~ 499
7	17~18	公用車にて出張先から事務所への移動において、車道走行中に、走行車線の左側民家の路肩側に衝突した衝撃で負傷したものの。	57	170209	30~ 49
7	3~4	バイクで朝刊配達中下り坂のカーブで、対向車をよけようとして、ハンドルを左に切った際、少し段差がありハンドルを取られ左側に転倒し左足首を、バイクに挟まれ負傷してしまった。	61	80205	~ 499
		オートバイ朝刊配達中、路上に於いて、T字交差点を右折しようとした			30~

7	3~4	時、猫がバイクに向かって飛び出して来たため、バランスを崩し転倒し負傷したものの。	40	80205	49
7	10~11	工場内のNC旋盤のベルトを掃除している時に、機械を止めないで掃除をしたため右手指先を巻き込まれてしまった。	61	40201	50~ 99
7	9~10	被災運転者は航空燃料送油沿線を車両巡回中、交差する道路を横断する際に一時停止の標識に従い停止線で停止した後、前方に設置されたミラーで左右を確認しようとしたが右側が見えなかったため注意をしてゆっくりと前進して右側を確認しようとしたら、回送路線バスが迫って来ており回避する間もなく衝突し負傷したものの。	49	90209	100 ~ 299
7	9~10	顧客先に於いて移動させていたラック（高さ170cm、横100×80cm、重さ20kg）が段差で傾いたので支えようとした処、左脚がラックの格子の間に入り込んでしまい受傷したものの。	40	40201	500 ~ 999
7	1~2	駐車場で友人と友人から紹介をいただいたお客様と待ち合わせをし、友人の車でお客様の希望されるレストランに向かう途上の事故。踏切で停車中に追突された。友人からお客様を紹介していただき、レストランで昼食を取りながら保険の説明をする予定だった。事故後は救急搬送された。頸椎捻挫、右肩の打撲、腕が重い感じがして上げにくい。	38	40201	100 ~ 299
7	19~20	K荘にて、掃除中に廊下から土間へ足を滑らせ左足首を骨折した。	66	40201	100 ~ 299
7	23~24	1階外壁（トタン）解体工事中、脚立1段目で作業をしていたら誤って転倒し肋骨を負傷したものである。	67	40201	100 ~ 299
7	23~24	厨房で配送を行っていた際、配送番重に右手薬指をぶつけた。	51	40201	100 ~ 299
		練習場小屋の中で机の上に乗り、サッシを清掃中にバランスを崩し右足の			100

7	19~20	踵から地面に落下したため、右踵を負傷した。	60	40201	~ 299
7	16~17	回収した資源物（ペットボトル）を処理施設に移送するため、飛散防止ネットを装着する際足を滑らせてトラックの荷台から落下し、頭と腰を打撲した。	46	30209	1~9
7	8~9	交差点の手前で一時停止をして交差点に進入しようとしたところ、左から来た車と車両の左側面が接触した。その後、勢いで左前方の壁に車両前方右側が激突した。	26	170209	10~ 29
7	21~22	朝出社して、点検点呼を受け出庫した。25回目の仕事で駅南口からお客様を乗せモノレール沿いに走行して赤信号にて停車。後ろから来た相手車両に追突され記載のとおり負傷したものである。	51	40201	100 ~ 299
7	19~20	配達帰路、走行中、右側わき道へ右折しようとした時に、対向車線を直進してきた自転車を認識したものの自転車が停止すると判断してそのまま右折を始めた。しかし、自転車が止まらず進んできたので、慌てて急ハンドルをきったのだが接触してしまい、当方は左側に転倒、負傷した。	18	140201	10~ 29
7	15~16	信号待ち時に追突された。	51	40201	100 ~ 299
7	10~11	訪問介護のため社用車で移動中、交差点内において右折のため、車を停止させ対向車や歩行者の通過待ちをしていたところ、後方から来た車が減速せずに走行してくるのを確認したが車は停止できず社用車の後方左側のバンパーを中心に全体に追突。その際に頸部と腰部を捻挫したものである。	40	130201	1~9
7	23~24	当方、乗客2名を乗せ途中小学校入口の信号が赤なので前車に続き停止しようとしたところ、後方からきた相手車両に追突され、負傷したものの。	58	40201	50~ 99
7	5~6	朝刊配達を終え販売店に戻る途中、バイクで走行中に、雨で濡れた路面	57	80205	10~

		でスリップ転倒し、頭部・首・腰を負傷した。			29
7	18~19	営業先で業務を終えて会社に帰社する途中、信号が赤に変わったため停止していたところ、後方から加害者運転の車が私の車にぶつかってきた。このため私は頭部を強く打ち負傷した。	36	30203	50~ 99
7	11~12	現場納品終了後、営業所に帰っている途中、交差点で信号待ちをしていたところ、自分が運転している営業車のトラックの後ろに乗用車が追突した。その衝撃で首がむち打ちになり、腰も痛めてしまった。	23	80109	1~9
7	18~19	利用者宅から自転車で事務所に戻る途中、左側に用水路のある道路を走行中、対向車を避けた際、側溝のへりの出っ張りに前輪が引っかかり左側に転倒、用水路に落下し左足踵骨骨折をした。	61	130201	30~ 49
7	15~16	東口よりお客様を乗車し目的地にて降車。同じ道を回送中現場信号が赤のため停車していた所後方から害者運転の車が私の後方にいた車にぶつかりその車はずみにより追突されたものである。	54	40201	30~ 49
7	10~11	被災者は、就業場所にて現場ゲート前で歩行者誘導業務に従事していたところ、目の前で一般車両とバイクの事故が起き、バイクの運転手が被災者の元に飛んできたため、避けきれず負傷した。	65	170201	50~ 99
7	1~2	当該者は信号機のある交差点を赤信号で通過しようとした処右方より走行してきた相手方車両と衝突し負傷した。	62	40201	100 ~ 299
7	13~14	当日午後、配達で歩道の無い道路を走行していた時、暑さのためふらついてしまい、緩やかなカーブに沿った縁石にタイヤが接触、バランスを崩して左側塀にぶつかった後、右側に転倒してしまい、負傷した。	28	80209	10~ 29
7	15~16	路線バス運転中、走行していたところ、反対車線から右折して店舗へ進入しようとした乗用車を発見。慌ててブレーキを踏み、クラッチを切り事故回避を試みたが間に合わず衝突した。事故回避動作の際に両足の筋を違えたと思われる痛みがあった。捻挫と挫傷と診断されたもの。	42	40202	100 ~ 299
		訪問先から事務所の駐車場に戻り、奥の駐車スペースに駐車するため場			

7	13~14	内を直進していた際、右側に並んだ駐車スペースに前向き駐車していた車両がバックしてきて、相手車両の右後方バンパー部分に、当方の運転席ドア前から右後ろドア付近にかけて引きずるように接触した。なお、相手車両も本会の事業用車両であり、運転者も本会の別の職員であった。両者とも相手の車両が認識できておらず、当方の前方不注意と相手の後方不注意が原因と思われる。	44	130201	100 ~ 299
7	3~4	新聞配達中に東側から橋を渡り西側に行く時に左折する時にスリップをしてバイクで転倒して負傷する。	77	80205	10~ 29
7	16~17	交差点で信号待ちをしていて、信号が青になり出発しようとした際、後方車両に追突された。	67	40201	100 ~ 299
7	12~13	DM便をバイクで配達をしていた。2ブロック目の配達を終え、次の配達先に行こうとバイクを切り替えした所、バイクが転倒し、左足がブロックとバイクにはさまり、左足すねからふくらはぎにかけて打撲と裂傷と診断された。	52	40301	30~ 49
7	14~15	受託先の郵便物を社有車で運搬中、交差点で赤信号により停車していたところ後方車両に追突された。	59	150101	10~ 29
7	18~19	道幅の狭い新幹線側道で、対向車に道を譲って停止したところ後続の相手車両に追突される。	72	40201	50~ 99
7	11~12	支店での用務が終わり公用バイクで総合庁舎へ向かうため、銀行の駐車場から車道へ出て左折した際に、体勢を立て直そうとしてハンドルがぶれ、バランスを崩してバイクごと右側へ転倒してしまった。後続車はいなかったが、道路側に転倒し危険であるため、通行人に早く歩道に上がるように言われたが、自分で動くことができなかった。	63	120109	10~ 29
7	11~12	軽四車両に乗務し、次の集荷先へ向かう途中信号機のある交差点で信号待ちをしているところ、後方から走行してきた自動車に追突された。追突された衝撃により、右肘の打撲と頸椎の捻挫となった。	42	110101	300 ~ 499

7	13~14	郵便物の配達作業のため二輪車で舗装されている道路を走行中、後ろタイヤのパンクによりバランスを崩し、誤ってアクセルを吹かしてしまい10m程走行した後、左側へ転倒した。転倒した際に左足首付近が二輪車の下敷きとなり、左足関節外側側副靭帯損傷となった。また、転倒の際に左肘を地面にぶつけ、左肘擦過創となった。	18	110101	100 ~ 299
7	5~6	朝刊配達を終え、事業所に戻るため、走行中、カーブを曲がる際にハンドル操作を誤りバランスを崩してしまい、電柱に衝突し負傷した。	37	80205	30~ 49
7	23~24	片側2車線路上で商品車を降ろす作業の準備のため、ワイヤーを外す作業中に、後方から車輻に追突された。追突の衝撃により、車体に左半身を打ちつけた。数時間後に体が痛みだした。	33	40301	50~ 99
7	12~13	荷物を引き取りに行くためトラックを運転中、信号のある交差点を直進していた時対向車線の右折車に衝突され受傷した。	45	80209	1~9
7	17~18	配達を終え帰局途中、直線道路を走行していたところ、意識が朦朧として縁石に衝突し転倒、負傷した。	19	110101	300 ~ 499
7	9~10	他店舗へ車両引取業務のために運転中、直進走行中に、右側道からトラックが割り込み、咄嗟に避けようと、左にハンドルを切ったが車両右側面後方に槽突され、街路樹にぶつかり、その衝撃で右半身、首を強く打ち、動けなくなり、救急搬送された。	55	11701	30~ 49
7	17~18	当社社員がバイクで郵便物を配達中、見通しの悪い交差点（T字路）を左折しようとした際、交差点手前で停止はしたが、左右の安全確認が不十分なまま左折しようとしたため、左側から来た相手車両と接触して負傷した。	26	110101	100 ~ 299
7	16~17	業務で郵便局に行った帰りに、交差点を青信号で横断中に、右折車と接触した。相手側の前方不注意によるもの。被害者本人は、「事故時の記憶がはっきりしない」とのこと。後で分かったことは、加害者は「ぶつかって初めて、人がいたことに気付いた」と言っている。また、加害車は、事故後、右ドアミラーとフロントガラスを損傷していた。	44	80109	30~ 49

7	16~17	夕刊配達中販売用の新聞を届けるため、道路から店の駐車場へ左折して侵入しようとしたところ側溝の鉄格子状の蓋が雨で濡れていたためスリップし左側へ転倒、そのとき負傷した。	71	80205	10~ 29
7	13~14	お客様へ訪問するために道路脇に車を止めていたが、お客様が不在であったため、車に戻り出発の準備をしていたところ、突然強い衝撃を受け、車のハンドルに右目付近を強く打ちつけた。外に出て確認したところ、車の左後方に相手の車がぶつかっていた。	23	80209	30~ 49
7	17~18	お客様を目的地までご案内する途中、当方片側二車線の信号のある交差点で赤信号を見落として進行し、右から直進してきた相手車両と出合衝突その際膝を強打した。	61	40201	50~ 99
7	14~15	発生者は、自動二輪車（110cc）に乗務して通配作業に従事中、相手側車両が切り替えし運転をしていることに気付き停止していた。相手方は出入口に繋がる通路前に停車するため後退を開始したが、当方が通路前に停止していることに気付かず衝突した。その結果当方は転倒し自動二輪車が損傷し左足関節捻挫のケガを負った。	18	110101	300 ~ 499
7	11~12	被災場所において、急勾配（下り）の配達先の家の前に車両を停車した際、停車した場所が車両前方と後方の高低差が大きかったため、車両がバランスを崩し横転その際車両のドアと座席下部分に足が挟まれ受傷した。要因として、左前輪が配達先敷地内に乗り上げたことにより、右前輪が浮いた状態となり、右に荷重がかかり横転したためと思われる。	64	110101	300 ~ 499
7	0~1	店外のゴミ箱を洗おうと勝手口を出たところで、ホースにひっかかりつまずいて転倒した。その際、左手首を骨折した。	56	40301	30~ 49
7	0~1	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	56	170101	10~ 29
		作業場で清掃作業中にフォークリフトにて移動しながら降りる際に足元			10~

7	11~12	の段差に気づかず段差の上に足を置いてしまい左足を捻り左足首を捻挫した。	51	40201	29
7	18~19	店舗レジ周辺にてゴミを集める作業中、ゴミ袋を右手に持ちレジ出入口から出ようと右足に体重を乗せた時に膝を捻ったような感じがあり崩れ落ちそうになった。慌てて立ち上がったが右足に体重をかけると膝に痛みがあり動かすことも立っていることも出来ない状態になった。	24	130201	10~ 29
7	3~4	交差点西行信号待ち停車中後方からトラックにノーブレーキに近い状態で追突された。	62	40201	100 ~ 299
7	18~19	会社の道具を買いに店にバイクで向かう途中、交差点で車と接触した。	59	30209	1~9
7	8~9	交差点赤信号停車時、後方より来た相手車両に追突される。	52	40301	10~ 29
7	8~9	マイクロバス乗務中に信号待ちで停止していたところ、他社の車に追突された。頸椎捻挫、腰部打撲にて2週間の安静加療を要すると診断された。	52	40202	30~ 49
7	3~4	原付バイクで朝刊配達中、現場府道の信号のない交差点を右折しかけたところ直進してきた乗用車と衝突し、頭部を強打し死亡した。	62	80205	50~ 99
7	18~19	バイクで信号のない交差点をブレーキをかけて右折しようとしたところ、砂で横すべりして転倒した。	56	90103	300 ~ 499
7	13~14	会社から車で現場に向かう途中、片側1車線の道路を走行中に車から荷物が落下し、その落下してしまった荷物を拾うために、Uターンし路肩に寄せて停車して助手席から車の前に出て荷物を拾おうと道に飛び出したところ、後から来た車と接触した。	43	170201	10~ 29
7	6~7	専用乗り場にて、同僚が車両を停車し、車両から離れトイレに行った際、道路の形状が下り坂になっていたため自然に動き出し、下った先で停車中の運転士が制止しようと降車したが間に合わないと判断。危険も	64	40201	50~ 99

		感じたため、自車に戻ったがその際に左足を強く踏ん張ったことと、衝突した衝撃で左足を負傷したもの。			
7	5~6	朝刊配達中、4tトラックに左側から当たられ、バイクで転倒したもの。	65	80205	50~ 99
7	5~6	配達業務の経路の交差点を配達用バイクで移動中出合い頭に普通乗用車に衝突し、受傷。	53	80205	30~ 49
7	10~11	出張修理に向かうため弊社所有のサービスカーで走行中わき見をしてしまい前を走行していた車が停車した事に気付くのが遅くブレーキを踏んだが間に合わず衝突し負傷した。	35	11709	30~ 49
7	16~17	事故発生場所は、路上にて。（下り坂）バイクを利用し、夕刊を投函する際に事故は発生した。右折後すぐの右側のポストに、夕刊を入れようと右折した時、後輪がスリップし、バイクが右側に転倒した。その結果、右足がバイクの下敷きになり、右足甲を骨折した。（単独事故）	40	80205	30~ 49
7	14~15	被災労働者がメーター閉開栓業務のため、バイクで西進中、交差点へ進入する際に一旦停止を見落とし、及び前方、左右確認を怠り進入したため、北側から南進していた自動車に気付かず、左ドア付近に追突、転倒し、右胸部付近を負傷したものである。	64	170209	—
7	4~5	朝刊配達業務のためバイクで走行中、ハンドル操作を誤り転倒して負傷したもの。	19	80205	10~ 29
7	5~6	朝刊配達時、原付バイクが走行中にT字路右折時に、ブレーキをかけた時に濡れたマンホールでスリップし、転倒、負傷した。	49	80205	1~9
7	15~16	お客さま宅へバイクにて配達しようとしていたところ、急な坂を下りて配達しその後、上って行く途中で、ギアがローからニュートラルに入りブレーキをかけたが、バイクの車体が後方へ下がり支えられずに右側へ転倒し、右腰と右足を地面で打った。	60	110101	100 ~ 299
7	6~7	当店本店から本社へ乗用車にて同僚と従業員送迎用の車を取りに行き当店へ戻るため、送迎用の車に同僚が乗り乗用車に本人が乗って戻る途中	21	80209	30~ 49

		道路を走行中、対向車線の車と衝突し負傷した。			
7	13~14	墓石営業のため自動車にて走行していたところ、十字路に於いて、自車優先道路を直進走行中、左方より右折してきた相手車両と接触後、反動で対向車線に出て、対向車線走行中の相手車両とも接触し全身を打撲、両下腿に擦過傷を負った。	20	10909	10~29
7	14~15	納品（ゴム印）するため二輪車の乗り走行中、道路の凸面に乗り上げ右側に転倒し右鎖骨を骨折した。受傷出勤していたが手術が必要となり、医師のすすめにより休業となったため本件提出する。	38	11709	50~99
7	10~11	事務所近くの幹線道路に入る交差点内にて自己所有車にて業務外出中、信号が青に変わってから交差点に進入後、左方から信号無視で車が突入し、衝突。	35	90209	1~9
7	16~17	道路上を郵便物の配達のため、自動二輪車で道幅4m~5mの緩やかな上りの左カーブを、時速約30kmで走行中、路面が濡れていたため、道路の右側に膨らんだところ、アスファルトが割れて段差になっている所があり、そこに前輪を取られバランスを崩し左へ転倒し、右手首と左手親指を骨折した。	18	110101	100~299
7	17~18	お客様のお宅から帰所する途中で優先道路を直進中、相手が一時停止をせずに左折したため接触。	33	90103	50~99
7	9~10	市道の病院正面玄関への入口近辺で外来患者が車両を正面玄関の空スペースへ移動させたいと思い当病院受付へ相談し当該職員がその連絡を受けた。その外来患者は従来より右下肢に障害があることから車両に左足でアクセル操作できるように改造していた。当該職員は、外来患者の意向が代行運転してもらいたいものだと確認せずに勝手に思い込んでしまった。そのため当該職員は、改造車両とは知らずに代行運転してしまい、結果運転操作を誤ってしまった。後進の状態でアクセルを踏みこみ、市道海側の防波堤のところでスピンし激突、運転者である当該職員が被災した。	64	130101	300~499
		トラックで下りの終点付近を走行中、上り車線から下り車線に変わる見			

7	23~24	通しが悪い場所で信号待ちをしていた前方のトレーラーに衝突。スピードが出ていたためブレーキを踏んだが間にあわず、トレーラーの後方から追突し、その際の衝撃で足を骨折した。	43	40301	10~ 29
7	7~8	ゆるやかな左カーブを抜けた後下り坂で対向車に気がつきブレーキを掛けた。その際に道路上の砂でスリップして転倒した。なお対向車とは接触等していない。	37	110101	300 ~ 499
7	12~13	トンネル内で、バイクで寿司配達中に、前の車輛が停車したことに気付くのが遅れ追突した。その際、前の車輛に顔からぶつかり、あご骨折し、歯を損傷した。（上前歯2本、下前歯4本）	16	80209	10~ 29
7	16~17	二輪車で配達業務終了後帰局途中、信号の無いT字交差点を直進していたところ、対向の四輪車が急に右折してきて衝突し転倒。転倒した際店の看板にあたり負傷した。	23	110101	300 ~ 499
7	10~11	交通規制内において、交通誘導警備業務に伴い、ライトバンの後進誘導を行っていた。他の車両が接近してきたために他の車両に気をとられ、後進して来た当該ライトバンの右後輪に右足をひかれた。	26	170201	30~ 49
7	16~17	右折しようとして右側に進路をとったところ、後方車に追突された。	25	90101	30~ 49
7	7~8	家から仕事場へ直接出勤するため、バイクで走行中に下り坂のカーブで転倒した。その日は痛みがあったが、たいしたことは無いと思いそのまま仕事に行き、1日が終わって家に帰ってから、足の痛みと腫れが酷くなった。	62	170201	10~ 29
7	9~10	一般道において、給水ポンプを倉庫に返却中重機の修理を依頼していた業社が目に入り会社に戻るため迂回しようとした時、原因不明で意識が朦朧としてしまい運転操作を誤りガードレールに衝突し、左足を挟まれ右足を切り衝突の反動で押し上げてきたハンドルで顔面を打ち負傷したものの。	62	20201	1~9
		走行中、左折した際、前方より軽四輪車が見えたため、避けようと思い			100

7	14~15	ハンドル操作を誤って、左の用水路に二輪車ごと転落した。	28	110101	~ 299
7	11~12	灯油の配達を終えて支店へ戻る途中に、左方の脇道から飛び出して来た軽乗用車と衝突し田んぼに転落し、横転した。優先道路を直進中に、左方の脇道から相手車が一時停止せずに直進してきたため、衝突した相手は急いでいたようで前方不注意でもあり被災者運転の車に気がつかなかったと話している。	55	170209	10~ 29
7	5~6	バイクで配達業務中、上記場所にて野良猫が突然飛び出してきたため避けようとして転倒負傷したもの。	63	80205	1~9
7	16~17	車で帰社途上の事故。走行中、右カーブでハンドルを切り過ぎてしまい、急いで左に戻したが間に合わず、センターラインをはみ出して対向車に衝突した。当日は、西日が眩しくて運転しにくかった。首のむちうち、首・胸部・腰部・腹部の打撲（所属営業所に戻る途中の事故）。	64	90103	30~ 49
7	5~6	新聞配達中、自社原付でT字路を左折し、直進していたら前方から直進して来た車に衝突した。	35	80205	1~9
7	8~9	デイサービスご利用者の送迎のため、社用車使用にて、ご利用者宅へ向かう途中走行中に、右後方タイヤがパンクしたことにより、ハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突したもの。 ※使用車両については、専門業者による3ヶ月点検、1年ごとの法定点検の定期点検及び車両使用者による乗車前の簡易点検を実施しており、特に異常はなかった。	45	130201	100 ~ 299
7	17~18	町道で御中元の荷物を配達に行く途中、町道脇の小川に運転していた軽ワゴンと共に約4m下に転落し、首の損傷のため亡くなった。ブレーキ痕なし。	72	40301	1~9
7	22~23	配達帰り路面電車のレールに乗り上げスリップし、電柱に衝突した。	20	80209	10~ 29
7	11~12	保険募集の提案に向かう途中、交差点の信号待ち2台目で止まっていたところ、車に追突された。	29	90103	300 ~

					499
7	15~16	訪問介護先の個人宅にバイクで向かう途中、見晴らしの良い交差点を直進しようとして一旦一時停止をした後に前進したところ、左側から直進してきた車と接触し、乗っていたバイクごと転倒し、全身を道路に強く打ちつけて負傷した。	64	130101	100 ~ 299
7	8~9	高台にある施設内のデイサービス送迎業務中（利用者同乗なし）、ブレーキとアクセルを踏み間違えてフェンスを突きやぶり、4~5m下の私道に転落し、横転（車両上部が私道に接地する状態）した。	64	130201	10~ 29
7	10~11	当方労働者は、配達用二輪車に乗務し、配達開始地点に向けて走行中、交差点にて前方の信号が青であることを確認し直進しようとしたところ、赤信号を見落として交差点へ進入してきた相手側軽四輪車に左側から衝突された。労働者は、相手車両のフロントガラスに左顔面を強打ち、二輪車とともに5m程度はね飛ばされ、左目上部の創傷および数カ所の擦過傷を負った。	30	110101	100 ~ 299
7	10~11	約束のお客様宅を車で訪問途上の事故。交差点で停車し、信号が青に変わったので発車しようとしたところ、追突された。首の後ろから背中のおうち。	47	90103	30~ 49
7	15~16	当該被災者は、乗務中、交差点にて赤信号で停車していた際、異音と同時に衝撃を感じたため、バスから下車して確認すると、バスの右後ろに関係乗用自動車の左前が接触していた。その時の衝撃で当該被災者は負傷した。	47	40202	50~ 99
7	10~11	休憩をとるため現場から道路を横断中に車にはねられて、けがをした。	23	30202	1~9
7	1~2	バイクで新聞配達中、自動車に追突され、入院した。	80	80205	10~ 29
7	3~4	バイクで配達中、ハンドルを取られ、左に倒れて左ひじを骨折した。	57	80205	10~ 29
7	8~9	駐車場入口にて測量作業の待機中、一般車両から相手の過失により正面	59	30199	10~

		衝突された（人対車）。			29
7	10~11	配送業務中、ウィンカーを点けて左折待機していたところを追突された。	49	80109	30~ 49
7	16~17	現場から自家用車で事務所に戻る途中、交差点を青信号（矢印信号）で直進していた。前方右側から自転車に乗った70代の男性が南側から斜めに横断してきたため、視界に入らず、ブレーキが間に合わなかった。自転車は赤信号にて交差点内に進入した。	25	30199	30~ 49
7	8~9	通所リハビリの送迎に向けて、利用者宅へ行く途中のトンネルで、ダンプトラックがスリップし、対向車線をはみ出し、自車と正面衝突した。	42	130201	50~ 99
7	16~17	利用者の送迎中、交差点（信号はなく、相手側に、一旦停止がある。）に近付いたところ、左側から軽自動車が交差点に進入しようだったためブレーキを踏んだが間に合わず、自車右前と相手の車の右後方が接触した。衝撃で相手の車は民家のブロックにぶつかった。	32	130201	10~ 29
7	18~19	納品現場から帰社するために高速道路を走行中、追越車線に車線変更したところ、路面が濡れていたため、車輛右前部から壁面に衝突し、負傷した。	39	30203	30~ 49
7	2~3	原付バイクで新聞配達の経路を直進中、道路左側に停車していた軽自動車（ハザードを点灯した運転代行車両）を避けて横を進行したところ、相手の車が急に発進してUターンしようとした。このため衝突して転倒し、頭部や左足膝・手足等を打撲負傷した。	39	80205	10~ 29
7	17~18	四輪車で、3車線道路の中央車線で信号待ちのために停車中、左折車線に移動しようとした四輪車に追突され頸部を負傷した。	42	110101	500 ~ 999
7	19~ 20	当車両、赤信号の為停止する時後継車の相手が当車両に追突してきた事故。	52	40201	100 ~ 299
		建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及			

7	6~7	び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガードレールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	19	30209	1~9
7	6~7	建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガードレールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	25	30209	1~9
7	6~7	建築工事に使用する鉄筋を元請所有の加工場で加工するため、事業主及び、労働者3名が自家用車（ライトバン）に同乗し、進行方向左側に車両が逸脱し、ガードレールの端部に衝突した後、道路脇の川に転落した。当日未明まで大雨が降っていたことから、増水しており、車ごと流されてしまった。	29	30209	1~9
7	12~13	信号機のある交差点配達を終え帰社しようと時速40km前後で1トントラックを運転していた所、考え事をしていたため赤信号に気づかず交差点に突入し、右から来た車と衝突し右手中指を骨折した。信号無視の事故のため過失割合は100対0であった。	46	80201	1~9
7	9~10	お客様宅で作業を終え、事務所に戻るため走行。事務所敷地内に投入するためウィンカーをあげ右折した時、後方車両が反対車線にはみ出し、追い抜きをかけ当方車両の運転席右ドア付近に追突した。	44	80109	1~9
7	14~15	片側3車線道路の第2走行車線を渋滞で停車している前車に続き停車していたところ、後ろからきた相手四輪車が追突、当方は押し出されるように前車に追突し転倒負傷した。	18	110101	300 ~ 499
7	10~11	道路で停車中に後ろからきた車に追突された。	54	90103	300 ~ 499
		自家用車を運転中、車両を左側に寄せたところ、ガードレールに接触			

7	13～ 14	し、左足を負傷した。（仕事終了後に、次の現場がまだ開始前ではあったが、仕事道具を次の宿舎へ会社の指示により運んでいる最中であつた。）	31	30209	10～ 29
7	11～ 12	信号待ちのとき、後方より追突された。その後、追突車両は逃走した。	31	130201	10～ 29
7	17～ 18	取引先訪問後に自社に戻る途中で、社長が運転する乗用車の助手席に乗車中、カーブで対向車が反対車線に飛び出してきて、正面衝突となり負傷した。	34	11209	1～9
7	12～ 13	配達後、道路反対側に駐車していた車両へ戻るために道路を横断しようとしたところ、相手車が減速したため、譲ってくれたと思い車道上へ出たが、相手車は停止せず、衝突して転倒し、頭部を路面に打ちつけた。	38	40301	300 ～ 499
7	23～ 24	業務中、会社へ戻る途中に二輪車で信号のある交差点を直進していたとき、対向車両（左折）と衝突した交通事故である（双方ともに信号は青）。	29	170209	50～ 99
7	11～ 12	次の配達先のポスト前へ向かうために左折した際、路面の泥溜まりにバイクの前輪がはまり、左足を地面につけバランスを保とうとしたが、そのまま左側に転倒した。その際、左足をバイク後部にはさみ、左足首の捻挫、左足首くるぶしの創傷により、左足首と左足くるぶしを痛めた。	24	110101	100 ～ 299
7	1～2	被災従業員は、お客様を降ろした後、会社に戻るために走行し、緩やかなカーブに差し掛かった時にハンドル操作を誤ってしまい、センターラインを越えて反対車線の信号機の補助柱に衝突し負傷した。	71	40201	30～ 49
7	12～ 13	運転手である課長の車に同乗（助手席後部座席）中、課長が方向転換する際に、バックにて左側がガードレールに激突した。	48	90209	30～ 49
7	11～ 12	バイクで右折するため（信号無し）、対向車が通過するまで一時停止をし、右折しようとした際に、後ろから直進してきた自家用車に追突された。追突の衝撃で、その場で道路に尻もちをついた格好になり、尻部分を強打した。	52	170209	50～ 99

7	9～ 10	業務中、雨天時に車で走行中、カーブを曲がる際にスリップし、遮音壁に衝突した。その際、胸部をハンドルに強打し被災した。	58	10102	50～ 99
7	4～5	トレーラーにて鋼材を運送中、T字路を青信号にて通過しようとしたところ、左方向から赤信号を無視して右折しようとした交差点に進入してきた軽乗用車と衝突した。	64	40301	10～ 29
7	8～9	信号で止まっていたところ、後方より追突された。	60	170209	1～9
7	5～6	新築物件建設現場にて朝刊配達終了後、帰店途中に運転を誤って、建設現場の囲いを突き破り、建設中の店舗に突っ込み負傷した。	49	80205	30～ 49
7	13～ 14	スクーターで書類を輸送し、道路の左側車線を走行中、交差点に差し掛かる時に赤信号に変わったためブレーキをかけたところ、スリップダウンして転倒した。	35	40309	100 ～ 299
7	13～ 14	被災者は訪問リハビリテーションの職に従事している。1日あたり6～7名の寝たきり高齢者を訪問してリハビリをするという業務形態をとっており、移動には原付（3輪車）を使用していた。事故当日は雨もしくは降雨の後で、走行中にハンドルをとられて転倒して受傷した。	59	130102	10～ 29
7	15～ 16	当車が直進で進行中、右路地から当車車線へ右折しようとして来た車両が、当車右後部に衝突した。双方車両が破損し、その際に負傷したものである。	49	40201	100 ～ 299
7	15～ 16	当方が走行中に、右方より走行してきた相手方車両と接触したものである。	60	40201	300 ～ 499
7	12～ 13	利用者宅へお迎えに行く途中の事故である。自転車で信号なしの交差点に進入した際、左方から交差点に進入した相手車と出会い頭に衝突し、救急車で病院に搬送された。診断の結果、右第1、第2趾骨折、四肢・腰部擦過傷、右膝半月板損傷で約1ヶ月間の加療を要する見込みである。通勤経路について、通常は自宅から直接利用者自宅へ向かうが、当日は靴を忘れたため会社に一度寄ってから出勤した。なお、会社での業務は	46	130201	1～9

		行っていない。			
7	11～ 12	タクシー車両運転時、一方通行を直進中、左方から来た一時停止無視の車両と衝突した。	63	40201	100 ～ 299
7	11～ 12	会社近くの交差点を徒歩で撮影機材の搬送中、後方から自動車が来た。被災者が左折しようとしていたところ、自動車も同時に左折し、被災者の右足に自動車の左後輪が乗り、右足を骨折した。	23	100101	10～ 29
7	9～ 10	警備先の火災対応の指示を受け現場へ出向中、右側車線を時速30～40kmで前車両を追走する形で走行していた。T字路交差点にて右折しようとした際、前方を走行していた車両が右折したため、対向車線に走行車両はいないものと思い込み、左右の安全確認を実施せず、停止することなく交差点に進入した。そのとき対向車線（右側車線）を直進してきた車両を見落とし、相手車両と当方車両の正面衝突事故に至ったものである。	33	170201	100 ～ 299
7	14～ 15	三輪付バイクで配達中の往路にて、当方停車中に前方車両がバックをしてきたため、クラクションを鳴らすも間に合わず、当方のフロントカウルと相手方のリヤバンパーが衝突した。	29	80209	10～ 29
7	8～9	タクシー営業中、交差点手前で、対向から救急車が右折しようとしていたため、前車に続き停車したところ、後方から来た車両に追突され負傷したものである。	59	40201	500 ～ 999
7	3～4	外回り片側2車線の第2通行帯を走行中、単独事故で停車中の乗用車を発見し、事故車を避けるため、急減速しながら第1通行帯の安全を確認して車線変更したところ、追突された。	38	170209	30～ 49
7	3～4	交差点で信号待ち中、信号が青信号になって進行したところ、右側より進行して来た信号無視の軽自動車に追突された。	55	40201	100 ～ 299
		お客様降車後、走行中に交差点の信号が赤に変わり一時停止していたと			100

7	2～3	ころ、後方から加害者運転の車がノーブレーキで追突してきた。そのときのショックで、首や腰などを強く打ち負傷した。	65	40201	～ 299
7	11～ 12	走行中、信号機のないT字路で、左側から相手車両が来ていたので減速したところ、相手車両が右折してきて衝突し、右側に転倒した。	26	110101	100 ～ 299
7	8～9	業務車を運転して移動中、交差点の右折車線に停車中、後続車に追突され、外傷性頸部症候群、頸椎捻挫を負った。	49	150109	500 ～ 999
7	3～4	勤務終了後、店舗を出発しバイクで走行中、道路の形状が山なりになっていたため、下からでは頂上付近の見通しが悪く、前方に停車している車両の列の最後尾に気が付くのが遅れた。気が付いた時に衝突を回避しようとして急ブレーキをかけたが、停止しきれず、バイクから投げ出されて転倒した。	42	140209	1～9
7	23～ 24	交差点において、一方通行から出た被災者が運転するタクシーの左前部に、左から進行してきた小型乗用車が接触し、前部バンパーと左側フェンダーが大破した。その衝撃により、首のつけ根及び腰に違和感を覚えた。その後、事故処理のため頑張っていたが、翌日に首の左側に痛みが出るようになった。また、左側の付け根に張りが感じられ、腰の左側に違和感があったため受診し、頸椎捻挫、腰椎捻挫と診断された。	75	40201	300 ～ 499
7	14～ 15	実車中、直進方向に進行していたところ、後方から来た車両に追突され負傷した。	49	40201	500 ～ 999
7	23～ 24	信号待ちで停車中、後方より追突された。	53	40201	100 ～ 299
7	15～ 16	現場検査を終えて事務所へ戻るため車で走行中、前方不注意により、停車中のトラックに追突した。追突した際の衝撃で、ハンドルに胸部を強く打し、打撲した。	65	170209	1～9

7	14～ 15	夕刊配達の時、一時停止している車にぶつかった。	54	80205	30～ 49
7	10～ 11	翌月実施予定の定期調査業務について、マンション管理人へ説明するためバイクで訪問する際、マンション入口を左折しようとしたところ、雨で濡れていた路面で後輪がスリップし転倒し、右足膝と左手親指を打撲した。	54	170209	100～ 299
7	15～ 16	信号のある交差点で、当局バイク（50cc）が交差点に進入した際、右から来た軽乗用車が当局バイクの右側側面に追突した。	45	110101	500～ 999
7	10～ 11	一旦停止路で、左折しようとして安全確認をして停止していたところ、後方から来ていた前方不注意の車両に追突され、衝撃で頸部及び腰部を負傷した。	52	40201	100～ 299
7	0～1	自宅から得意先に直行するため、高速道路を走行中、大型トラックに衝突し、その後、後続者に追突され、挟まれてしまった。病院に搬送されたが、未だ意識不明である。	40	150101	1000～ 9999
7	17～ 18	被災社員は配達作業を終えて帰局途中、小学校の裏のT字路の道路を直進していた際、舗装してある道であったが、砂利が散乱している所に二輪車を乗り上げてしまい、右側へ転倒して受傷した。	38	110101	300～ 499
7	11～ 12	青信号で交差点に進入したところ、右から信号無視の車両が進んで来て、当方車両の右前輪付近および前部バンパーに接触したとき、車内で体を打った。	44	170209	10～ 29
7	7～8	道路をタクシーにて流し営業をし走行中、道路上に左前方歩道に旅客と思われる男性がいたため、そちらに気をとられてしまい、前方に乗降のため停止していた車両があることに気づくのが遅れ追突した。その衝動で胸部をハンドルに強打して打撲を負った。	69	40201	100～ 299
7	16～	仕事で利用者の買い物代行をするため、店へ行く途中、交差点で一時停止後に自転車を発進したところ、相手の自転車が右側の坂道より下って	43	130201	10～

	17	きて、当方自転車側面に衝突し、自転車ごと地面に倒れた。その衝突で、当方右肩と両足を負傷した（特に右大腿部の負傷が大きかった）。			29
7	4～5	原動機自転車を運転して朝刊を配達中、道路標識の無い住宅街の道を右折するとき、散歩中の歩行者に追突し、転倒して負傷した。	44	80205	30～ 49
7	1～2	走行中、信号交差点が赤のため停止した際に、後方から走行してきた車両に追突され、その際の衝撃で頸椎捻挫を負った。	47	40201	100 ～ 299
7	4～5	バイクで新聞を配達中、マンホールの蓋の上で滑って転倒し、鎖骨を骨折した。	53	80205	1～9
7	12～ 13	優先道路を走行中、相手が一時停止を無視し、左側より追突された。	45	90103	300 ～ 499
7	12～ 13	配達のため、路肩に停車していた自動二輪車に乗車し、次の配達先に向かうため発進したが、後方の安全確認を適切に行わず発進したため、相手車両（四輪）が避けきれず、当社自動二輪車後部に衝突した。衝突の際、当社社員は自動二輪と共に左側に転倒し、左側鎖骨を骨折した（自動二輪車110cc）。	63	110101	100 ～ 299
7	11～ 12	見通しの悪い緩やかな下り坂の左カーブを走行中、対向車線側に膨らみ、対向車の運転席側前面と当社軽四輪運転席側前面が衝突した。	60	110101	100 ～ 299
7	10～ 11	配達運転中、大雨でスリップしたため看板基礎支柱に衝突した（目撃者の証言による）。	0	80209	1～9
7	13～ 14	工事施工場所へ向うため、徒歩で路側帯内を進んでいたとき、後方から走って来たライトバンにはねられた。	33	30106	1～9
7	4～5	バイクで新聞配達中、道路から2m下の畑に落ち、バイクの下敷きになって負傷した。	68	80205	30～ 49
		弊社運営のカフェで販売するパンを運搬するため、時速50km程度で走行			

7	10～ 11	中、反対車線側から出ようとする車があった。見送られると思い、通り過ぎようとしたとき、その車が急に出て来て、それを避けて横転した（ぶつかりはしなかった）。相手方は、当方が来ていないと思い込み、飛び出したことを認めている。	34	80209	300 ～ 499
7	11～ 12	お客様の家を出て、職域活動に向かう途中、国道交差点手前で、居眠りをしてセンターラインを越えてきた車にぶつけられた。	38	90103	500 ～ 999
7	12～ 13	営業車両（軽自動車）にて納品先へ向かう途中、交差点を直進しようか曲がろうか迷っているうちに、信号を見落として交差点に進入してしまい、左側から来た車の右側面に衝突してしまった。	58	80209	50～ 99
7	3～4	新聞配達のため、一車線道路を北向きに走行中、後方を走っていたトラックに気をとられ、道路の左側に設置されていた縁石ブロックにタイヤが当たり、右側に転倒した。これにより、体の右側を負傷した。	62	80205	10～ 29
7	17～ 18	お客様からクレームがあり、返金するためバイクに乗り店舗から右折して出発しようとしたとき、確認不足で右から来た車と衝突し、右大腿骨・右膝・右頬・鎖骨・肋骨等の広範囲に骨折・挫傷を負い、救急搬送された。	39	140201	30～ 49
7	15～ 16	次の現場への移動中、路側帯ブロックにバイクの左下面が接触し、反動で右側にバイクが倒れ、バイクと路面の間に右足を挟んで骨折した。	57	170201	50～ 99
7	14～ 15	50ccバイクを運転し、客宅への夕刊配達を終え、玄関先から道路にバイクで出ようとしたとき、左手から走行してきた自動車と接触し、バイクごと転倒した。転倒した際に胸を強打し、肋骨3本を骨折した。	53	80205	10～ 29
7	17～ 18	交差点において、右折レーンで停車中、後方からきた相手車両に追突され負傷した。	64	40201	300 ～ 499
7	11～ 12	配達作業中、配達先へ向かう途中で右折進入しようとしたところ、後続の相手車両と接触し、右第6肋骨骨折を負った。	57	110101	50～ 99

7	15～ 16	待ち合わせをしたお客様との商談を終え、バイクで帰社途上の事故である。信号の無い十字路を時速40km位で走行中、脇道から出てきた相手車と接触し、右側にはね飛ばされ、救急搬送された。その際、右膝を負傷し、両膝下・右太もも・右脇に痣ができた。なお、事故当時、被災者は優先道路を走行していた。	23	90103	100 ～ 299
7	13～ 14	営業活動による運転中、居眠りによりガードレールに突っ込み、事故を起こした。その後、外傷性の肺気胸が発症し、入院することになった。	25	30209	100 ～ 299
7	11～ 12	買い物をした後に職場へ帰るとき、交差点で右折しようとしていて、信号の右折矢印も消えて赤信号になったので、右折レーンの先頭で止まったところ、後ろから白いワンボックス車が追突してきた。	49	140309	50～ 99
7	4～5	バイクにて朝刊配達中、猫を避けようとして急ハンドルを切り、バランスを崩して転倒した。	32	80205	10～ 29
7	10～ 11	会社所有車両を運転中、信号交差点において、赤信号から青信号に変わった際、前車に追従して交差点に進入し、その前車の更に前が渋滞していたため、前車がブレーキを掛けて停車したのに気づくのが遅れ、追突した。	24	40202	100 ～ 299
7	15～ 16	タクシーを運転中、当方が前車に続いて停止したところ、左後方より相手方大型車両に接触され負傷した。	57	40201	100 ～ 299
7	1～2	青信号で右折したところ、対向の赤信号直進車と接触した。	54	40201	100 ～ 299
7	4～5	路上にて、原付バイクで夕刊配達中、ハンドル操作を誤り、転倒して負傷した。	73	80205	10～ 29
		T字路の交差点にて、青信号で横断歩道（少し上り坂）を自転車でゆっくりと走行中（歩行者位のスピード）、車道対向車が、バイク（直進）に			

7	4~5	気を取られ、自転車を見落して右折してきたとき、自転車の後方に衝突して停車した。その際、自転車の後方が大きく左に振られ、身体をねじり、打った。転倒はしなかったが、膝の内出血、吐き気、痛み等の症状が出た。	44	80205	10~ 29
7	14~ 15	運転中にエアコン操作をしようとした際、誤ってハンドルを左に切ったため、道路左側の縁石に接触して右にハンドルを弾かれた。慌てて左にハンドルを戻したところ、そのまま歩道に乗り上げ、街路樹・カーブミラーに接触し、その衝撃でエアバッグが破裂した。その際の爆発で右手首に火傷・打撲、また衝突の衝撃で両脚膝部と腰部等に打棒を負った。	70	170101	1000 ~ 9999
7	14~ 15	運転中にエアコン操作をしようとした際、誤ってハンドルを左に切ったため、道路左側の縁石に接触して右にハンドルを弾かれた。慌てて左にハンドルを戻したところ、そのまま歩道に乗り上げ、街路樹・カーブミラーに接触し、その衝撃でエアバッグが破裂した。その際の爆発で右手首に火傷・打撲、また衝突の衝撃で両脚膝部と腰部等に打棒を負った。	70	160101	30~ 49
7	20~ 21	車で支部に戻る途中、交差点を過ぎたところにあるS字カーブでスリップし、車が横転した。救急車で運ばれ、右前腕部挫傷、肩打撲と診断された。	82	90103	300 ~ 499
7	16~ 17	取集終了後、帰局途中、当局駐車場よりお客様乗用車が出てきたため、前方バイクが停車するのを受け、停車したとき、後ろから来た小型ミキサー車に追突された。	53	110101	300 ~ 499
7	15~ 16	夕刊配達業務のため、自転車に乗車して路上を右折しようとした際、誤ってポールにペダルが引っ掛かり、そのまま転倒して負傷した。	47	80205	30~ 49
7	12~ 13	市道が渋滞していたため、小型自動二輪（125cc）にて車列の左側を直進走行中、突然車列の間隙から対向車が右折して来たので、慌ててブレーキを掛けたところ、スリップしてバランスを崩して転倒し被災した。	55	30201	1~9
7	17~ 18	仕事場である小学校から自宅へ原付バイクで帰宅中、交差点付近を直進中に、左から右折しようとしていた車にぶつかり転倒した。	26	130201	1~9

7	5～6	新聞の配達中、曲がり角を曲がろうとした際、人が見えたので避けようとしたところ、転んでしまった。転んだ際に、右足がバイクと地面に挟まった。	64	80205	10～ 29
7	19～ 20	信号のない交差点を走行中、左右安全確認を怠り、左から来た相手車両と出合頭に衝突した。その衝撃で、当方の車両が乗務者と一緒に回転しながら横滑りし、右斜め前方の民家の車庫の扉に衝突して扉を損壊した。	46	110101	100 ～ 299
7	11～ 12	お客様宅から車での帰社途上の事故である。交差点付近で赤信号停止中に追突され、頸椎捻挫、胸部出口症候群の怪我を負った。	28	90103	30～ 49
7	5～6	50ccバイクで朝刊を配達中、配達が終了したので販売店へ戻るとき、路面が濡れていたためマンホール上でスリップし、転倒した。	41	80205	10～ 29
7	2～3	新聞の朝刊を四輪に乗って配達している途中、信号のない交差点に進入したとき、相手四輪と接触し負傷した。	57	80205	1～9
7	23～ 24	派遣先より、駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	37	170101	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	170101	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	30	170101	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	51	170101	500 ～ 999
7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	25	80401	50～ 99

7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	30	80401	50～ 99
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	80401	50～ 99
7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	51	170101	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	34	80401	50～ 99
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	80401	50～ 99
7	15～ 16	次の配達先へ向かうため、信号機のない交差点を当方社員がバイクで直進しようとしていた際、右方から直進してきた乗用車と衝突した。当方自動二輪の後方に相手側右前部が衝突し、当方は2m程バイクごと飛ばされて転倒し、右足の甲を開放骨折した。	44	110101	100 ～ 299
7	2～3	新聞購読者営業のためバイクで走行中、T字路にて四輪車と出合頭に接触し、転倒して骨折した。	80	80205	1～9
7	5～6	市道にて朝刊配達中、市道に駐車していた車を避けようとした際、ハンドル操作を誤り、そのまま転倒した。	75	80205	50～ 99
7	14～ 15	路肩規制を行い、草刈作業を実施中、警備員の笛の指示に従い作業を中断し、車両が通過するのを待っていた。その際、左外側線より草刈機の先端が車道に出ており、後方より走行して来た軽乗用車の前方と接触した。その反動で左横方向に一回転し負傷した。	24	30106	1～9
7	13～ 14	幹線道路を走行中、左側から車が飛び出して来てぶつかった。	40	90103	300 ～ 499
		新聞配達中、新聞を投函後、バイクで次の客先へ移動中、交差点を東か			30～

7	4～5	ら西へ通行していたところ、南から北上してきた自動車と衝突し左腕を骨折した。なお、相手方は飲酒運転であった。	61	80205	49
7	11～12	次の配達先へ向かうため、自動二輪で右カーブを時速10kmで走行中、フロントタイヤがスリップしたため、バランスを崩して右側へ転倒し、右鎖骨を強打した。	36	110101	50～99
7	10～11	車を運転していた際、赤信号停車中に後方からよそ見運転のトラックに追突された。	46	80109	1～9
7	11～12	作業場にて休憩時間中、田んぼ横に停めていた車と車の間から道路に出ようとしたとき、走行中の車に衝突し、転倒して頭部を強打した。	24	60101	30～49
7	8～9	横断用信号を北から南へ横切ろうとしたとき、一旦停止し、相手車がかなり遠方に見えたので通り過ぎせると判断し直進したが、相手車があまりにもスピードを出していたため、交差点にて相手車正面と当社営業車の左角が衝突し、半回転し、車線上に止まり、相手車は歩道へ乗り上げて停止した。事故当時、相手車は内側車線から外側車線に移動したが、ブレーキ痕は見られなかった。	69	40201	10～29
7	5～6	警備先の現場から自転車で自宅へ帰る途中に、事務所の電気が点灯しているのに気がつき、本来は月末に提出予定であった報告書を提出しようと思い、会社事務所へ立ち寄ろうと道路を南から北へ横断したとき、西から来た自動車と接触して転倒し、負傷した。	69	170201	30～49
7	0～1	夜間工事において、幅寄せ誘導をしていた際、脇見運転の車に追突され死亡した。	57	170201	10～29
7	3～4	信号機のないT字路で、朝刊を配達中（原付）、普通乗用車と衝突した。	70	80205	10～29
7	16～17	利用者の送迎業務にて運行中、ぼんやりしていて電信柱に衝突した。	66	130201	10～29
7	11～12	T字路の横断歩道を直進時に、左折車両が接触し横転した。	53	90101	10～29

7	11～ 12	郵便局に向かうため、小学校前交差点を通過後、渋滞により前車両が減速停車をしたため、当方車両も減速を行ったとき、後方の相手車両が追突し、首及び胸、背中周辺を痛めた。	43	40302	50～ 99
7	16～ 17	利用者を全員送迎後、事業所に戻る途中、交差点付近で信号が変わったため、慌てて急ブレーキをかけたが間に合わず、信号待ちをしていた前から4台目の車に追突した。事故処理をしようとしたが、追突された車両が立ち去ったため、相手方は不明である。	33	130201	1～9
7	10～ 11	午前の配達のためバイク（原付）で走行中、左方のT字路から乗用車が急発進で右折を開始し、避けきれずに衝突した。その際に転倒し、救急車で病院へ搬送された。	26	110101	100 ～ 299
7	9～ 10	当該車両は東方向へ、関係車両は北から南へ直進中、交差点において出合頭に衝突し、負傷及び損傷したものである。	71	40202	100 ～ 299
7	6～7	自動車道下り線にて、前方500～600m先で発生した多重衝突事故による渋滞中、後方車より追突された。	41	40301	10～ 29
7	6～7	前方で発生していた事故のため渋滞が発生しており、前走車両（大型）が減速し徐行・停止をしようとしていたため、同様に当方も減速し徐行・停止をしていたところ、後続の大型車両に追突された。後続の大型車両は、その後ろの大型車両に追突された勢いで前方に押され、当方車両に追突してきた。当方は、追突の衝撃で前走車両（大型）へ追突した際、自車キャビン前部と箱後部及びウイング等が破損した。運転していたドライバーは、衝撃の際に頸椎・左肋骨・右膝関節を打撲したが、命に別状はない。	47	40303	30～ 49
7	14～ 15	被災者は走行中、一時停止を無視し右折してきた相手四輪と出合い頭に衝突し、走行方向右側に転倒した。	36	110101	100 ～ 299
		一般道を北より南に向かってバイクで走行していた。ライトは点けていたが、縁石に気付かず、バイクごと石に当たり、転倒して頭部を打った。			30～

7	5～6	なお、当時はヘルメットを着用しており、新聞を配達して職場に戻る途中であった。	66	80205	49
7	15～ 16	車を運転中、後ろを走っていた車の運転手の前方不注意により追突され、首を捻挫した。	45	80409	10～ 29
7	10～ 11	出張先へ向かうために自動車を運転中、玉突き事故で止まっている4台目の車（大型車）の後部に追突した。その後、自力で車外に出て、救急車で搬送された。	30	130101	1000 ～ 9999
7	10～ 11	業務終了後の帰社途中、直線道路を走行中に、脇道から左折にて進入してきた車がセンターラインを越えて来たため、避けきれずに正面衝突した。	53	80209	10～ 29
7	4～5	朝刊配達中、原付バイクで交差点を右折したところ、対向車線より直進してきた乗用車と衝突した。その際、原付バイクは左後方部分が大破し、乗用車は左前部を破損した。なお、乗用車の運転手は酒気帯び運転であった。	66	80205	50～ 99
7	11～ 12	配達業務のため、私道を自動二輪車で直進中、前方の道が悪いため減速していたところ、前ブレーキがロックして左側へ転倒し、左膝を地面に打って負傷した。なお、事故発生前は雨が降っており、地面が濡れていた。	42	110101	50～ 99
7	8～9	電気工事に伴う交通誘導警備を行うため、バイクで移動中、前方不注意によりハンドル操作を誤り、道路脇の側溝へ突っ込み転倒し、右肩と右肋骨を強打した。	55	170201	300 ～ 499
7	14～ 15	当該車両が整形外科前の道路を西進していたとき、相手車両が薬局駐車場よりバックにて急発進し、接触した。	47	40201	30～ 49
7	15～ 16	駐車場を出て左折したとき、左に寄り過ぎて、そのまま電柱に衝突した。その際、アクセルを踏み込んだため、衝撃が強かった。	31	130201	30～ 49
		お客様にピザを配達後、店舗に帰る途中、交差点近くの二車線目をバイクで走行中、相手車両が中央分離帯を越えて右折してきたので、回避で			

7	20～ 21	きず、被災者は相手車両の前方フロント部分に接触し、車両の下敷きになり、そのまま引きずられた。その際、右股関節脱臼骨折、右大腿骨骨折の怪我を負った。	32	80209	10～ 29
7	11～ 12	50ccバイクで直進中、交差点内で左方より自動車が直進して来たため、自動車の前方右側に左胸部が接触した。その際、バイクと共に右側へ転倒し、肋骨を骨折した。	62	120109	50～ 99
7	9～ 10	会社へ出勤後、拠点から顧客宅へ向かう途中、会社近くの見通しの悪い交差点で、車同士の接触事故が起きた。	40	90103	30～ 49
7	16～ 17	訪問看護先から次の訪問看護先へ向かって中央分離帯側を走行中、渋滞で停まっている車に追突した。	44	170209	1～9
9	9～ 10	路線バスの運行中、バス停を通過後、走行していた際、左側道路から出てきた自家用車に衝突され負傷した。	42	40202	100 ～ 299
9	22～ 23	タクシー乗務中、お客様を乗せて交差点で赤信号のため停車中に後方車両が発進したため追突された。追突の衝撃により首と腰を痛めて、部分入れ歯を引っかけていた本歯が抜けてしまった。	59	40201	100 ～ 299
9	3～4	片側車線の道路で、新聞配達でバイクを運転中、交差点（T字路）にさしかかったところで、確認をせずに右折したため、右側から来た車と接触し、そのまま転倒し負傷した。	58	80205	10～ 29
9	17～ 18	郵便物の配達終了後の帰局途中、信号の無い交差点にさしかかり、減速し直進で進入する際に、対向車が来ており左側に寄ったところ、左側のガードレールとの距離の目測を誤り、ガードレールに衝突した。なお、直進先の道幅は狭くなっていた。	21	110101	300 ～ 499
9	16～ 17	被災者は自動二輪車に乗務し配達業務に従事中、次の配達の為T字路交差点を右折しようと減速しながら交差点へ進入していた。軽乗用車の右折してくるのに気づき交差点手前2メートルの所で停車したが、相手車両がバイクの存在に気づかず、当方走行車線を横切るように走行してきたた	30	110101	100 ～

		め衝突した。その際、バイクが右側に転倒し、70cm引きずられた際に右足を地面とバイクに挟み骨折した。			299
9	10～ 11	Y字路交差点で赤信号のため停車中、後続車両に追突された。後続車両のドライバーがアクセルとブレーキを踏み間違えたことによる被害。	47	80209	10～ 29
9	7～8	店の新店オープニングセールの販売応援に向かう途中穏やかなカーブで、ハンドル操作を誤り、反対車線にはみ出してしまい対向車と正面衝突した。その衝撃で車が回転し、後続から来ていた車にも衝突してしまった。	23	80201	10～ 29
9	3～4	バイクを使用して朝刊配達作業中、道幅の狭い下り坂の道路を走行中に、早朝夜明け前で足元が見えづらく、バランスをくずしてバイクごと右側に転倒して頭部位、前頭部位、右手部位、右肘部位、右膝部位を路面に強打して痛み受傷したものである。事故前後の記憶に曖昧な部分があり負傷場所等は不明。	63	80205	10～ 29
9	16～ 17	二輪車で配達終了後、帰局中郵便局前の片側一車線が道路から局構内に入ろうと右折した際に、四輪車が局構内通路の中央寄りを走行してきたので、行き違いができないと思い歩道手前で停止したところ、四輪車はそのまま走行してきた、二輪車前部と相手方車両右前部が衝突して転倒し負傷した。なお、相手方は、衝突する寸前で当方に気づきブレーキとアクセルを踏み間違え、二輪車を引きずったまま道路反対側の歩道手前で停止した。	59	110101	100 ～ 299
9	18～ 19	配達中、周りが暗くなりカーブを曲がろうとした時、道路のアスファルトが砕けているのに気がつかず、前輪のタイヤがはまってしまい衝撃でバイクのステップが左足くるぶし部分に当たってしまい怪我をした。	18	110101	100 ～ 299
9	16～ 17	地内に於いて下水道工事の交通誘導業務の現場勤務終了後、自動車営業所への帰路に就いていた。途中、十字路に於いて、右側より一時停止しない相手車両が十字路に進入して来て相手車両の側面と衝突し受傷したものである。	35	170201	50～ 99

9	3~4	90ccバイクを使用して朝刊配達用に上りすべって転倒。歩道の縁石とバイクに右足が挟まれた状態となり動けなくなった。	61	80205	10~ 29
9	6~7	朝刊配達後、お店に戻るためバイクで走行中、雨で滑って転倒してしまい、右脚骨折したものである。	48	80205	10~ 29
9	15~ 16	保険の募集活動を終え帰社する途中、赤信号で停止中に、後方から来た車に追突された。	29	90103	100 ~ 299
9	20~ 21	三輪付バイクで配達中の復路にて、交差点を右折する際、前輪のブレーキのみをかけてしまい、タイヤがスリップし、右側に転倒して、右肩を地面に強打した。	19	140201	10~ 29
9	16~ 17	関連会社事業所から、当社従業員が当社社用車（ワゴン）を運転し、業務上使用する試験機器数点を当社工場へ搬送中、自動車道上りインターチェンジ付近に於いて、前方渋滞を確認、減速停止直後、後方よりトラックに追突され、被災した。	30	10805	10~ 29
9	16~ 17	社員は販売業務を終え、お客様敷地からバイクで右折で出ようとした。その際、右方から乗用車が来ていたので通過するのを待ち、通過後に右折を開始したが、乗用車に続いて走行していたバイクを見落として道路に進入したため、社員バイクの右側、右足付近に相手バイクの前方部分が衝突し、社員は右足を負傷して救急搬送された。	27	110101	300 ~ 499
9	16~ 17	訪問看護のため利用者宅に向かって、原付バイク走行中、交差点右折直後、雨のためスリップし左側に転倒し、下肢が原付バイクの下敷きとなる。痛みと腫れが強くなり、整形外科病院でMRI検査を受けた。	57	130101	100 ~ 299
9	12~ 13	交差点にて信号待ちをしているところに、後方より追突された。	48	30309	30~ 49
9	7~8	仕事現場に向かう途中、自動車道下り出口を出た合流付近で、乗車中の車が雨でスリップ。合流線のポールを倒し反動で左側のガードレールに車体右後方が接触。その勢いで助手席側に横転し、そのまま100m程滑	32	30203	10~ 29

		走したのち止まる。その際、助手席にいたため割れたガラスや地面の砂利などが左肘から手首まで数ヶ所刺さる。			
9	7~8	仕事現場に向かう途中、自動車道下り出口を出た合流付近で乗車中の車が雨でスリップ。合流線のポールを倒し、反動で左側のガードレールに車体右後方が接触。その勢いで助手席側に横転し、そのまま100m程滑走したのち止まる。その際、助手席の後ろに乗車。シートベルト未着用だったため、左右に体が大きくゆさぶられ、横転の際に左側を強打。脇腹、首などを痛める。	66	30203	10~ 29
9	11~ 12	郵便物を配達しようとバイクを運転しているとき、ハンドル操作を誤り転倒した。その際、身体がバイクの右側に投げ出されるように倒れ込み、左足のすねを車体に打ちつけた。	37	110101	100 ~ 299
9	2~3	信号のない交差点で、走行している車と衝突し、負傷した。朝刊の配達中である。	40	80109	10~ 29
9	12~ 13	バイクで次の配達先まで走行中にバランスを崩し、左足がステップから滑り左側に転倒してバイクの下敷きになり、左足を負傷した。	36	110101	500 ~ 999
9	15~ 16	上記被災場所工事現場のゲートから工事車両を入れる為、一般車両を一旦停止させ完全に停止したのを確認したので、工事車両の誘導し始め、工事車両が現場内に入りきっていないにもかかわらず、停止させていた一般車両が動き出し、該当警備員の足を引き逃走されたものである。	52	170201	50~ 99
9	16~ 17	交差点の手前でバイクにて夕刊配達終了後、帰店途中に右折車両、左折車両に気づいてブレーキをかけたがタイヤが雨でスリップして転倒し負傷した。	58	80205	30~ 49
9	14~ 15	新聞配達のため50ccバイクで道路を走行中、アスファルトの剥がされた道路工事現場を通過する際、路面の段差にバランスを崩して右側に転倒し、衝撃で肋骨6本骨折、右肩、顔面、膝、肘打撲の負傷した。	69	80205	10~ 29
		通行止め区間の案内の業務を行っていた所、前方から40~50代の男性が			100

9	10～ 11	運転する乗用車が向かってきて、勢いよく右折をしてきたので、その際に前輪タイヤ付近の車体がぶつかり被災した。相手は被災者にぶつかった後に、そばにある脇道にそのまま右折して逃走した。	26	170201	～ 299
9	5～6	バイクで朝刊配達業務中、上記場所を走行中、転倒、バイクが身体におおいかぶさり、負傷したものである。	73	80205	10～ 29
9	4～5	交差点にて信号待ちをしていたところ、後ろから来た乗用車に追突される。	60	40201	100 ～ 299
9	2～3	交差点内にて乗車の申し込みがあり、乗車後交差点と指示され後方なので交差点内だが、後方の車が直進の途切れた所で右折を開始してしまい、対向の直進車が助手席側面に衝突し当方車両が転覆した。	60	40201	100 ～ 299
9	10～ 11	車道と歩道の上に設置しているポールの後ろにバイクを停車して配達先へ向かった。配達後、次へ向かう際にポールが前方にあるにも関わらず、バイクをまっすぐに発進させたため前方のポールに接触した。それによりバランスを崩して右側へ転倒して右肩を痛めた。	57	110101	100 ～ 299
9	8～9	配達先の道路で、原付バイクのエンジンをかけていた際、なかなか始動しなかった状況で、ブレーキの握りが甘くなっていた為、エンジン始動時はバイクが進み、転倒、顔面を裂傷したものである。	45	40301	10～ 29
9	16～ 17	走行中、前車がブレーキを踏み停止した為、自車も停止した。その後、後方車両が時速50～60kmの速度で追突してきた。	24	30201	30～ 49
9	9～ 10	路上を会社の車両で走行中に交差点を左折しようとしたところ、歩行者が歩いていたので一時停止し、待っていたところ、後続の車両がそのまま進行してきて追突された。体を強く打ち負傷した。	25	40201	50～ 99
9	15～ 16	配達用バイクで、新聞配達の為、住宅地の狭い上り坂に入った時、道路をふさぐ様に車が駐車していた、その横左側を走行しようとした所、体のバランスを崩し転倒してしまい、1m弱下に落ち左足ひざ下を損傷した。	20	80205	30～ 49

9	14～ 15	夕刊配達順路取りの為、バイクで走行中、ゆるい右カーブ時にマンホールの上でスリップ、右側に転倒した。	37	80205	—
9	7～8	被災者は、路線バス運転士として乗務していた、停留所にてお客様乗降扱いにあたり停車中、当局車両を追い越すために車線変更を試みた後続の関係車両が目測を誤り、当局車両右後部角に接触し首と左半身を負傷した。	44	40202	50～ 99
9	5～6	上記日時にてタクシー営業中、T字路にて当方直進、一時停止不履行の相手方車両に追突され負傷したものである。	48	40201	500 ～ 999
9	10～ 11	被災者は、路線バス運転士として駅前行きを運行中、当局車が駅北口停留所に正着するため、第二車線から第一車線へ車線変更を開始した際に当該停留所手前に停車していたタクシーが急に第二車線へ車線変更したため、当局者の左側面と関係者の右フロント部分が接触し、首を負傷した。	52	40202	50～ 99
9	19～ 20	上記日時において、タクシー実車走行中、車間不足の為、先行車の停止に対応できず追突してしまい負傷したもの。	32	40201	500 ～ 999
9	11～ 12	軽四車両で配達集荷先へ移動中、信号待ちで停車していたところ、相手車両が前方不注意で当車後部へ追突してきた。	39	110101	300 ～ 499
9	2～3	住宅地に入ろうとして左折した所、一般道と歩道間の縁石に左足をぶつけてしまい、左足の甲を捻挫した。	31	80205	30～ 49
9	20～ 21	国道を業務用自動二輪車を運転し走行して、右折をしようとしたところハンドル操作を誤ってセンターライン上にある縁石に前輪を接触させて右側に転倒し、同自動二輪車と縁石の間に右足が挟まれ骨折した。	25	110101	100 ～ 299
9	15～ 16	バイクで新聞の配達中、民家へ配達後、道路を横断しようとして前方にあるミラーで右側を確認、左側を目視した際、白いものが見えたが横断した	67	80205	30～ 49

		ため車と衝突して転倒した。			
9	6～7	運行するため回送中、第一通行帯を走行していた、第二通行帯を走行してきた相手方自家用車が当方右リアコーナー部に衝突し負傷した。	36	40202	300 ～ 499
9	16～17	バイクが下り坂を走行中、前方左斜め奥の道より相手車が左折により通りに出ようとしていた。そこへ前方対向車線を走行中の第三者の車が右折により右手前斜め奥の道に入ろうとしていた。バイクは速度を落とし、第三者の対向車の右折通過後直進した、相手車は、右折車（第三者の車）に気を取られ、直進してきたバイクに気付かず、そのまま左折し衝突した。	57	90101	50～ 99
9	18～19	訪問介護を終了し自転車で営業所に帰る途中、T字交差点の青信号を渡ろうとした際、反対方向から左折してきた車と衝突し、右手首を骨折した。	55	130201	30～ 49
9	9～10	利用者の送迎中、信号のある交差点で、左折しようと信号待ちにて停車し、発進後に前車が停車した為、続いて停車したところ、後車の前方不注意によりノーブレーキで追突され、頸椎捻挫、背部、右手を挫傷した。	43	130201	10～ 29
9	12～13	自動二輪車による郵便物の配達中、次の配達先へ向かう際に下っていた時に、道から合流する相手車両と衝突し転倒した。	62	110101	100 ～ 299
9	20～21	業務が終わり、派遣先の車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻る為バイク（自己所有・通退勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停車したが当方バイクが通りすぎる前に右折を再開した為、乗用車とバイクが衝突した。救急搬送され、医師より左手・左前腕擦過傷、腰部打撲傷と診断された。	44	170101	30～ 49
		業務が終わり、車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻るため、バイク（自己所有、通勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行			

9	20～ 21	中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停止したが、当方バイクが通りすぎる前に右折を再開したため、乗用車とバイクが衝突した。	44	40301	10～ 29
9	12～ 13	標識のない交差点で、被災者がその交差点を直進しようとした際に、右側から直進してきた車と接触した。	59	130201	50～ 99
9	21～ 22	お客様を乗せ、赤信号にて停止、信号が青になった為、前車に続いて発進しようとしたところ、後方の車が追突してきたものである。	70	40201	100 ～ 299
9	4～5	住宅地で新聞の朝刊をバイクで配達中に、砂利道でハンドルを取られ、転倒し、右足首付近を骨折した。	66	80205	30～ 49
9	2～3	交差点近くをトラックにて走行中、眠気がきたのと、脇見をしてしまったことで、信号が赤になっているのに気付かず、前方車両に追突した。	34	40301	1～9
9	3～4	道路で原付バイクに乗って新聞配達中、道路脇から小動物が飛び出し、それを避けようとして電柱に衝突し転倒した。	36	80205	10～ 29
9	15～ 16	商品の集荷へ向かう為に、交差点にて赤信号の為停車（信号最前列）していた所、2台後方より玉突き過失を受けた。前に違和感を感じた為、病院へ、頸椎捻挫全治10日間の診断を受けた。	26	40301	100 ～ 299
9	12～ 13	会社の同僚の運転する車に同乗中事故に遭う。	35	90103	100 ～ 299
9	11～ 12	挨拶訪問にて、被契約者宅へ向かう途中、県道に出るT字路にて停車中、前方から右折してきた軽トラックと衝突した。支社、実践教育課長が後部座席に同乗していた。	49	90103	1～9
9	4～5	朝刊の配達途中でバイク走行中、イノシシが道路脇より飛び出してきて、回避しようと急ブレーキをかけ、転倒してしまった。イノシシとはぶつかっていない。左足を受傷、なお、この地域は、山あいである。	61	80205	1～9
		夜、ミルクを渡し忘れたお客様の自宅に車で届けた後、他店舗に資材を			

9	21～ 22	借りに行く途中、対向車を走ってきたトラックと正面衝突し、負傷した。	28	140201	30～ 49
9	5～6	原付にて朝刊配達中の事故である。路上にて、原付を発進しようとした際にバランスを崩して右側に倒れ、原付と地面の間に右足を挟んでしまい負傷したものである。	35	80205	50～ 99
9	4～5	オートバイで新聞配達を終え帰社する途中、マンションの北の路上で止まっている車を避けようとしてバランスを崩し転倒し負傷した。	56	80205	30～ 49
9	19～ 20	所属車両に乗務し営業していたところ、被災者が運転する車両が追突したものである。（4台玉突き。）整形外科を受診し、頸椎、腰椎捻挫、背部両肩両股挫傷の診断を受けた。	60	40201	50～ 99
9	11～ 12	被災者は原付二輪で郵便物の配達業務に従事中、点滅信号のある交差点（被災者側）を直進しようとして交差点内に進入したところ、相手方（赤色点滅信号）の車が右側から急に交差点に進入してきたため、よけきれずに衝突。そのはずみで被災者は飛ばされ、負傷した。	47	110101	500 ～ 999
9	2～3	営業係は流し営業中、上記場所に於いて赤信号停止中、相手方車両に追突され受傷したものである。	50	40201	300 ～ 499
9	16～ 17	交差点付近で路上教習（教習生が運転、助手席にて指導）中、後続車に追突され負傷した。	37	120101	50～ 99
9	14～ 15	食材を他の店舗に借りに行った際にバイクでスリップし転倒した、前方の車が左折の為、右側を回わって通過しようとした際に滑ってしまった。	25	140201	10～ 29
9	6～7	営業係は帰宅途中、赤信号停車中、相手方車両に追突され受傷したものである。	49	40201	300 ～ 499
9	17～	お客様の会社改装祝いの品を購入するため、片側4車線の最右側を走行中、隣の3車線から突然右折しようとした相手側の車が、左側面に衝突し	57	90103	50～

	18	た。			99
9	14～ 15	被災者がセンターラインのある県道を直進中、停止線のある左の側道より軽バン（相手方）が進入しようとしてくるのを認識した。その軽バンが減速し、停止線で停止したのを確認したため、そのまま走行していると、ミラーにその軽バンが映ったので、とっさに右にハンドルをきってかわそうとしたが、衝突し、当該負傷に至る。相手方は停止線で停止はしたものの、左右を確認せず、発進したようです。	46	10806	1～9
9	15～ 16	夕刊配達のため、地内を北西方面へ走行中、交差点手前において、反対車線から店舗へ右折して侵入してきた車と衝突し負傷した。	40	80205	10～ 29
9	16～ 17	車での出張帰路中、当事者が後方座席から助手席へ移動する際、運転者が出口付近の車輛渋滞で急ブレーキをかけた。その際、当事者が前方のダッシュボード及びフロントガラスに頭部、鼻を強打した。	53	170101	50～ 99
9	4～5	配達途中、バイクで砂利道を走行中、ハンドルをとられて転倒した際、右足親指を負傷する。	61	80205	1～9
9	10～ 11	利用者迎えのため東に向かって走行中、前方停車車両を確認したため停止しようとしたが、操作を誤りブレーキを踏む事ができず、停車車両との衝突を避けるため、左にハンドルを切った所、歩道にあった電柱に正面からぶつかった。被害者は、当該送迎車両に同乗していた。	33	130201	10～ 29
9	15～ 16	走行中バス停を通過し、駅西口に向かっているところ、信号の無い交差点で一旦停止を無視した軽自動車と、バスの右側前タイヤの後部（燃料タンク付近）に衝突したものの。	41	40202	50～ 99
9	11～ 12	道幅約3メートルの道をバイクで配達中に、先搬の台風による土砂崩れによる粘土上の土が流れ出ている、その上を走行した際に、タイヤがスリップし左側に転倒し負傷。	30	110101	100 ～ 299
9	16～	利用者宅への訪問に行く際、普段走行している道が除草作業の為、迂回した結果、疎水に架かる橋を越えなければならなくなった、疎水に架かる橋を渡る為、スロープを走行、スロープ走行中にバイクの一部が階段	49	130201	30～

	17	に接触し、ふらついた結果スロープから地面に転落、バイクと共に右側の地面に3m程度の高さから叩きつけられた。			49
9	12～ 13	配達途中、直線道路を走行中、道路左端に停車していたトラックをよけるために、右側に出て走行しようとしたが、前方から軽自動車が来たので、急ブレーキをかけたところ雨で濡れた路面のため、タイヤがスリップして左側に転倒、左腕・左脚を地面に強打、そのまま滑ってトラックの後方下に入り込み、トラックの後輪右タイヤにあたって停止した。	25	110101	100 ～ 299
9	16～ 17	保険の募集活動中に自転車で支部へ戻ろうとしたところ、コンビニから車道へ出ようと自動車が停止していたため、自転車を一旦停止。車道の車の状況を確認し、通行できると思い進んだところ、停止していた自動車も動きだし、衝突した。	44	90103	100 ～ 299
9	19～ 20	飲酒運転と思われる暴走車両が構内に侵入、他車に激突後看板に接触しつつ走行を続け、業務中の被災者を轢いた。	17	80204	10～ 29
9	16～ 17	信号の無い交差点で、被災労働者及び相手方も一旦停止をした、まず被災労働者が停止し、次に相手方が停止線で停止した、相手が停止した事を確認し、優先道路を走行中であった被災労働者が相手方に会釈し、ゆっくりと前進したところ、相手方の車が視界から外れた瞬間、左の後部座席の辺りに強い衝撃を受けた、そして腰部に痛みが走り、その数日後、首、左腕に痛みが出た。	44	130201	50～ 99
9	14～ 15	病院前の横断歩道でサイクルベース店から、車で移動している時に横断歩道だけの信号で、赤信号停車時にこちらは全く安全かつ有害な状態になく前方の信号を見落とした車に後ろから追突された。	40	80209	10～ 29
9	13～ 14	降口の信号で停車中、自車両の後方を走行していた相手車両に追突され、自車両の前方に停車していた大型トラックに追突した、この事故により頭部打撲、胸骨骨折、頸部捻挫等の負傷を負ったものである。	47	170209	1～9
9	20～ 21	乗客を乗せる為、合図を出し停車していた際に後方より来た相手に右後に追突されたものである。	48	40201	50～ 99

9	12～ 13	午前配達を終え、帰局途中に信号機のない交差点を直進しようとして左側から直進してきた二輪車と衝突した、当方は転倒時に右肩肩甲骨を骨折した。	46	110101	100 ～ 299
9	5～6	50ccスクーターにて朝刊配達を終えて店に戻る途中、野良猫が急に道路に飛び出してきた為、とっさに避けようと急ハンドルを切った際にバランスを崩して左側に転倒し左足を強打し、はく離骨折する負傷となったものである。	25	80205	10～ 29
9	15～ 16	車両同士の接触事故で、2名乗車中、営業訪問の為、居宅等へ向かう途中、車両を一時停止（民家の壁で見通しが悪いため）し、交差点内に徐行運転で進入するが、相手側車両のフロント部分が接触する、道路の状況から相手側車両はブレーキを踏むことなく接触したと思われる、接触後は、接触場所から3メートル程おされた状態で、道路に並行状態で停車する、事故に遭遇した3名は救急車で搬送となる。	32	170209	30～ 49
9	9～ 10	出口手前300mで渋滞最後尾で停車中に後方の車両が追突（相手方が携帯を見ながらの不注意運転）事故である。	42	11603	100 ～ 299
9	16～ 17	大型マンションの配達を終え、車内でお客様と電話対応をしていた際、後方より相手車両が当方右後部に追突、車両は走行不能の為レッカー移動、当方社員は、追突で首背中等に痛みがあった。	52	40301	50～ 99
9	10～ 11	路肩に停車中のトレーラー右後部（重機運搬用低床、空荷状態）に乗車中のタクシーが追突した、乗車位置は後部座席左側で、追突の衝撃で前に飛ばされ、フロントガラスに衝突した。	51	80109	500 ～ 999
9	0～1	お送り中、信号のない交差点を直進した際、右方から来た相手車と出合頭で衝突、その弾みで住宅の塀に激突し負傷したものである。	65	40201	100 ～ 299
9	17～ 18	約2km手前で、社用車で西向きに運転している時、雨が降っていて、ガードレールに左、右とぶつかった、車は大破したが、幸いなことに単独事故で、本人も軽傷だった。	31	170209	1～9

9	15～ 16	営業所内事業所2ヶ所に食材を配送して戻る途中、下り坂のゆるやかなカーブでブレーキをかけたら車のコントロール不能となり車が左右に振られながら会社横の駐車場の車にあたり、90度反転し運転席側から会社に激突した。	55	80209	10～ 29
9	9～ 10	お客様宅から営業部へ戻る際に、営業部に入る為ウィンカーを出して止まっている時に、後ろから追突された。	64	90103	500 ～ 999
9	10～ 11	空車にて西進中、対向車線右方から飛び出してきた軽トラックと衝突した、腰部に痛みを感じたため病院を受診した。	51	40201	100 ～ 299
9	16～ 17	営業活動の為移動中、信号手前で渋滞の為、停車中に後方より追突された。	29	90209	30～ 49
9	14～ 15	交差点を郵便物の収集のため、軽四輪車に乗車中、赤信号だったので、停止線前に完全に停車していたところ、後方から進行してきた車が、原動機付自転車を跳ねた後、当社の軽四輪車へ追突してきた。その弾みで、当社軽四輪車は車ごと3m程前方へ飛ばされ、社員が負傷した。	52	110101	500 ～ 999
9	18～ 19	お客さま宅を訪問後、自動車にて帰宅途中に前の車が右折するため停車していたところ、後ろからきた車が激しく追突してきた。	53	90103	300 ～ 499
9	16～ 17	林道を自動二輪で走行中、舗装した路面に堆積した土によりスリップし左側に転倒し負傷した。	43	110101	100 ～ 299
9	7～8	業務で会社の車両を運転して、所属するガソリンスタンドへ戻るため道路を右折しようとしたが、直進してきた対向車と衝突したものである。	29	80409	10～ 29
9	4～5	バイクに乗って新聞朝刊の配達中、突然、進路前方に飛び出した「タヌキ」に激突、転倒、肩を路面に強打、肩を骨折した。	72	80205	10～ 29
		当該社員が、自動二輪車で配達先へ向かう途中、山道のカーブにさしか			

9	12~ 13	かり、カーブ後半にて、湿潤していた路面にタイヤが滑り、車体が左へ傾きかけたため、右にハンドルを切ったところ、右側へ転倒したもの。路面は前日の台風の影響で、土砂や雨水が流れ出しており、落ち葉や木片も散乱していた。	53	110101	100 ~ 299
9	4~5	新聞配達中ぐらつき、バイクごと左から川へ落ちた、自力ではい上がったが、左の肩甲骨あたりが痛くなった。	63	80205	1~9
9	13~ 14	配達先私有地、道幅約2mの緩い下り坂で右鋭角に曲がる際に砂利道にタイヤが取られバイクと一緒に右側へ転倒した、その際に右膝の内側を打った、後日、右膝骨折の診断を受けた。	55	110101	300 ~ 499
9	9~ 10	得意先へ向かう途中の高速道路を走行中、カーブで路面が雨でスリップしたため、当社営業車が横転し事故になった、周囲に他の車輛は無く自損事故でしたが、車輛は廃車となり、本人は首、肩、腰を強打し、各所むちうち症になった。	30	80209	1~9
9	12~ 13	渉外活動において、店前の公道をバイクで走行中、前方にコンビニへ入るトラックが見え減速したが、雨が降っており止まり切れずスリップして転倒、単独事故を発生させた。	23	90101	10~ 29
9	11~ 12	営業業務のため被災地交差点を自己所有の自家用車で走行していた、北側から相手車両が走行してきて、当方車両の側面に衝突してきたため、当方車両は逆さまになって大破した。救急車で運ばれCTなどによる検査を受けたが、脳・骨などに異常はなかった。	54	110101	1~9
9	14~ 15	片側一車線の主要幹線道路から次の配達先へ左折するため、時速5~10kmで左に寄ったところ前輪がスリップ（路肩分別のための白線に乗り上げたと思われる）し、縁石に接触後歩道側に転倒し、左胸を強打した。	41	110101	500 ~ 999
9	6~7	被災者は、所属会社で社用車に乗り合わせて2名で現場に向かっていた、自動車道下り線を走行中に、前方にトラックが割り込んできた為、運転手が急ブレーキをかけたところ、社用車がスリップして、道路左側のコンクリートに激突した。尚、被災者は後部座席でシートベルトを装着し	43	30209	50~ 99

		ていたが、腰を前方にずらしており、正しい着装状態ではなかった。			
9	9~ 10	同僚（上司）の運転する営業車に同乗、横断歩道手前で前方車両が、歩行者横断のために停車したのに従い、自車も停車したところ、前方不注意の後続車に追突され負傷した。	19	80209	1~9
9	16~ 17	自車が右折するために停車していたところ、左後相手車がバックで駐車場より出てきて、衝突した。	67	90103	50~ 99
9	14~ 15	仕事で、高校に向かうことになり、路上を走行中、赤信号になり車を停止中に後方からタクシーに追突された。	24	120109	10~ 29
9	5~6	送迎バスに同乗し、最後の園児を自宅へ送っていく途中で、進行方向に向かって横向きに座席にすわっていたところ（バスは現場にて停車中）後方から相手方自動車に追突してきて負傷したものである。	30	120109	10~ 29
9	19~ 20	軽四輪での配達作業中、信号のある交差点に差し掛かったが赤信号のまま交差点に進入、そのまま左方から直進していた乗用車と衝突し軽四輪は右方へ横転、頭部等を負傷した。	48	110101	100 ~ 299
9	19~ 20	仕事の見積もりの為、車で向かう途中、スピードを落とし左へ曲がろうとした時、スリップして（雨が降っていた）分離帯にぶつかった。	35	170209	1~9
9	17~ 18	本社へ戻る途中の事故で、走行中に対向車が中央線をオーバーし、自車に正面衝突され、負傷した、ブレーキをかける余地もなく突然自車の正面へ突っ込んできた。	35	40301	30~ 49
9	9~ 10	ヘルパー業務の訪問の為に向けて、公用車を一人で運転して移動中、前方不注意でよそ見をしてしまい、中央ラインをはみ出し、対向車との接触事故を起こす。事故日は、身体に異変を感じなかったが、翌日、首等に痛みが発生した。	42	130201	10~ 29
9	9~ 10	バス運行中、バス停の上の三差路にて、右折してきた軽乗用車と正面衝突したものの、事故当日はその後の勤務を行ったものの、帰宅後に両手首から腕及び首にかけて痛みが現れてきた為、翌日病院を受診したところ、「外傷性頸部症候群・両手捻挫」との診断を受けたものである。	58	40202	100 ~ 299

9	11~ 12	勤務中路上にて、公用バイクで集金先から帰行中、前方左折車両が左折開始時に前方車両左方後部と当方バイク右ハンドル付近が接触、転倒し、負傷したものである。	61	90101	10~ 29
9	9~ 10	工業高校裏側付近の農道にて、左カーブを曲がったところで前方に車と自転車があり避けようとして右側へハンドルを切り、ハンドル操作を誤り右側の2メートル程下の農地に上下さかさまに車ごと転落した。	25	130201	10~ 29
9	15~ 16	配達先から配達作業を終え、路上に出ようとした際に、右側から進んできた車に気づくのが遅れ衝突し、上記の骨折をするケガに至った。	54	110101	100 ~ 299
9	10~ 11	被災者はバスを運行しており、バス停に停車中、当該バスを追い抜かそうとした相手車がハンドル操作を誤り、バスの右後バンパーと相手車の左ボディが接触したものである。	53	40202	100 ~ 299
9	4~5	運転回送業務中にて、普通乗用自動車に同乗し信号停止していたところ、酒気帯び状態で運転する加害者の軽四乗用自動車が衝突（追突）し衝撃により被災労働者が負傷を負った。	26	170209	1~9
9	15~ 16	トンネル内でミニタイヤショベルを回送中、後方から普通乗用車に衝突され、主に、頭、首等を打撲した。	37	30199	10~ 29
9	16~ 17	小学校の現場から会社に戻る途中の緩やかな左カーブの上り坂を走行中、センターラインをはみだし、対向車の10tダンプカーと正面衝突した、同僚の運転する軽ワゴン車の助手席に乗っていたが、怪我をして病院に運ばれた。	30	30301	1~9
9	16~ 17	小学校の現場から会社に戻る途中の緩やかな左カーブの上り坂を走行中、センターラインをはみだし、対向車の10tダンプカーと正面衝突した、被災労働者が軽ワゴン車を運転しており、救急クリニックに運ばれたが、約3時間後に死亡した。	21	30301	1~9
9	7~8	通勤途中で通勤車に同乗しているときに、高速道路の先の右カーブの接合部分にある鉄製部分でスリップして衝突し、交通事故にあった。	59	30201	10~ 29

9	7~8	通勤途中で通勤車に同乗しているときに、高速道路の先の右カーブの接合部分にある鉄製部分でスリップして衝突し、交通事故にあった。	59	30201	10~ 29
10	13~ 14	当該乗務員はタクシー営業中、右側T路交差点から右折車が急に飛び出し、当方のフロント右側面に衝突、その反動で歩道側にある滑り止め用の砂ボックスに衝突したものである。	49	40201	100 ~ 299
10	15~ 16	訪問看護業務を終了して帰社の途中、交差点を通過しようとしたときに、右側の通りから走行して来た車と、当方の右側の後部と衝突。その際に、頸椎及び腰に捻挫及び打撲した。	39	130201	10~ 29
10	11~ 12	片側交互通行規制での交通誘導業務を行っていた。加害車両が右折で侵入した際、被災者のヘルメットにサイドミラーが接触し、その後前輪が左足甲を轢過し負傷した。	29	170201	30~ 49
10	17~ 18	信号、一時停止のない交差点で、通所児童の送迎で添乗業務を行っていた際、自車ハイエースと軽自動車が出合い頭に衝突した。後部補助席で児童の対応を行っており、シートベルトをしていなかった為、衝突した際の衝撃で前方に投げ出され、前座席に全身を打ちつけ、首等の痛みを訴え、搬送される。	23	130201	30~ 49
10	15~ 16	道路の舗装工事での車両通行交通整理を行っていた。マンション駐車場から車両通行車線へ進出させるため、後退で誘導後、方向転換し被災者方向に直進させた。進行車線に車両が多数往来していたため、停止合図を出し一時停止させていたが、再度発進して誘導中の被災者に接触し負傷した。	25	170201	30~ 49
10	14~ 15	自転車運転中、パチンコ店の駐車場より車が出てきて、被災者の右側に衝突、負傷。	26	90103	10~ 29
10	7~8	当該乗務員は勤務日において、お客様を実車で第3車線を走行中、第2車線を走行中の車両が急に右折してきて接触した際に負傷してもの。	43	40201	500 ~ 999
	21~	路上付近でお客様を乗せ走行中、降雨及び夜間の為、道路が見づらく、T			100

10	22	字路交差点を左折時に路肩を逸脱し、斜面より約1.5m下の田んぼに転覆した。	70	40201	～ 299
10	20～ 21	バスの運行終了後、次便に備えバスを回送し、停車した。車内の忘れ物確認を行いながら、車内後方へ歩いていたところ、自車後方に停車していたバスが誤って発進してしまい、自車に衝突し、その衝撃により負傷した。 (転倒しないよう踏ん張ったため、体に負荷がかかった。)	55	40202	50～ 99
10	8～9	交差点において、現場に向かって走行中、右折して来た車両（コンクリートミキサー車）が信号を無視したため衝突してしまい、頭部損傷によりドクターヘリで搬送された。	37	30199	50～ 99
10	8～9	工場生産を休みとして全員で健康診断を受診することにした。自宅を出て工場へ向かう途中にてカーブを走行中、ハンドル操作を誤り焦ってブレーキとアクセルを踏み間違え、縁石に乗り上げガードレールと標識にぶつかり、交通事故をおこした。	20	10104	10～ 29
10	15～ 16	交差点にてジャンボタクシーに添乗員として同乗していたところ、送迎終了後、車庫に戻る途中の赤信号で停車していた時に、軽乗用車に追突された。事故当時、被災者は運転席後部の座席にシートベルトを着用して座っていた。	52	40202	100 ～ 299
10	14～ 15	お客様に来年のカレンダーを配り終えた後、帰るために車に乗り込み道幅の狭い所で方向転換をしようとハンドルを切りながら前進と後進を繰り返していたところ、アクセルとブレーキを踏み間違え、勢いがついたまま段差約1m下の地面に落下し、前方にあった木に衝突、車内に挟まれ腰を強打した。	62	80209	1～9
10	14～ 15	交差点において青信号に変わった為、車を直進させたところ、右からの信号無視車両に追突された。	30	150102	10～ 29
10	10～ 11	当社二輪車が、T字路交差点の停止線において赤信号で停止していたところ、後方からきた相手方四輪車に追突された。	25	110101	500 ～ 999

10	10～ 11	工事契約締結のため、同市の契約担当課へ赴いた。市役所での用件が済んだので、主要地方道を通行して、会社へ帰社の途についた。その途中、県道と合流する交差点が赤信号のために停車していたが、そのとき、後方から来た乗用車に追突されて、首等を受傷したもの。	37	30110	1～9
10	22～ 23	バイクで宅配中、付近を走行している時、後続の車に追突され転倒、頭部切傷、3針縫合、全身打撲、擦傷を負った。（相手は逃走した。）	55	140201	30～ 49
10	17～ 18	営業からの帰りに渋滞中で停車していたところ、後ろから衝突され、首や背中など捻挫した。	65	170209	10～ 29
10	14～ 15	利用者宅でのサービス終了後、車で事務所へ戻る途中、信号の無い十字路で、曲がる道を1本先と思い込み、ブレーキをかけずに優先道路に侵入してしまい、優先道路からきた車と衝突、頸椎捻挫した。	59	130201	30～ 49
10	19～ 20	舗装作業に伴う規制及び車両誘導業務が終了後、会社の指示により同僚を乗せ同僚の自宅へ車で向かっていた際、被災者の前方を走る車両が交差点で左折しようとしていることを確認した。被災者は減速せずにそのまま進行しようとしたところ、前方を走る車両が停止したため、ブレーキをかけたが避けきれず、前方を走る車両の左後方と被災者の左前方が接触し、首と腰を負傷した。	23	170201	100 ～ 299
10	16～ 17	バイクで集金途中、砂が流れ出ていた為、滑ってしまい転倒した。	57	80205	30～ 49
10	10～ 11	中央線の設けられた片側一車線の直線道路から、ゆるい右カーブに差し掛かる箇所において、道路工事の片側交互通行の交通誘導を矢印誘導版、セフティーコーンを各1個設置しその内側に佇立し、対向側相動警備員1名と共に実施中、同所に向かって進行する軽四自動車を停止させようと停止合図を行ったが、同社運転者がこの合図並びに警備員に気付かず進行し、警備員は危険を察知して同車を回避しようと試みたが間に合わず、同車前部に衝突し路上に転倒し怪我を負ったもの。	66	170201	50～ 99
10	14～	郵便配達途中、交差点で先頭にて信号待ちをしていた。社員は青信号に変わったのでバイクを発進させたところ、右側から何か来たと思った	22	110101	100 ～

	15	時には避ける間もなく、右側に自動車が衝突していた。			299
10	19～ 20	配達に向かう路上を走行中、駐車中の車輛に追突し転倒。労災事故を発生させた。	65	170101	500 ～ 999
10	13～ 14	路側帯のある、道幅8mの道路で、DM便の配達を行うため、該当の通路を通過中、路側帯に駐車中のトラックに追突した。	65	40301	30～ 49
10	13～ 14	お客様宅を訪問後、車で帰社途上の事故。走行中、鞆の荷物が気になってわき見をしてしまい、前車が減速したことに気がつくのが遅れ、焦ってアクセルを踏み込んで勢いよく衝突した。衝突で舌を噛んでしまった。疾病部位は頸椎捻挫、舌の裂傷、右足付け根、右足首、腰、両腕の痛み、めまい、吐き気。	45	90103	30～ 49
10	2～3	バイクにて朝刊新聞を配達中、対向車線で赤色灯を点けて停車中のパトカーに気を取られ、前方に停車中の車に気付くのが遅れ追突転倒、その時右足拇指、示指、中指部位を負傷した。	64	80205	50～ 99
10	15～ 16	自動二輪車で郵便物を配達中、次の配達先へ向かう途中、川沿いの緩やかな左カーブを走行中、道路上に砂利があり、タイヤを取られバランスを崩して転倒した。	28	110101	10～ 29
10	5～6	営業所で点呼を受けバスの車庫まで自家用車で移動する際、側道から本線に合流しようとしてバイクと接触し、車外で話し合いを行っていたところ、後方から来た別の車にひかれ、頭部を負傷し、翌日死亡した。	65	40202	100 ～ 299
10	13～ 14	信号のない交差点通過中に一時停止を無視した相手方車両より、右脇から追突された。（自身の車線が優先道路）	34	90103	300 ～ 499
10	21～ 22	訪問看護業務中、ご利用者様宅より施設へ戻る途中の交差点で1つ先の信号と勘違いをし通過。その際、右方向より交差点を通過しようとしている車と衝突し、左前にある歩道のポールにぶつかり車は停止、両者救急搬送となった。	49	130201	50～ 99

10	8～9	自宅から自転車で向かう途中、雨風でタイヤが滑り転倒。	68	140209	10～ 29
10	2～3	バイクで朝刊配達中、お客様宅へ配達に行く途中で、アスファルト上に海砂状の砂がたまっていて、バイクで滑り転倒し、負傷した。	69	80205	10～ 29
10	10～ 11	前日の雨で路面が濡れている山の中の道で、バイクにて外務活動を行っていた時、下り坂で左折しようとハンドルを切ったところ、スリップして転倒してしまった。その時に左足をバイクと路面に挟まれ捻ってしまった。同時に左手首を負傷した。	47	80204	1～9
10	15～ 16	夕刊の配達業務を50ccバイクで行っていたが、下り坂の右コーナーを走行中、後方からの追い越し車両をやり過ごすため左に寄り、ブレーキを掛けたところ、前輪がロックしてバランスを崩し、右に転倒した際、右足拇指下剥離骨折、両肘及両手甲部打撲等の負傷をした。	75	80205	30～ 49
10	20～ 21	当方、交差点内にて転回時、赤信号（信号無視）で走行してきた、相手方車輛に接触され被災労働者が受傷したもの。	28	40201	100 ～ 299
10	4～5	マンションの配達を終えて次の配達場所へバイクで向かう際に路上の電信柱に衝突し負傷した。	50	80205	10～ 29
10	17～ 18	自転車で交差点に直進進入したところ、右折してきた対向車が自身の右側に衝突し、自転車ごと左側に転倒した。右大腿骨挫傷（自転車のサドルが当たった）、左大腿の切り傷、左肩と左足くるぶしの擦り傷。	62	90103	500 ～ 999
10	16～ 17	路上で、業務終了の報告をするために、就業の場所より原付バイクで向かっていたときに、太陽光で眼が眩んでしまったためブレーキが遅れて、赤信号で停車している自動車に追突した。当日は負傷していないと判断して通院しなかったものの、翌朝に起床した際、胸に痛みを感じたため通院、その後さらに眼底出血がみられた。	60	170201	100 ～ 299
10	13～ 14	乗務員が優先道路走行中他の法人タクシーが一時停止無視で当社車輛の左後ろに追突の人身事故。	55	40201	100 ～

					299
10	10~ 11	プロパンガス配送のため、社用車を運転中、見通しのよい県道にて信号待ちをしていた。青信号になり発進すると、数台前の自家用車が信号のないT字路を右折しようとしたが、対向車に気づき停止し、後続車両も順次停止したので、当車両も一時停止したところ、前方不注意の後続車両にノーブレーキで追突され、負傷した。	35	80409	30~ 49
10	19~ 20	赤信号2台目にて停車中に、後方車両に追突され、さらに前車に追突したものの。	58	40201	100 ~ 299
10	19~ 20	お客様の車両を誘導するために、車道に出た際に車道を走行していた別の車両と接触した。	25	80204	300 ~ 499
10	8~9	タクシー営業中、赤信号の為停車したところ、後方から来た相手車両に追突され負傷したものの。	58	40201	500 ~ 999
10	6~7	朝刊配達のためバイクで走行中、左折をしたところ右側から走行してきた車に追突され負傷した。	66	80205	30~ 49
10	23~ 24	右折の矢印信号が出たため、交差点を曲がった所左路地より相手車が飛び出して来たため、自車左後部に接触し、そのため、頭、首を負傷したものの。	54	40201	50~ 99
10	18~ 19	被災者は配達途中に交差点を右折したところ、直進してきた車（ワゴン車）と衝突しはずみで車が横滑りし、飲食店の壁に突っ込んだ。（バイク2台と特殊窓のレール及び壁に接触している）運転者は、信号の色と事故の瞬間は覚えているが、その前後の記憶を明確に思い出せない状況である。	49	110101	500 ~ 999
		現場にて、片側交互通行の交通誘導警備を行っていた。通行待ちのため、タクシーを一台停車させていた。さらに、背後マンションの駐車場			

10	13～ 14	から、住人の車が左折で出庫しようとしていた。通行可能となったため、まず、そのタクシーに通行の合図を出し通行するのを確認し、次に後ろのマンションからの車を誘導しようと後方に1、2歩下がった際、タクシー左後輪に右足が接触し転倒した。タクシーは走り去ってしまった。	48	170201	100 ～ 299
10	2～3	タクシーに乗務し青信号にて進行中、赤信号を無視した相手車両が衝突半回転し、車両後方が電柱に衝突したもののこの衝撃により負傷したものの。	68	40201	100 ～ 299
10	1～2	当方、交差点進入後、渋滞にて停車時後続車両に追突されたもの。その際、被災労働者が受傷したものの。	58	40201	100 ～ 299
10	23～ 24	タクシーに乗務中、交差点にて赤信号停車中、脇見運転の車両が轢に追突。車両が勢いにて当車に追突。当車はその勢いにて車両に追突した際その衝撃にて運転手が負傷したものの。	57	40201	100 ～ 299
10	9～ 10	前方を走行中の車両が停止したので停止したところ、後方より追突され、同時に前方の車に玉突きとなった。	29	40201	50～ 99
10	1～2	荷物を配送中に上りにて、急減速し停車した前方タクシーを避けるため右車線に移動したところ、前方に落下物（タイヤ）を発見するも避けられず、乗り上げた反動で中央分離帯に衝突して停止、その時にキャビン右前面と運転席に挟まれ、左腕と右膝を骨折する。	55	40301	30～ 49
10	18～ 19	【事故発生状況】出張のための宿泊先ホテル付近の横断歩道内（歩行者信号：青）にて、歩道内に入線しようとした右折車により衝突された。事故車の不注意によるものと思われる。事故後、警察による事故の実況見分が行われた。【本人の状況】意識はかなりしっかりとしている状態であるが、骨盤の骨折と頭部打撃傷があり詳細は検査中とのことである。	59	170209	1000 ～ 9999
10	15～	現場が終了し、自社へ帰る途中、雨の中、走行して、カーブ部分でハンドル操作を誤り、スリップして車が外壁に接触してハンドル部分に胸部	75	30106	10～

	16	を打撲被災したものである。			29
10	13～ 14	左車線を走行中、中央車線より車線変更してきた車が接触し負傷した。	29	40201	100 ～ 299
10	13～ 14	二輪車に乗って郵便局へ向かう途中、道路前方の左側に四輪車が停車していたため、減速しようとブレーキ操作をしたところ、タイヤが滑って二輪車ごと転倒した。その際、右肩を路面に強打し、右鎖骨を骨折する怪我を負った。	42	110101	300 ～ 499
10	11～ 12	走行中、カーブ付近にてスリップをして、路肩に停車していた相手方車両に接触をし、負傷をしたもの。	68	40201	100 ～ 299
10	8～9	第一車線を走行中、第二車線の車が、左ウィンカーを出していたので、その車より前に出ようと、加速した際、急に前方が渋滞し始めた為急ブレーキをかけた所、右側面に接触され左前輪が縁石と接触してしまった。	58	40201	50～ 99
10	22～ 23	当方の2台前の車が右折しようとして停車していた為、1台前の車両と当方が停止していたところ、後方より進行してきた相手車に追突され負傷したものの。	68	40201	100 ～ 299
10	22～ 23	交差点にて、信号待ちの為停車している際、後続の相手車両に接触されたものである。	63	40201	50～ 99
10	13～ 14	公園前路上にて自販機作業を終え、車輛前方で右ミラーをたたみ身体を移動させようとした瞬間、相手RV車が寄ってきて左前輪タイヤに足（左足）を巻き込み、そのまま走り去った。	42	170209	30～ 49
10	9～ 10	設備点検に車で向かう際に交差点に於て車と接触事故となり助手席に乗車していたため全身を打撲し負傷した。	50	11709	10～ 29
10	13～ 14	社用車の後部座席に乗って、事業所へ移動中、信号待ちで停止中に普通トラックに追突された。さらに前に止まっていた車に衝突した。	29	11409	30～ 49

10	12～ 13	当方ピザの配達中、先方に一時停止のある4交差での直進車同士の出会い頭事故。当方30km/h程度で進入、先方は40km/h程で一時停止せず進入し、当方の車体後部に衝突。当方は右側に転倒。	21	80209	10～ 29
10	23～ 24	交差点にて、他店の応援の為に本店へ移動している際、飲酒運転をしていた相手方の車にはねられた。その時、胸などを強く打って重体となった。	49	140201	10～ 29
10	3～4	朝新聞販売所を出発し配達中、バイクの前輪パンクによりバランスを失い転倒。路上に倒れた時に、左鎖骨骨幹部を骨折した。	68	80205	10～ 29
10	0～1	交差点を右折しようとした際、横断歩道を横断して来た歩行者がいたため手前で停止したところ、後続車両に追突されたもの。	42	40201	100 ～ 299
10	14～ 15	お客さま宅への訪問途中、交差点手前で前方の信号が直進矢印が出ていることを確認し、交差点に進入したところ、当方車両右手側より交差点に進入してきた相手車両（信号の見落とし）が、衝突してきた。	25	11602	100 ～ 299
10	4～5	新聞配達中に台風による強風（突風）にあおられ、バイクと共に転倒した。	43	80205	10～ 29
10	10～ 11	被災者は1人で交通信号機保守管理業務に従事していた。点検すべき信号機のある現場に車で向かっていたところ、交差点にて、不注意から停車中のコンテナトラックに後ろから衝突して骨折した。	22	30301	30～ 49
10	18～ 19	運転中、信号手前で停車中に後ろから追突された。（夕方の担当職場へ向かう途中の事故。）	47	90103	50～ 99
10	17～ 18	業務車両に乗って作業現場から会社へ戻る際、ガソリンスタンドに入る為に右折のウインカーを出して停止していた車両の後に停まって前の車が右折するまで待っていたところ、後続の車が業務車両に追突し、衝撃で前に押し出され、前に停止していた車に追突した。その際、頸部・背部・頭部を負傷した。	44	60101	10～ 29
	18～	当該社員は帰局の方向の道路を走行していた。走行中、対向車が切れた			100

10	19	所から自転車（三輪）が横断してきたため（横断歩道なし）出会いがし らで衝突した。	58	110101	～ 299
10	5～6	朝刊配達中、新聞を投函するため、バイクで車道側から歩道側に入ろう とした際に、早くハンドルを切りすぎて前輪が縁石に接触し転倒。その 際、左足先を縁石に強く打ちつけ、負傷したもの。	49	80205	50～ 99
10	17～ 18	交通誘導現場での勤務終了後、会社に戻るため現場を離れる際の事故。 出発してすぐ前のバイクが止まったので追突しないように急ブレーキを かけた。その時、前のブレーキがロックし、左方向に転倒し、左足を捻 挫した。	61	170201	50～ 99
10	9～ 10	本社より加工場へ行く為に会社の普通乗用車で走行中、交差点で左側よ り衝突（追突）されて、右側法面に乗り上げた。その衝撃で負傷した。 相手の車が一時停止を無視した。	46	30209	1～9
10	2～3	バイクにて新聞配達中に、店前の路上において、前方を横切った歩行者 を避けようとした際、歩行者と軽く接触し、バランスを崩して転倒し た。縁石に衝突し、胸部等を負傷した。（当日は台風による大雨で視界 は不良だった。）	52	80205	1～9
10	12～ 13	走行中、信号機赤色にて停車中、後方相手方車輛に追突されて負傷し た。（頸椎捻挫、腰椎捻挫、左肩関節捻挫。）	63	40201	50～ 99
10	15～ 16	夕刊配達の為、当社より1軒目へ向かって走行中。石けりをしていた小 学2年生が、支店近くの交差点にて左右を確認せず左方向より交差点へ飛 び出して来たため、避けきれず接触して転倒し負傷した。交差点進入前 に左側に小学生がいることは目視していたが、十分にスピードが落ちな かった為、止まれず接触した。	57	80205	10～ 29
10	8～9	電柱工事に伴う警備業務のために、会社へ移動し打ち合わせを行った 後、現場まで50ccバイクで向かっていたところ、T字路で西側から出てき た乗用車と出会い頭に衝突し、転倒した。	43	170201	10～ 29
		自動二輪車で郵便物を配達途中、一旦停止をして右折、そして左折した			100

10	21～ 22	際に道路の段差に後輪がとられて転倒。その時に自動二輪車が自分の体の上にかぶさったまま左わき腹を地面に強打。痛みがあったが当日はそのまま配達を続けた。左第7肋骨骨折の診断結果となった。	42	110101	～ 299
10	4～5	バイクで朝刊配達中、マンションの敷地に入るとき、道路と歩道を区切る西側の縁石にバイクが乗り上げ、転倒してしまい、被災してしまったものである。	68	80205	30～ 49
10	3～4	道路をオートバイにて新聞配達中、右折する際に運転を誤ってバランスを崩し転倒し負傷した。	74	80205	30～ 49
10	3～4	バイクで朝刊配達中、一旦停止を怠り自動車と衝突してしまった。その際の衝撃により、飛ばされ転倒し背中・足・手を骨折した。	70	80205	10～ 29
10	13～ 14	バイクで郵便物を配達のため運転中、山の中の道路の路面が濡れていて、泥があり、バイクがスリップし、転倒した。その際に、バイクの右側に倒れて、バイクのステップの部分がかかるぶし下部分に当たり怪我をした。	46	110101	100 ～ 299
10	5～6	路上を原付バイクで走行中、左折する際に、バイクのハンドルを切りすぎて、転倒してしまい、左肩下を強打し、骨折した。	76	80205	100 ～ 299
10	9～ 10	利用者のデイサービスへの送迎中、被災者が運転している車が、信号のない交差点で、右折時、対向車待ちで停車している際、後方より進入して来た車に衝突された。被災者は頸部・腰部を挫傷した。	47	130201	10～ 29
10	12～ 13	信号なし変則交差点を南へ向かって直進中、信号なし交差点に差し掛かったときに、左側から自分の前をバンタイプの車両が右折通過した後、交差点内で右側からきた相手方車両と衝突した。交差点内で相手方車両の発進を認知しブレーキを踏むも、間に合わなかった。	34	170201	30～ 49
10	10～ 11	当社取扱商品を車で配達途中、信号の無い交差点を直進中、出会い頭に右側から直進してきた相手車に衝突され、右側首・肩・背中・腰を打撲した。当車優先道路であった。	21	80205	50～ 99

10	21～ 22	信号待ちにて停車中、追突された。車内では、乗客、乗務員には身体前方に倒れかけ、衝撃あり、ドライブレコーダーにて衝撃映像保存済。車両は後バンパー、トランク損傷あり。	57	40201	～ 299
10	15～ 16	配達のため走行中、前方左側を工事しており重機（ユンボ）が道路にはみ出していたため道路の右寄りを走行。工事現場先にある左側道路から出てきた軽四輪と衝突した。	62	110101	—
10	6～7	勤務時間中の現場移動の際車と接触した。	45	150101	10～ 29
10	18～ 19	タクシー営業中、お客様をお迎えに行き、向かう途中、出口付近で後続車に追突された。	67	40201	100 ～ 299
10	20～ 21	自車はお客様を乗せ発進する際、後方からきた相手車と衝突。アクセルに乗せていた足をそのまま踏み込んでしまい、前方の駐車車両に接触したあと、歩道の看板をなぎ倒しながら暴走し街路樹に衝突して停止した。	73	40201	100 ～ 299
10	7～8	仕事の第1現場から第2現場へ自転車で移動中、信号が赤に変わった直後、左右の確認はしたつもりだったが左方向から発進して来たタクシーに気が付かず衝突した。	44	150101	100 ～ 299
10	0～1	当方のバイクが直進しようとして交差点に差し掛かった際、相手方自転車が赤信号を無視して交差点を対角に渡ろうと左側の歩道から飛び出してきたため、当方バイクと接触した。接触した弾みで当方のバイク運転手が右側に転倒し、左足くるぶしを負傷した。	61	170209	30～ 49
10	20～ 21	被災労働者は、乗客12名が乗車するリムジンバスを運転し、入口付近の本線左車線を走行中、入口料金所通過し、左合流車線から本線に合流してきた乗用車と接触した（乗客、相手側に怪我はなし）。	53	40202	100 ～ 299
10	16～	イベント会場設営業務のため、社用車で会場への出張移動中、5.1キロポスト付近を走行していた。濡れた路面で後輪が滑り、壁面やガードレー	32	170209	～ 100

	17	ルに複数回衝突し、車内で首・腰・背中を強打したことにより頸椎捻挫、腰部打撲傷、背部打撲傷を負った。			299
10	13～14	事務所からヘルパー訪問で利用者宅へ行くために原付で交差点を直進中、左側から左折車が出て来た。自動車との接触を避けるためブレーキをかけつつハンドルを右側へきったところ転倒し、右上腕骨折、打撲、擦過創を受傷した。	38	130201	50～99
10	3～4	自転車で朝刊配達中、現場の車道で自転車を止め、近くの読者に新聞を届けた後、自転車を押しながら次の読者宅へ移動し始めた直後、前方から進行してきた乗用車と衝突し、全身を強打し負傷した。	78	80205	30～49
10	2～3	朝刊配達業務のためバイクに乗車して、路上を走行中、誤ってハンドル操作を間違えバランスを崩して路上に転倒し、脇の石段の角にぶつかって負傷したもの。	72	80205	30～49
10	13～14	店の駐車場内通路を歩いて横断中、前方から来た右折車と接触し、右手首骨折、頭部、頸椎、腰椎、右足打撲を負った。	48	80109	100～299
10	8～9	会社からパッカー車で出発後、高速道路を走行中、カーブで左側の車が近づいてきたため、右へハンドルをきった。その際、右側壁面に車が衝突し、右側に横転した。（助手席に乗車）	56	60101	1～9
10	4～5	朝刊の配達業務中に、T字路をバイクで右折しようとしたところ、雨で濡れた道路の白線でタイヤが滑って転倒し、手をついた際に右手親指を負傷したもの。	52	80205	30～49
10	13～14	担当企業を訪問し、同市内の担当企業へ書類確認をするためバイクで訪問途上の事故。付近を50～60kmで走行中、左折してきた車と衝突して跳ね飛ばされた。現場は片側2車線の見通しのよい直線道路で信号は無かった。事故当時左レーンを走行していたが、どのように車と接触し怪我をしたかは不明。傷病部位は左手に力が入らない、全身打撲、挫傷、両膝損傷、頭痛。	37	90103	50～99

10	10～ 11	利用者様宅にて訪問介護業務を終え自転車にて事業所に戻る途中、信号のない交差点において、北から南進してきた乗用車に衝突、転倒し、負傷したもの。	36	130201	10～ 29
10	11～ 12	勤務先（事業部）を出てお客様宅に訪問する際、信号待ちで停止している時に後ろから追突された。	30	90103	30～ 49
10	12～ 13	午前の配達を終えた帰局途上、緩いカーブの下り坂において、西から東へ走行していたが、前方から脇見運転をしていた相手方四輪車が道路センターより大きくはみ出して当方バイクに向かって走行してきた。当方は相手方車両を発見し、ブレーキをかけたが、相手方車両が当方バイクに突っ込んできたために、衝突し、当方が転倒負傷した。	33	110101	100～ 299
10	13～ 14	交差点にて赤信号のため停車中に、後方より自家用普通乗用車に追突された。	63	130309	10～ 29
10	12～ 13	配達作業中、機動車で信号のない交差点を時速10km程で通過しようとしたところ、左方から直進してきた相手車両に側方から衝突され、当局社員が車両間に足を挟まれ負傷した。	50	110101	100～ 299
10	12～ 13	現場から社用車で会社へ戻る途中の現場において、対向車待ちのため停車していた所、突然後方から追突され負傷した。相手車両をそのまま逃走し、現在不詳である。	30	80109	10～ 29
10	15～ 16	バイクで新聞配達中、丁字路の突き当たりを左折するため停車していたところ、左方から交差点に進入し、対向車に気を取られた右折車に正面から衝突され負傷した。	57	80205	10～ 29
10	3～4	新聞配達中、ポストに新聞を入れるため、バイクのブレーキをかけた時、腰が痛み、転倒した。	68	80205	10～ 29
10	10～ 11	雨で濡れた道路を走行中、下り坂の路面に油があり、ハンドルが利かず転倒した。	48	110101	50～ 99
10	17～ 18	市道をデリバリー中に雨が降っていた。対向車のライトがまぶしく、目がくらみ、その時ガードレールに左側がぶつかり、右によろけ左に倒れ	19	140201	10～ 29

		た。その時左足がブロックにあたり、切傷、左手を打撲した。			
10	17～ 18	タクシーに乗務し、お客様を乗せ、東向きに走行中、交差点が赤信号のため停車したところ、相手車両に追突され負傷したものの。	61	40201	50～ 99
10	13～ 14	業務中に自家用車を運転し、踏切で電車の通過待ちで停車中に、後続車に追突され受傷した。	35	90103	10～ 29
10	18～ 19	片側3車線道路の交差点で前方の信号は青だったが渋滞しており、交差点内に進入せず停車線で止まったところ、後続車の相手方四輪車は止まらず追突された。	40	110101	500 ～ 999
10	16～ 17	バイクで道路を走行中、猫がいたためブレーキをかけた。雨で道路が濡れていたため、スリップして転倒した。	64	80205	30～ 49
10	15～ 16	現場作業員からの要請により取り付け機器の代替品を配送後、事務所へ帰社する途中の緩やかな左カーブにおいて、ブレーキを踏んだが間に合わず相手車両と衝突した。	21	30301	300 ～ 499
10	18～ 19	勤務中にバイクで店から駅前店に移動中に、人を避けようとした際にバイクが横転し負傷した。	25	140201	10～ 29
10	22～ 23	営業活動終了後、事務所に戻るために高速道路を社有車の助手席に同乗していた。当時激しい雨が降っており、その雨によりタイヤがスリップし、ハンドルとブレーキが利かなくなり、左右に激しく回転し中央分離帯に衝突・停車した。その際に車内で左腕を強打し骨折した。	29	170209	10～ 29
10	16～ 17	信号で止まっていたとき、後方から来た普通乗用車に追突され負傷した。	46	40301	30～ 49
10	16～ 17	作業現場より帰社途中、コンビニエンスストアに立ち寄り御手洗いを済ませ、南下し、緩い左カーブでよそ見をし曲がりきれず、センターラインより、対向車線へはみ出した際、対向車と接触し転倒した。当方は自動二輪車。	60	170201	10～ 29
10	15～ 16	社有車で営業のため向かっていたところ、眠くなったため引き返し、会社へ戻っていた途中で居眠りにより道路を斜行し、ブロック塀とガード	68	30199	300 ～

		レールに衝突し被災した。			499
10	13～ 14	歩道橋付近の道路で、ポスティング作業で移動中、雨の中をチラシのポスティングの際に、原付バイクを運転しているとき、雨で道路の道幅が狭くなっていることに気付かず、道路の縁石にぶつかり前方で飛ばされて、右顔面・右手・全身を強打し、打撲・擦過創のケガを負った。	19	140309	10～ 29
10	13～ 14	当該被災者はバス運転士で、バス停で乗降取り扱いのため停車、お客様1名が下車されドアを閉めた時、後方から進行してきた関係車が追突、その際の衝撃により腰に違和感があった。	40	40202	100 ～ 299
10	3～4	バイクで最終のお宅を配り終えお店に帰る途中、ゆるいカーブを走行中、砂利か小石をバイクのタイヤでふんでしまいスリップして左側に転倒。転倒の際、左肩を路面で強打。そのまま動けなくて2時間くらいずくまっていたら主任が迎えに来る。左肩頭骨骨折。	30	80205	10～ 29
10	3～4	バイクで朝刊配達中、道の両サイドがフェンスではさまれた細い道で、急に飛び出してきた鹿とぶつかり転倒した。	50	80205	1～9
10	13～ 14	社用車にて走行中、下り46キロポスト付近で、突然タイヤがバーストし、ガードレールに激突した。当日は、午前中にガス配管工事を終え、ガス器具販売店まで配管器具を購入するために高速に乗り走行中であった。	25	30203	1～9
10	16～ 17	バイクで夕刊配達していた際、横の道路（幅1m弱）から誤って崖下（高さ約1.5m）にバイクごと転落し、負傷した。	52	80205	10～ 29
10	10～ 11	肥料を買いに行った際、交通事故に遭った。	65	60101	10～ 29
10	4～5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず、対向車線上で衝突した。	38	30309	1～9
10	4～5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のため、ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。	49	30309	1～9
10	4～5	走行中、対向車線より中央線を越えてくる対向車に気づき、回避のた	33	30309	1～9

		め、右ハンドルを切ったが間に合わず対向車線上で衝突した。			
10	15～ 16	新地ターミナル行きを運行中、交差点の第二車線を走行していたところ、第三車線（直進のみ、道路変更禁止区分帯）から車線変更してきたタクシーに接触され、負傷したもの。（タクシーは、バス停車前に見えたお客様拾いをすべく、道路変更禁止区分帯（直進のみ）からバス直前へ左折してきたもの。）	42	40202	50～ 99
10	10～ 11	交差点にて相手車が一時停止せず飛び出してきたため、自車と接触し電柱に激突、自車は廃車となった。	21	90103	50～ 99
10	20～ 21	原付自転車にてお客様宅へ配達途中、堺にある見通しの良い点滅信号のある交差点において、（当方は黄点滅、相手方赤点滅）当方は左方向から進入してきた相手方（乗用車）に気付いたためスピードを緩め道路中央よりに走行していたが、相手方が当方に気付かず衝突し受傷した。	24	80209	10～ 29
10	12～ 13	営業車で直進中、脇道から横切ろうとした車輛と衝突し、営業車が大破し、運転していた当庫職員が胸部を強打し負傷した。	45	90101	30～ 49
10	18～ 19	顧客との手続きを終え、アポイント顧客宅へ車で移動中、走行時に左にそれてコンクリート壁と土手にぶつかり受傷、走行不能となった。ハンドル部分のエアバッグが作動し、胸部をエアバッグで圧迫された。その他、腹部をハンドルの下部に打ち付けた。走行時に考え事をしていた。よそ見、わき見、スマートホン操作は行っていない。	45	90103	10～ 29
10	16～ 17	バイクで郵便物を配達中、山間部の道路で前輪がスリップし、バランスを崩して転倒。舗装路であったが路面は泥がたまっており、天候も雨だったため滑りやすくなっていた。転倒した際、右脇腹をハンドルで強打したため打撲となる。	35	110101	100 ～ 299
10	3～4	配達を終え帰宅するため自動車を運転して進行中、眠気を催し、一瞬仮眠したことにより緩やかな右カーブにおいて左側用水路に路外通脱したものの。	39	40301	30～ 49
	18～	レンタカーを運転中、見通しの良い片側3車線の直線道路から左折する			10～

10	19	際、安全確認のため、一時停止したところ、いきなり相手車両に追突された。追突の衝撃で首と腰部を強打。頭もクラクラし救急搬送された。	24	80409	29
10	12～ 13	集金間の原付バイク運転中、見通しの悪い、一時停止のない交差点にて出会い頭に衝突。お互いが減速をすることなく交差点へ進入し、バンの前方左側にぶつかり、飛ばされた。	35	80205	30～ 49
10	19～ 20	新聞の集金に伺った後、燃料が少なくなってきたので、近くのガソリンスタンドに向かう途中、事故発生地左カーブでバイクの左前方の足置き場を、縁石にぶつけて転倒し、頭部・頸椎骨折・左頬骨骨折等の負傷をした。	66	80205	10～ 29
10	14～ 15	トンネル内で、事故車が走行車線に停車していて、その後方を連なって走行していた大型バス5台のうち3台は事故車の手前で急停止。1台は追い越し車線へ回避したが、最後尾の当該バスが急停止した前方のバスに追突し、衝撃で運転手が運転席とハンドル部分に下半身を挟まれ、左足ヒザと左足首を骨折する。	62	40201	10～ 29
10	7～8	会社から現場へ行くために普通乗用車で信号青で直進していたところ、前方より女性（84才）運転の軽自動車突然対向車線をはみ出しぶつかってきたため、ブレーキをかけ左側へ回避したが衝突してしまい負傷したもの。	72	30109	1～9
10	20～ 21	郵便物の夜間配達途中、団地付近の三叉路を左折するため、バイクを傾斜しながら左折したとたん左側から猫が飛び出してきたので、ブレーキをかけた瞬間バイクが横滑りして転倒し、左手こぶし、左膝、左足首を負傷。	54	110101	100 ～ 299
11	11～ 12	顧客訪問後、移動走行中に前方駐車場からバックで出て来た相手方車に追突され負傷した。	50	90103	300 ～ 499
11	19～	次の配達先に向かうため道路をバイクで直進していた際、路面凍結及び轍路面に気が付かず、後輪がスリップし右側に転倒した。その際バイクから逃げようとしたが間に合わず、バイクのステップバーに右足を潰さ	46	110101	100 ～

	20	れた。更にバイクの転倒した勢いが止まらず潰された状態から半回転した。病院を受診したところ右足腓骨骨折と診断された。			299
11	17～ 18	営業車（タクシー）に乗務し空車で第1車線を西進中、交差点西側で手が上がり15m程通過して第1車線左側に停止し乗客が歩いてくるのを待ち、左後部自動ドアを開けたところ後続より西進して来た加害者運転の車が衝突して来た。このため当該運転者が頸椎と腰椎を負傷したものである。	70	40201	100 ～ 299
11	15～ 16	バイクで夕刊配達中、中小路で氷雪の塊に乗り上げてハンドルをとられ転倒し、背中と尾てい骨を強打し負傷した。	74	80205	10～ 29
11	17～ 18	集荷中、住宅街の信号の無い交差点に（一時停止標識なし、道幅同じ）進入した際、左側から来た車両と交差点内で衝突し、負傷した。	25	110101	300 ～ 499
11	9～ 10	移動中、農道を走行中、凍結路面にて車両がスリップし、道路側溝脇に衝突し、反動で進行方向に対し、反転した状態で停車した。	34	80409	10～ 29
11	14～ 15	配達先へ向かうためバイクで走行。住宅街の車線の無い見通しの良い生活道路で道路の左側を走行していたところ、目の前の電柱が迫っていることに直前まで気付くことが出来なかった。電柱を回避しようとバイクを操作したことで電柱に接触することはなかったが、バランスを崩して右側に転倒しそうになり、右足を路面に突き出し転倒を回避しようとしたが転倒。右足の脛付近に強い衝撃を感じるとともに痛みで動けなくなり救急車を手配した。下肢粉碎骨折と診断され、緊急手術となり長期治療が必要となった。	49	110101	50～ 99
11	14～ 15	社有の軽ワゴン車両を運転中、一時停止線で停止・確認後に徐行しながら交差点に進入したところ、制限速度（30km/h）を大きく超えた速度で走行していたと推測される。左方から来た普通車両と衝突し、交差点内の歩道に乗り上げる形で停止した。	66	150101	10～ 29
	15～	信号機のない十字路交差点で、社用車にて仕入れた商品を店舗へ運搬す			50～

11	16	るため、被害者が優先直進道路を走行している時に、一時不停止の軽自動車に衝突され車が横転したため、全身打撲となった。	45	80209	99
11	5～6	県道でバイクで新聞配達中、滑ってバイクで転び右足膝を骨折した。病名（右大腿骨高原骨折）	60	80205	10～ 29
11	15～ 16	社用車を運転中、犬が北側から南側へ横断したために、ハンドル操作を誤り、道路右側の電柱に衝突し受傷したものである。	59	130201	10～ 29
11	2～3	荷物を搬入する際、トラックでの入口が分からず、反対車線側の路肩に停車し、搬入口を確認するためにトラックから降り横断する際に、走行して来た車に衝突され、ボンネットに跳ね上げられ、頭を強く打つ重傷を負った。	68	40301	10～ 29
11	17～ 18	デイサービスの送迎を終え、センターへ戻る途中、交差点で右側から出て来た車と接触した。ブレーキを掛けたが間に合わなかった。	28	130201	100 ～ 299
11	5～6	バイクで新聞配達中、信号の無い交差点を一時停止せず横切ったため右から直進して来た乗用車と接触し、転倒した。右足大腿部と膝を骨折。本人は、事故当時の記憶ははっきりしないため、状況は相手方が話していたことから判断して記入した。	65	80205	10～ 29
11	14～ 15	道路交差点にて車両を運転し進入したところ、同交差点の左手側から交差点内に車両が進入してきて、当方車両の助手席側に衝突した。当方車両がその反動で右手側の田んぼに落ち横転し車は止まったが、運転者が左第1腰椎横突起骨折などの負傷をした。	48	80102	1～9
11	20～ 21	運行中、乗車扱いのため停車した。停車中、後方より来た相手車が当方車の後方バンパーに衝突し、その衝撃で当方車に乗務していた運転士が受傷した。	46	40202	50～ 99
11	1～2	運転代行業務中、送り先の客宅から次の代行依頼のあった店へ向かう為軽自動車に同乗し走行中、進行方向右側の市道から一時停止を無視して県道との交差点に進入して来た相手車両に、右側面から激突された上、	41	170209	10～ 29

		その勢いで県道右側のコンクリート製の柵に突っ込んでしまい重傷を負ったものである。			
11	11～ 12	原付バイクで配達に従事中、走行中、道路上にあった木片に乗り上げバランスを失ったため体勢を立て直そうとしたが、木の枝や落ち葉などに滑って側溝に落ちた。その際、原付バイクはステップが引っ掛かり止まったが、はずみで投げ出された際に右手首を打ち負傷した。	21	110101	50～ 99
11	13～ 14	信号が無いT字路で、当社員は配達をしており、次の配達先へ向かうため、T字路を左折したところ、当車輛からみて相手方は左から右へ直進しており、衝突をした。周辺は工事車輛が数台停車していたため、死角が多くあり、当社員は骨折する怪我となった。	47	110101	100 ～ 299
11	6～7	梯子の上（高さ約1.4m）で植木の剪定作業中、剪定場所を変えようとした際にバランスを崩してしまったため咄嗟に梯子から飛び降りたところ、着地面がコンクリートだったため、右踵を負傷したものである。	30	40301	10～ 29
11	11～ 12	惣菜作業場で発生した。惣菜作業場内の洗い場にて、お米が入った容器を洗い終わり、移動しようとしたところ、足元の床が洗い場から飛んだ洗剤を含んだ水で濡れており、足を滑らせた。その結果、後ろ向きに転倒し、右手を床に強く打ち、頭部はトレイ置き of 什器にぶつけて負傷してしまった。	47	40301	50～ 99
11	21～ 22	配送業務で、赤信号で停止していたところ、後方より、相手車に追突され、頸椎を捻挫したものである。負傷後、我慢できる痛みの為、そのまま勤務していたが、首の痛みが増してきたため、休日に実家近くの病院で受診したものである。	69	40302	1～9
11	2～3	調理場から物品庫へ移動中に敷居に躓きよろけてしまい、右側にあったプラスチック製のゴミ箱に右腕が入ってしまった。その際に右胸がゴミ箱にぶつがり負傷してしまった。	67	80205	1～9
11	14～ 15	会社置場にて万能サンダーを使用して鉄筋を切断中、鉄筋の反動でサンダーの刃で左大腿部を切った。	30	110101	100 ～ 299

11	4～5	出庫伝票の提出中ホワイトボードに伝票を貼り付けていたところ、バックして来たフォークリフトと接触し、その際、左足をタイヤに踏まれ負傷した。	74	80205	10～ 29
11	12～ 13	電動丸鋸で木材を切っていたところ釘が節に当たって、鋸が手前側に跳ねてしまった時に手袋を巻き込んでしまい、スイッチを切るのが間に合わず、左手親指を切ってしまった。	35	80109	50～ 99
11	3～4	4階の梱包室でカゴ車を移動させようとした際に前に転倒した。その時左手及び両足ひざ下を打撲した。	70	80205	1～9
11	17～ 18	車で出勤し駐車場より会社の建物に向かう途中、駐車場と公道の境にある坂道で足を滑らせてしまい、転倒して右足首を負傷した。	45	110101	100 ～ 299
11	12～ 13	休憩後、午後作業開始と同時に厨房内で1学年分のっている長台を洗浄機側に押し移動させようとした際に、重くて動かず滑り尻もちをついた、そのとき、負傷した。	49	110101	500 ～ 999
11	12～ 13	室内にて清掃の点検中に、バスルーム内の排水溝の奥まで清掃が出来ていたか確認するため、屈みながら腰を捻った姿勢で確認していた。確認後起き上がろうとした際に、腰に痛みが走り動けなくなったため病院を受診した。	68	90103	10～ 29
11	15～ 16	生産が終わり、次の作業へ移る前の清掃の時、機械を停止させて行わなければいけないのに停止させずにゴミを除去しようとしたため指を怪我した。	56	80205	10～ 29
11	9～ 10	コンクリート製品を積み込み後、荷台上で地面に対し背中向きでラッシングを締めていた際、手が滑り約1.4m下のコンクリートの地面に背中から落下する。頭と背中を強打し救急搬送される。	64	170201	100 ～ 299
11	21～ 22	被災場所において、当方信号に従い停止した際、後続の加害車両に追突され被災労働者が負傷したものである。	53	40201	100 ～ 299

11	1~2	交差点で、右折の際に信号待ち停車中に、右側工事車両の間から、進行して来た車両に衝突され、負傷した。	68	40201	100 ~ 299
11	17~ 18	路上で、顧問先から会社に戻る途中、信号機のない交差点で、左から走行して来た車に当たる。車両右に当たり、5メートル飛ばされる。	47	170209	1~9
11	16~ 17	被災労働者は、被災場所において、渋滞の為、停止しようとした際、後方から進行してきた相手方車輛に追突され、負傷したものである。	60	40201	100 ~ 299
11	15~ 16	左側車線に停車中のタクシーの横を直進中、タクシーが急発進し、当方の前方に衝突した。	20	140201	10~ 29
11	22~ 23	乗務員がお客様1名を乗せてタクシーを走行中、前方の信号機が赤になっているのを確認し停止していた。そこに後続して走行していた軽ワゴン車が時速40km程度で当方タクシーに追突してしまい、そのはずみでタクシーが飛ばされて前に停止していた乗用車に玉突き衝突した。タクシーの車体の前後が大きく破損し乗務員とお客様が負傷した。	55	40201	100 ~ 299
11	9~ 10	タクシー乗務員として運転業務中、路上にて空車でコンビニ駐車場に入ろうと右折待ちをしていたところ、後方より進行して来た脇見運転による前方不注意の車両に追突され受傷したもので、救急搬送された。	57	40201	50~ 99
11	15~ 16	タクシー車両で走行中、路地から出て来た自家用車に接触された交通事故である。	57	40201	100 ~ 299
11	13~ 14	当方、ピザの宅配中、片側一車線の道路を原付で直進していた。当方前方不注意のため、道路左側の縁石に後輪が当たり、バランスを崩し、縁石の上の歩道から民家の門に激突した。当方歩道から車道に戻った後、縁石で転倒した。	25	80209	10~ 29
11	10~ 11	タクシー営業中、赤信号の為停止しようとしたところ、後方から来た相手車両に追突され負傷したものである。	22	40201	500 ~

					999
11	12～ 13	上り坂の信号機の無い交差点を走行中、横から車両が来ていた為（その車両は一時停止中）危険回避の為、ブレーキをかけて右側へ重心移動しハンドルを切ったところ、前輪がマンホールの蓋で滑り右側に転倒した。	60	110101	100 ～ 299
11	19～ 20	交差点（信号あり、相手方歩行者信号のみ）で、一時帰社の為、当該道路通行中に、相手車両に左側より衝突されたはずみでスピンしてガードレールに衝突し、受傷した。	58	40201	100 ～ 299
11	8～9	自宅からお客様宅にバイクで移動中、停車していたタクシーが突然目の前に割り込みをして来たため、避けようとして転倒した。タクシーと接触したが、タクシーはそのまま逃走してしまった。	29	130201	10～ 29
11	17～ 18	追越車線を時速90km前後で車両走行中、対向車線から突如タイヤが転がりながら迫って来た。タイヤは車両のフロント右側に衝突し、ガードレールに対し右に向かう形で緊急停車した。車両右側フロントは大破し、事故後、背中と腰に違和感を覚えた。	26	11301	10～ 29
11	12～ 13	配達を終了し帰局するため片側二車線の道路の左レーンをバイクに乗務し直進していたところ、信号機が青だったため交差点に進入した際に、対向車線で右折待ちをしていた乗用車が急に右折をしてきたため回避できずに追突した。	49	110101	300 ～ 499
11	22～ 23	当方原付でピザを配達中、黄色センターラインの貫通した片側一車線の道路を右折した。先方原付二輪がセンターラインをオーバーして後方から追い越した際、当方と接触し当方が転倒した。	19	80209	10～ 29
11	5～6	バイクで朝刊配達中、曲り角で歩行者を避けようとして転倒した。	60	80205	10～ 29
11	23～ 24	当該者が信号待ちしていたところ、後続車の相手方運転士がペットボトルを車内に落としたことに気を取られ、フットブレーキが緩み、当該車両に追突された。	64	40201	50～ 99

11	14～ 15	当方車両（甲）が進行中、車線変更のため追越車線から第2通行帯へ移り、そのまま第2通行帯を直進したが、左方（第1通行帯）相手車両（乙）が第2通行帯へ進路変更してきた際、当方車両（甲）に接触し、負傷したものである。	40	40201	100 ～ 299
11	13～ 14	お客様宅に年末のカレンダー配りのためバイクで訪問途上の事故である。信号の無い十字路を停止せずに左折したところ、左側から直進してきた相手車と衝突し、気付いたら左側を下にバイクごと転倒していた。事故後、救急搬送された為、2件目の訪問は出来なかった。左鎖骨骨折、左膝下外側打撲にいたった。	72	90103	50～ 99
11	0～1	当該者は信号待ちをしていたところ、信号機が青に変わり相手方が前進せず後退して来たため、逆突し当方の乗務員、乗客が負傷した。	35	40201	100 ～ 299
11	5～6	前方に川がある坂道で、新聞配達中、ハンドブレーキを引き、座席が少し高いため左手をついて降りようとし、降りかけた時に車が少しずつ動き左手だけが持って行かれた。	68	80205	50～ 99
11	18～ 19	約束のお客様訪問後、車で帰社途上の事故である。走行中、考え事をしていた前方不注意により右折レーンで停車中の車に追突し横転した。ブレーキを踏んだかは覚えていない。夕方以降はお客様訪問で残業していた。頭部打撲、首から両肩にかけて痛みがある。	62	90103	50～ 99
11	18～ 19	当方の自動二輪バイクが直進中、左側（敷地内）から相手車両が突然道路内に進入してきて当方（バイク）の左側面中央部と相手（軽四）の前部中央部が衝突し、当方はバイク共に反対車線に飛ばされた。その際、両手両膝を痛めた。	26	110101	100 ～ 299
11	8～9	路上において、廃棄物回収車にペットボトルを回収作業中、後方より進行してきた乗用車にはねられ受傷し、救急車で搬送されたものである。	71	150102	10～ 29
11	14～ 15	午後からの配達作業を行うため、側道を走行中、右側（高架下）から一時停止せずに交差点に進入して来た相手車両（前部左バンパー）と当方自動二輪車の右側部分が衝突し、負傷した。	45	110101	300 ～ 499

11	14～ 15	スピードの出し過ぎとハンドル操作の誤りにより、縁石に乗り上げ橋の欄干に激突し大破する。その際エアバッグに胸を打ち受傷する。	60	40201	50～ 99
11	2～3	県道の舗装工事の交通誘導で片側交互通行業務中に一般車にはねられて左目上部、首、腰を負傷した。	66	170201	30～ 49
11	6～7	安全サークル活動の一環として、当社手持ち工事安全パトロールで移動中、タイヤがスリップし、ガードパイプを突き破って、車ごと落下してしまい骨折等の怪我を負った。	45	30199	10～ 29
11	9～ 10	国道にて片側交互通行の作業中、停車させていた車両の通行を開始させ、1台目が規制帯を通過した後、2台目の車両が工事帯をめがけ直進し、作業帯内にいた被災者を撥ね、ボンネットに乗せたまま15m程進んだところで停車した。尚、加害者は居眠り運転であった。	44	30301	10～ 29
11	16～ 17	二輪車で配達途中、次のポスト開函先に向かい配達経路であるカーブに差し掛かったためブレーキを踏み減速した。その際、道路がアイスバーンになっていてタイヤが滑り左側に転倒した。凍結防止道路のため雪は解けていたが木の陰となり凍結していたと思われる。祝日明けで郵便物も多く配達の途中であったが、ひとまず取り集め郵便物の差し立てを優先させるため、次のポスト開函先に向かう途中に転倒し左膝を強打した。（超勤は確定させていたので、特に焦っていた訳ではない。）	24	110101	500 ～ 999
11	15～ 16	片側一車線の道路にて、営業先である病院へ向かっている途中、反対車線にはみ出し対向車線を走行中の10tトレーラーに正面衝突した。右腕橈骨骨折・背骨骨折・腰部打撲を負った。	31	80209	1～9
11	18～ 19	夕方、夜間の再配申出のため、道路を東へ進み、配達へ向かっていたところ、交差点手前で減速、左右確認を怠ったため、左方から来た相手四輪車と交差点内で衝突した、右に避けようとしたが避けられず、体が車両に叩きつけられて、左鎖骨と左腓骨を骨折した。	44	110101	300 ～ 499
11	21～ 22	お客様乗車後、目的地が分からず誤って一方通行を逆走し、交差点を確認不足で進入した際に、右側よりの直進車両と衝突した。	71	40201	50～ 99

11	18～ 19	路上を自動二輪で走行中、歩行者の腰辺りに接触し、バランスを崩し13m程右側に倒れながら流され受傷した。	64	110101	100 ～ 299
11	17～ 18	訪問先から事務所に原付バイクにて帰社途中、前方走行車両が道路渋滞により減速・停車していたことに気付かず、減速することなく、車両後部左に追突し、左側面に接触した後、バイクごと転倒した。衝突の際の記憶が不明瞭だが、ノーブレーキでぶつかっている事から、脇見運転が原因かと思われる。警察・救急隊が到着後、救急搬送された。	49	130201	30～ 49
11	7～8	空車になる直前に走行している状態で、メーター機を操作してしまい電柱に接触して頸椎捻挫したものである。	55	40201	10～ 29
11	16～ 17	荷物等を輸送するため、直線道路を走行していたところ、突然対向車線の軽四輪車が反対車線に入って逆走し、こちら側の自動車に向かってきた。突然のことだったため避けることが出来ず、そのまま正面衝突した。	69	110101	100 ～ 299
11	12～ 13	フェンス補強の作業終了後徒歩にて補助看板（点滅灯）の直しをして、現場出入口へ向かう道中にて一般車両と接触し怪我をした。	33	30107	30～ 49
11	21～ 22	消防署の前で確認のためハザードを点けて停車中、後続の車に追突された。お客様の無事を確認後本人はハンドルで、胸・肩を強く打っており、病院に搬送され治療を受けた。	23	40201	100 ～ 299
11	5～6	下りの舗装路にて、配達時（移動中）、路側に接触し、バイクが転倒し、左足が下敷きになり、骨折した。	53	80205	10～ 29
11	11～ 12	個人宅新築工事の地鎮祭に向かう最中に、現場付近の十字路にて一時停止をしたが、発進後右から来た車にぶつけられた。（運転席側の後輪付近）その際に全身打撲とむち打ちにて入院となった。	38	30201	30～ 49
11	23～ 24	信号交差点内で渋滞の為、停車していたところ、後方車両が右側へ車線変更しようとして接触した交通事故である。当方タクシー営業中で、乗客1名有り。	38	40201	50～ 99

11	19～ 20	バイクで宅配途中、駐車場前付近公道にて、反対車線の自動車が右折で駐車場へ入ろうとしてバイクと接触転倒し、左手首骨折と右膝打撲を負った。	52	140201	30～ 49
11	13～ 14	走行中、反対車線から前車を追い越そうとした車両（乗用車）が自社車両と正面衝突をしてしまった。	29	40301	100 ～ 299
11	14～ 15	一時停止をし、横断歩道で左右確認して前に出たら、右後に相手の方が当たって来られた。	66	80209	10～ 29
11	8～9	就労時間中に負傷した。赤信号のため停止中、後続の相手方車両に追突され負傷したものである。	70	40201	300 ～ 499
11	0～1	就業時間中に負傷した。当方、交差点を青信号に従い進入したところ、相手方車両が赤信号無視にて西側から進入し、同交差点内で衝突、当方車両は横転、大破し、負傷したものである。	54	40201	100 ～ 299
11	14～ 15	滞納整理を終え現場より帰社中、よそ見をしながら運転したことにより側溝に落ちる。	39	170209	1～9
11	13～ 14	担当顧客へ訪問する際、車にて向かう途中右側より出てきた車と衝突し、その後左側に車止めがありそこにも衝突し上半身を打撲した。	43	90103	300 ～ 499
11	13～ 14	緩やかな下りの左カーブから信号の無い交差点に進入したところ、右折を開始した相手車と衝突した。	42	110101	100 ～ 299
11	17～ 18	走行中、車道に停車している車両を前方不注意により気付くのが遅れ、停車中の右側後方部と自車両の左前方が追突し車両破損と怪我を負った。	22	40301	50～ 99
		加害者が給油の為来店、給油終了後に対応した被害者が送り出しの為、前道路まで誘導した。歩道に差し掛かるところで安全の為、車の一旦停			

11	14～ 15	止をジェスチャーと声で求めたところ、加害者がアクセルとブレーキを誤って踏み間違えた為、被害者を轢くに至った。車と被害者の接触については正面衝突は免れたが、右手がぶつかり、さらに倒れた体の左足部分にタイヤが乗る形となった。	26	80204	10～ 29
11	1～2	お客様をお乗せして営業中、信号の無い交差点で相手車両が南から北へ一方通行を逆走して交差点に進入し衝突したにもかかわらず、軽自動車はそのまま逃走した。乗務員は骨折した。	52	40201	1～9
11	12～ 13	自転車で横断歩道を青信号で横断中に、タクシーがノーブレーキで突っ込んできて、自転車後輪に接触し自転車ごと転倒し頭部を強打した。	69	90103	300 ～ 499
11	10～ 11	利用者宅より事業所に戻る際（もう1名のヘルパーと自転車で）に後方よりロードバイクが走っており、労働者が少し右に寄った際に後方から接触され転倒した。（ロードバイクはそのまま逃走）整形外科へ受診し、右足外果骨折と診断される。。	44	130201	100 ～ 299
11	13～ 14	顧客宅へ、マイネットとカレンダーを投函に行くところ、右折しようと、指示灯を出し停止している時に後方より、追突された。	51	90103	—
11	12～ 13	交差点赤信号で停車中に、後方より走行して来た車に追突され、負傷したものである。	67	40201	50～ 99
11	6～7	自宅から最寄り駅へ移動するため、50cc原動機付自転車を使用した。途中の信号機の無い十字路交差点に差し掛かった時、左側から交差点に進入してきた、4ナンバー小型自動車と側面衝突し被災した。	39	11509	100 ～ 299
11	11～ 12	集金に行く途中、交差点を直進しようとバイクで走行中、運転操作を誤り信号手前の歩道縁石にぶつかり、バイクごと飛ばされ頭を強く打ち出血した。	59	80205	30～ 49
11	18～ 19	訪問の仕事を終え、会社に帰る途中対向車のヘッドライトがまぶしく前が見えなくなり、自転車が歩道と車道の縁石に衝突し左側に転倒し、左側肋骨を骨折した。	54	130201	30～ 49

11	10～ 11	交差点手前で信号が青になり発進しかけた際、後方から来た2tトラックに追突された。相手運転者はブレーキとアクセルを踏み間違えたとのことである。	57	110101	500 ～ 999
11	20～ 21	乗客を降ろし、戻るため走行中、交差点で青信号だったのでUターンをしたところ西から直進して来た相手方のバイクが右後部に衝突した。このため被災者は、首に痛みを感じ、病院へ行ったところ頸椎捻挫と診断された。	62	40201	50～ 99
11	19～ 20	ピザの宅配を終え店舗への帰店途中に、（先方は北から南へ直進、当方は西から東へ走行）交差点内で出合い頭の接触事故、接触の反動によりバイクより投げ飛ばされ、頭部と体を地面に打ちつけた。	17	80209	10～ 29
11	17～ 18	お客様宅にカレンダー配布をしている際の事故。バイクで走行中、暗かったため50cm以上の段差があることに気付かずバイクごと落下し、左側に転倒してバイクの座席で腰を強打した。傷病部位は腰を3箇所骨折、左手首・左肘の打撲となった。	68	90103	500 ～ 999
11	8～9	検針233枚を持参し自宅を単車で出発した。検針へ向かう変則交差点において、センター寄りにバイクを移動させ、交差点に進入する前にカーブミラーで進入車両の有無を確認、目視を行った。右側を目視確認しようとした際、右から来た相手方車両バンパー左部分と単車前部フェンダーが衝突した。右側に転倒し、受傷した。相手方が警察・救急車を手配し、医療機関へ搬送された。	50	170209	100 ～ 299
11	19～ 20	被災者は、勤務先の業務（営業職）上において、得意先に向かう途上で四輪車を運転していた。運転中に、車内で探し物をしていたところ、進路上が渋滞しているのに気付くのが遅れ、目前で急制動を試みたが間に合わず、前走車の相手に追突してしまい、これにより受傷したものである。	55	40301	10～ 29
11	0～1	交差点路上にて、赤信号で南向きに停車中、後方より走行して来た車両に追突され負傷した。実車中の事故である。	54	40201	100 ～ 299

11	11～ 12	作業場所から次の作業場所へ移動中、バイクで踏切横断中に右折しようとして滑りそうになり、慌ててアクセルを入れてしまった結果、前方民家の壁（塀）に衝突して転倒した。雨が降っており、踏切が濡れていて滑り易い状態であった。	27	150101	100 ～ 299
11	12～ 13	社用車で取引先に向かうため、高速道路を走行中、サービスエリア付近の路面の段差で車体が浮き上がり、車体が蛇行し始めた。ブレーキを掛けたが、車両がスリップしコントロール不能となった。車体は回転しながら、中央分離帯に右後方が衝突し、その弾みで、右前方部分が左車線ガードレールに激突した。さらに回転しながら、中央分離帯で停車した。車体は大破し、自走不能となった。事故当日は、午前中に雨が降り、路面が濡れていたことと、下り坂とカーブが続く道路であったため、スピードが出やすくスリップしやすい状況にあった。	27	90103	50～ 99
11	15～ 16	車で運転中、不慣れな道であったため、誤ってガードレールに衝突した。その時は特に自覚症状は無かったが、翌日腰が痛くなり、病院に行った。	63	80209	10～ 29
11	9～ 10	物件対処のため、車両で向かっている途中、中央分離帯に乗り上げ負傷したものである。	23	170201	10～ 29
11	11～ 12	配達の為、軽バンに乗り走行している時、前方から車が来た為、道路の左側に寄ったところ道路の端の段差に左前輪がはまり、ハンドルをとられてしまい、そのまま前方の電柱に車体の左前から衝突した際、前頭部、胸部、膝を打ち負傷する。	38	140209	10～ 29
11	3～4	バイクで朝刊配達中、読者宅へ向かう為に交差点に進入した。出会い頭に直進して来た軽自動車と接触しバイクが転倒した。現場は見通しの悪い交差点でお互いあまりスピードは出ていなかった。その後配達を終え家に帰って痛みがひどかった為、救急車を呼び病院へ行った。	75	80205	10～ 29
11	16～ 17	道路で、外回り営業中、原付で緩やかなカーブを移動している時、道路の砂利部分でスリップし転倒した。転倒時に、左腕骨折・顔面や口内裂傷する怪我を負った。	33	140309	30～ 49

11	14～ 15	商品配送のため社用車を運転中、考え事をし前方不注意になりハンドル操作を誤り、時速40～50kmでコンクリート柱へ衝突した。左足、右肩を打ち、骨折、靭帯損傷となった。	59	80109	10～ 29
11	13～ 14	夕食の弁当を配送するため、交差点を車で北方向に直進していたが、東側から来た車が安全確認をせずに交差点を通過しようとしたので衝突してしまい、頸椎捻挫・右ふくらはぎ打撲を負ってしまった。	24	10109	100 ～ 299
11	4～5	バイクに新聞を乗せ配達に出ようとしたところ、バランスを崩して転倒し、救急車で病院に運ばれた。	74	80205	10～ 29
11	11～ 12	道路を直進中、右前方の配達先が近付いたため右のバックミラーで後方の車を確認した。相手車両が遠目に見えたため、右ウィンカーをあげ、1秒後位に道路中央へ寄り、右に曲がり始めたところ、すぐ後方に相手車両が迫って来ており、後ろから追突された。その際、追突された衝撃で前に押されバランスを崩し、左側に転倒し、腰等を打った。バイクはブロック塀にもたれ掛かる状態となった。	53	110101	50～ 99
11	17～ 18	被災地近くでの業務が終わり、業者の車で業者運転により業者の事務所へ戻っている途中、前方の車に追突しそうになった為、運転者が急ブレーキをかけた。その際、後部座席に座っており、体が前方に投げ出されて腰を痛めた。	51	170201	10～ 29
11	14～ 15	交差点を直進するために一旦停止していた。右側から来た車（事故相手）が左ウィンカーを出しながら減速して接近して来たので、左折すると思い、左側を確認し、車は来ていなかったため、発進しようとした。すると、右側の車は左折を直前でやめて直進し、自分のバイクと右半身、相手の車の左フロントが衝突した。	34	130102	1～9
11	16～ 17	当該被災者は、乗務中、右折のため右折レーンに停車中、対向車線の右折レーンを異常な動きで直進して来る関係車を認め危険を感じクラクションを鳴らすも、当該車の右前部に接触を受け負傷した。当日、首腰に痛みがあり病院で受診した。	43	40202	100 ～ 299

11	12~ 13	被災社員は、道路の幅員3m程度の住宅地を配達中、道路から入り込んだ配達先の配達を終え、道路を左折しようとした際、左側から来た相手乗用車と衝突した。衝突後、右側に転倒し、負傷した。	19	110101	100 ~ 299
11	0~1	信号赤で停車中、後方よりノーブレーキの普通車に追突された。	66	40201	30~ 49
11	4~5	カーブを走行中に対向車（20tトラック）がセンターラインを越えて来て運転席部分に衝突された。その際、事故の衝撃でフロント部分がへこみ身体が挟まった状態となり全身打撲した。	38	150102	10~ 29
11	5~6	配達順路に従ってオートバイを運転中、一軒のみを残し、下り坂を下り一旦停止した後左折し右に緩く曲がる道を走行中、バランスを崩し左ガードレールに接触し転倒した。その結果左手、左脇、左足に痛みを生じた。	54	80205	100 ~ 299
11	15~ 16	直進中に後の車から追突され、そのまま前方の車にも接触したものである。業務中（外回り中）	68	90103	30~ 49
11	10~ 11	配達に向かう途中、信号機の無い見通しの悪い交差点を二輪車で直進中、交差点右側から直進してきた相手四輪車が当方二輪車の右側キャリアボックスに衝突し、当方社員はその衝撃でバイクから飛ばされ背中等を打撲した。	38	110101	100 ~ 299
11	10~ 11	公用車を運転して移動中、十字路を通過しようとした際、左方向から直進した乗用車に左ドア部分に横から追突されてしまった。車両が横転し、右手の平に切り傷、右手首、首、肩、腰に打撲を負った。	39	130201	10~ 29
12	2~3	当車が、空車にて交差点を青信号で通過する際、右方向より走行して来た相手車輛が、赤信号にて交差点内に進入してきた為、出会い頭に衝突した事故である。	65	40201	100 ~ 299
12	17~18	道路を進行中、左側中通りから出てきた乗用車に衝突され負傷したものの。	43	40201	100 ~ 299

12	11~12	下り左カーブ付近の右側下の配達先に配達のため車両から降りようとしている最中に、下り右カーブを速度超過により曲がりきれなかった相手側車両の右側面が当方四輪の左後部に衝突した。	55	110101	~ 999
12	10~11	配達のため、自動二輪に乗務し次の配達先に向かおうと、道路を走行中、轍にハンドルを取られ、ハンドルが左に切れて、右肩付近（右胸上部）から転倒し、鎖骨を粉碎骨折した。	53	110101	~ 299
12	18~19	片側2車線の道と交わるT字路で、右折時に右から左へ進んできた車が停車せずにきた為、衝突した。	42	80109	10~ 29
12	8~9	当該乗務員は、タクシーを空車で走行中、左前方の歩道上よりお客様から手が上がり乗車させる為、左に寄せて停車した所、後方より走行して来た相手車に接触されたものである。	55	40201	~ 299
12	11~12	配達先敷地内で、倒れたバイクを立て直す際に、路面が凍結していたため、滑ってバイクの下敷きになり転倒した。転倒時、左肩から地面に倒れ強打し、左鎖骨を骨折した。	45	110101	~ 999
12	5~6	お客様宅に移動中、右上がりの坂を上がっていく途中で、田んぼの畦道に誤って進入し、右足から転倒した。最終的に右足が地面とバイクに挟まれた形になった。	65	80205	30~ 49
12	7~8	会社のバイクにて配達途中、下り坂カーブの雪道で転倒し、左膝を痛めた。	58	80205	100 ~ 299
12	10~11	信号で車を停車していた際に、後方から車に衝突された。	26	170201	10~ 29
12	20~21	高速道路に入る為、JC方面へ左折し、交差点を抜けた後（信号）、200m程度進んだ辺りで、前の車が停車していたにもかかわらず、脇見をしていた為に、そのまま追突をした。	48	80209	1~9
12	15~16	営業活動で自動車を運転中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に追突された。	26	90103	50~ 99

12	13~14	事故当日は大雪のため視界が非常に悪かった。北から南方面に走行中、一時停止側の相手車が積雪で標識が確認できず、さらに雪で止まりきらずに交差点に進入し、被害者の車の助手席側に衝突した。衝突の影響で2回転して反対車線に停車した。	36	90103	10~ 29
12	11~12	会社管理倉庫における棚卸し作業を終え、現場事務所へ戻るため走行中に、運転を誤り、前方を走行していた軽自動車車両後部に追突した。追突した衝撃により車体が反対車線に飛び出し、反対車線を走行していた大型ダンプトラックと正面衝突をした。追突の衝撃により、右大腿骨・骨盤・肋骨を骨折した。	52	30309	500 ~ 999
12	4~5	バイクで新聞配達中、雨で路面が暗くて視界が悪く、タイヤのスリップで縁石にぶつかり転倒した。	44	80205	10~ 29
12	12~13	車で次の打ち合せ先に移動の途中、信号機の無い交差点にさしかかり、優先道路であったため直進していたところ、右側から一時停止せず相手の車が進入してきたため、避けきれず衝突し受傷した。	41	170209	10~ 29
12	19~20	高速にて追い越しの際、追い越し車線に自損事故を起こして間もない車が横転していて、ライト等すべて消えていた為、確認が遅れて左側面を接触し、横転した。	56	170209	1~9
12	11~12	当方が信号待ちをしていた所に相手の車が追突してきた。	68	40201	30~ 49
12	15~16	前車に追従して走行中、前車が右に寄ったことから、右折すると思い込み、前車の左前をすり抜けようとしたところ、前車が左折を開始し、巻き込まれ接触し転倒した。	19	110101	100 ~ 299
12	12~13	次の配達先へ向かうため直進中、降雪により積もった雪が前輪タイヤに溜まり、ロックした状態となり、左側へ転倒した。	43	110101	100 ~ 299
12	3~4	朝刊配達中、ガソリンスタンドで、降雨により路面が悪い状態の所をバイクを運転していて、右側に転倒し、右膝と左手の甲を地面に打ちつけ	43	80205	10~ 29

		受傷した。			
12	4~5	村道上において、新聞の配達作業中、朝刊配達のため、オートバイに乗って下り坂を走行中、道路上には夜中に降った雪が10cm位積もっていた。注意して走行していたが、オートバイの前輪が滑り、バランスを崩して転倒した。転倒した際、オートバイのハンドルの上に倒れた為、左胸を強打し負傷したものである。	66	80205	100 ~ 299
12	2~3	バイクで朝刊配達作業中、暗くて前がよく見えなかったため、住宅玄関のフェンスにぶつかり左手を挟み負傷したものである。	63	80205	30~ 49
12	16~17	踏切待ちで停車していたところ、後方から走行して来た脇見運転の車両に追突され、はずみで自車前方の車両に追突した。	53	90209	30~ 49
12	11~12	助手席に同乗し、取引先へ向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車と衝突した。	48	170209	10~ 29
12	11~12	交差点で対向右折車と車両同士の事故である。	52	170209	10~ 29
12	7~8	タクシーを運転している際、信号待ちで停車していたところ、後方から追突された。	66	40201	100 ~ 299
12	11~12	前日のタクシー乗務の売上金を業務終了後に会社に入金できなかった（営業所が終わっていた）ため、非番（休日）の日に自家用車で会社へ持参しようとした際の事故である。自家用車で事務所に到着し車を降りようとしたところ、シフトレバーをパーキングに入れていると思ったが、ドライブに入ったままであった。そのため車は前進し、想定外の挙動のため慌ててしまい制動できず、そのまま自動車は敷地の外に出て縁石に乗り上げて交通事故となった。原因は、自動車操作の誤りによるものである。	69	40201	10~ 29
12	14~15	被災労働者が勤める通所介護事業所から利用者を自宅に送迎して事業所に戻るとき、坂のカーブを通過しようとしたところ、アクセル・ハンド	28	130201	10~

		ル・ブレーキ操作のミスにより、坂の路肩に乗り上げたため、車体が横転した。			29
12	16~17	現場にて、レッカーを左折退場させるため、片側車線を停車誘導中に、一般車両に追突され、頭部打撲・肩関節打撲傷・大腿打撲傷・足関節打撲傷・手指挫傷を負った。	56	170201	30~ 49
12	8~9	取引先へ使用する材料を取りに行く途中、誤って運転ミスをおかし、電柱に激突し、体を強く打ちつけ負傷した。	64	170209	1~9
12	3~4	駅入口付近にて乗客を乗車させるため停車したところ、後続車に追突され、頸椎を捻挫した。	44	40201	100 ~ 299
12	5~6	赤信号で停止していたところ、後方から追突してきた。	72	40301	100 ~ 299
12	0~1	当方バイクで道路走行中、前方を走っていた相手車が速度を緩めたため、左側に停車すると思い右側から追い越しに入ったところ、相手ライトバンが停車でなく急に右に転回して来たため、当方バイクと相手右側前タイヤ付近に接触し、転倒したものである。	42	170209	50~ 99
12	14~15	最終便に於いて、連絡道路に進入する際に、歩行者が横断中のため横断歩道手前で安全確認中に追突された。 ※被災者A：頸椎捻挫・腰部打撲 被災者B：頸椎捻挫・腰部打撲・両肘打撲	31	40301	500 ~ 999
12	14~15	最終便に於いて、連絡道路に進入する際に、歩行者が横断中のため横断歩道手前で安全確認中に追突された。 ※被災者A：頸椎捻挫・腰部打撲 被災者B：頸椎捻挫・腰部打撲・両肘打撲	29	40301	500 ~ 999
12	10~11	タクシー営業中、赤信号停車中に後方車両に追突され負傷したものである（二重追突の先頭）。	52	40201	500 ~ 999
		顧客のサービス業務を終え、一旦事務所に戻るべく、北側歩道を自転車			

12	9~10	で走行中、北から南に向かって狭い道路を運行していた加害者の車が道路に書かれた「止まれ」の標示と、一旦停止の標示板を無視して左折するべく突っ込んできたため、被災者はブレーキを掛け左にハンドルを切ったが避けられず、自転車から放り出され転倒し、胸部を強打し、負傷した。	59	130201	50~ 99
12	7~8	路上にて、渋滞中に停車したところ、後方からきた車両に追突され、前車にも玉突きした為、自車前後の損害とともに、当該乗務員が頸椎を損傷したものである。	66	40201	100 ~ 299
12	1~2	当方が空車にて走行し、当該交差点を青信号にて通過しようとした際に、相手車両が赤信号を見落とし、交差点に進入した為に衝突したものである。	62	40201	100 ~ 299
12	14~15	配達業務中に、交差点にさしかかったところ、相手方が一時停止すべきところ、それをせず乗っていた三輪バイク側面をぶつけられた。相手の一時停止義務違反が原因で、右手首を骨折した。	55	170202	1~9
12	11~12	バイクで集金中、相手車が一時停止をせずに交差点に進入したため衝突した際に負傷した。	73	80205	10~ 29
12	1~2	信号のある交差点で、赤信号を見落とし、右方より進行してきた車と衝突したものである。	61	40201	100 ~ 299
12	14~15	営業で訪問先を出て、その先に駐車していた営業車に戻るために、道路を歩いていた時、右側から来た加害者運転の車に轢かれ、右足のすねを骨折した。ぶつかるまで、相手車には気付かなかった。	55	80209	10~ 29
12	11~12	信号待ちで停車中、2台後方の車に追突され玉突きになった事故である。	41	40201	100 ~ 299
12	10~11	貴重品搬送業務のため、現金輸送車に警乗中、渋滞により停止していたところ、後方から走行して来た車両に追突され負傷した。	59	170209	100 ~

					299
12	14~15	集金業務中、バイクから降りて道路を横断中、車にはねられ負傷した。	25	80205	10~ 29
12	23~24	三輪付バイクで配達中の往路にて、裏路地の緩やかなS字カーブの終わりで悪路にハンドルを取られてしまい、前後輪にロックがかかりスリップし、そのまま左側駐車場に駐車してあった車両2台に接触し転倒した。	22	140209	10~ 29
12	12~13	当方は四輪車、相手方は原付バイクで走行していた。横断歩道に歩行者が横断待ちをしていた為、当方は停車した。その1~2秒後に相手方の原付バイクが、停車していた自車に追突し、被害者の腰部を直撃した。	44	110101	300 ~ 499
12	9~10	運転していた自動二輪が配達エリアに向かう途中、配達物が多く入っていた配達カバンが、路面による段差で、右側のフックから外れ、左側にぶら下がるようになり、左側に重心がかかりバランスをとろうとしたがバランスを崩して、走行中に右側から路面に倒れて負傷した。	59	110101	100 ~ 299
12	15~16	現場から次の現場に移動中に運転を誤って民家に突っ込んでしまい、肋骨と足を骨折し、内臓を損傷した。	76	150101	100 ~ 299
12	10~11	訪問介護を終え利用者宅からバイクに乗って移動中、坂道にて対向車が、停まっている車を避けるため車線を越えてきたので、それを避けようとしたところ転倒した。医療機関を受診し、左肘骨折と診断された。	62	130201	50~ 99
12	4~5	オートバイを運転して新聞の朝刊を配達中、信号機のない十字型交差点を直進しようとして交差点内に進入したところ、左側から一時停止をせずに進行してきた乗用車と出合い頭に接触して転倒し、負傷した。	46	80205	10~ 29
12	16~17	夕刊配達の為、原付バイクでT字路を時速20~25kmで走行中、T字交差点で、前方不注意と思われる乗用車に左から衝突され、左側に転倒し、骨盤・左脛骨・肋骨を骨折し、左肺を損傷した。	43	80205	10~ 29
12	6~7	一般宅の外構工事の為、同僚を乗せて現地に向かう際、渋滞中に停止した所、後方より追突された。	31	30209	1~9

12	15~16	取引先に車で向かう途中、交差点で赤信号で停車していたところ、後方から来たタクシーに追突された。追突の衝撃で頸部を捻挫した。	35	170209	10~ 29
12	12~13	利用者の買い物代行業務のため、スーパーに行こうとした時にT字路を右折した際、左側から直進してきた軽自動車と接触事故をおこした。本人は事故当時の記憶を失っている為、詳細は不明である。	68	130201	30~ 49
12	15~16	タクシー乗務中、乗客を乗せ、赤信号にて停止していた際、後続の車両に追突され、車内にて負傷したものである。	49	40201	100 ~ 299
12	7~8	朝刊宅配を終え、営業所へ戻るため乗用車を走行中、運転操作を誤り、住宅の壁に衝突した。その際、ハンドルに胸部を打ち負傷した。	58	80205	30~ 49
12	17~18	配達業務のため、四輪車両で走行中、道路が渋滞しており、停車していたところへ後方車から追突され、その勢いで、前の車に追突した。結果、4台の玉突き事故という事が判明し、当社社員のみ、首と腰に痛みがあり、救急車で病院へ搬送された。	53	110101	500 ~ 999
12	3~4	店舗駐車をバイクで朝刊配達中、冷え込みで消雪パイプが凍結して道路も凍結状態のため、足元が滑り、バイクごと転倒して負傷した。	43	80205	10~ 29
12	16~17	書類運搬のため横断中、前方道路から右折してきた軽自動車に気付かず接触し転倒し、右脇腹等を打撲した。	58	130101	10~ 29
12	9~10	走行中（軽トラックで業者へ納品後）、駐車場へ右折するとき前方をよく確認せずに対向車の直進車と衝突し、軽トラック左前方と相手方のムーブ前方が損傷し、左わき腹を打撲し、病院に救急車で搬送された。	71	11301	10~ 29
12	9~10	出張作業に向かう為、会社所有車を運転中、交差点（信号なし）で一旦停止を見落とし、交差点内で、右方向から進行のトラックに衝突し、負傷した。過失割合は100%と思われる。	50	30209	1~9
12	17~18	顧客訪問のため事務所を出発し、道路を直進中、信号のない交差点で左側より一時停止しない車が出てきて、相手車右側前方部分と自車前方が衝突したものである。	62	90103	300 ~ 499

12	12~13	土砂流出災害により、国道を片側交互通行にして土砂撤去作業を行っていた。交通誘導員の昼休憩のため被災者と現認者が誘導を交代した。その後、進行してきた軽乗用車が作業中の右手法面に気をとられ停止合図に気付かず、被災者と接触した。	67	30199	10~ 29
12	14~15	次の配達先へ向かうため、L字の町道を右に曲がっていたところ、L字中央部あたりに道路損傷があり、損傷上を気づかず通過したとき、前輪がとられ転倒し負傷した（バイク運転中）。	46	110101	500 ~ 999
12	7~8	仕事のため移動中、高速道路にて路面凍結によりスリップし、乗っていた車が回転しながらガードレールにぶつかり負傷した。	35	140301	10~ 29
12	7~8	仕事で移動するため高速道路を走行中、合流地点から100mほど走行した場所で路面が凍結しており、気がつくのが遅れてスリップし、左側のガードレールで接触事故を起こした。左足と左手に打撲を負った。	48	140301	10~ 29
12	5~6	バイクで朝刊の配達中、最終配達地から事業所へ帰る途中、T字路を右折する際にスリップして転倒し、右足を強打し骨折した。なお、相手車等の第三者はいない。	65	80205	30~ 49
12	4~5	朝刊配達（原付バイク、カブ50ccに乗車）途中、県道を南進中、同じく南進中の後方軽自動車に追突されて転倒し、道路脇側溝に転落し、座骨を骨折した。	45	80205	10~ 29
12	18~19	信号交差点において、配達を終え帰局途中のバイクと帰宅途中の相手方乗用車が交差点内で衝突した。バイクは前方車に続いて南東から北方向へ右折し、相手車両は北西から東へ左折をしていた。出会い頭にバイク前輪左側と乗用車右前角が接触して、さらに勢いでバイク左側面と乗用車右側面がぶつかった。バイク運転者は路上に投げ出され、救急車で搬送された。その際に左鎖骨を骨折した。双方は接触するまで互いの車両を認識しておらず、ブレーキをかけることなく走行中であった。また、相手車両が交差点へ進入する際には、青から黄色へ信号が変わっていた。	23	110101	100 ~ 299
		当日の業務で、CCTVカメラ取付作業を終了し、帰社のため下り線を運転			

12	14~15	走行中、運転操作を誤り反対車線に飛び出した。上り線のガードレールにぶつかり180度回転したところ、上り線を走行していた車運搬用トラック（キャリアカー）に後ろから衝突され負傷した。	19	30301	50~ 99
12	11~12	ニジマス放流作業のため、4t車・軽トラックへ分乗し、各放流地点を廻る作業を行っていた。河川際までは4t車は進入不可能なため、軽トラックに積み替えてピストン作業で放流していた。次の放流地点へ向かうため、右岸堤防道路から右折のため坂になっている堤防道路を上がり、一旦停止後、左右確認し右折しようとしたところ、助手席の同乗者から「左から車が来た」と注意され、ブレーキを踏んだとき、右から軽乗用車が来て衝突した。運転手と助手席の同乗者、荷台でニジマスの看守をしていた同乗者が負傷した。なお、運転手は組合役員のため労災対象外であり、もう1人の荷台に乗っていた同乗者は、衝突直前軽トラックからとび降りて負傷なし。	74	70201	1~9
12	11~12	ニジマス放流作業のため、4t車・軽トラックへ分乗し、各放流地点を廻る作業を行っていた。河川際まで4t車は進入不可能なため、軽トラックに積み替えてピストン作業で放流していた。軽トラックで次の放流地点へ向かうため、橋右岸堤防道路から右折のため坂になっている堤防道路を上り、一旦停止後、左右確認し右折しようとしたところ、助手席の同乗者から「左から車が来た」と注意され、ブレーキを踏んだとき、右から軽乗用車が来て衝突した。運転手と助手席の同乗者、荷台でニジマスの看守をしていた同乗者が負傷した。運転手は組合役員のため労災対象外であり、もう1人の荷台に乗っていた同乗者は衝突直前軽トラックから飛び降りて負傷なし。	74	70201	1~9
12	10~11	営業活動中、右側が見通しの悪い交差点で、交差車両確認のため、段階停止の2段階目の停止をした際、後方から来た車両に追突された。	50	80209	100 ~ 299
12	9~10	クリニックへお客様をお送りする際、駐車場へ入るため減速したとこ	46	40201	100 ~

		ろ、後方車両に追突された。			299
12	13~14	駅北口にて実車となり、小学校へ向かう途中、信号なしの交差点を通過するとき、左交差点道路より一旦停止不履行の一般車が、ノーブレーキで当社車両に衝突した。	53	40201	50~ 99
12	13~14	横断歩道手前で、歩行者が渡っていたので停止していたところ、後方から来た車両に追突された。	54	40201	100 ~ 299
12	17~18	原付バイクに乗車し夕刊の配達中、路上にて軽自動車と衝突し、救急搬送された。	55	80205	30~ 49
12	11~12	配達を終え、次の配達先へ自動二輪で向かう際、駐車場出入口の斜面が凍結していることに気がつかないまま凍結斜面を走行したため、スリップして転倒し、右膝を負傷した。	40	110101	100 ~ 299
12	3~4	原付バイクで朝刊配達をしている際、交差点にて右折待ちをしていたところ、後方から車に追突され転倒し負傷した。	47	80205	10~ 29
12	12~13	被災者は、バイクにて配達業務に従事中、被災地である見通しのよい交差点（信号機なし）を直進中、右方から走行してきた乗用車が、一時停止標識があるにもかかわらず、停止・左右確認が不十分なまま交差点に進入したことにより、当方バイクに衝突した。被災者およびバイクははね飛ばされ、被災者は転倒し負傷した。	42	110101	100 ~ 299
12	11~12	配達中、中央線のない緩やかなカーブにて、速度20kmで左側を走行していたが、相手の乗用車がカーブの膨らみで真ん中を走行してきたことにより、正面衝突した。	22	80209	30~ 49
12	11~12	配達業務中、当方に一時停止のある交差点に進入する際、一時停止後、カーブミラーで目視し、交差する車両を確認した。先に左折して間合おうと思い左折を開始し、右側の目視確認を十分に行わなかったため、右側から来た普通乗用車（相手車両）の前方と当社員のバイク右側側面が衝突した。	31	110101	500 ~ 999

12	4~5	原付バイクで朝刊配達を終え、販促店に戻る途中、交差点内で右折しようとしたところ、ハンドルミス（小回りになってしまった）で、中央分離帯に衝突し負傷した。	21	80205	10~ 29
12	5~6	原付バイクで朝刊配達をしている際、右にカーブした路上で曲がろうとしたときにバランスを崩し、右側にあった側溝に前輪を落として転倒し、負傷した。	61	80205	10~ 29
12	18~19	顧客への商品配達中、県道を会社の車で走行していたところ、脇道から別の車が飛び出してきて衝突した。そのときの衝撃で、右の腰から背中にかけて打撲した。	23	80109	10~ 29
12	11~12	住宅地の配達で駐車後、後方の荷台から配達商品を取り出し、車両後方から前方へ出ようとしたところ、対向車が駐車車両横を通過する際、車両側面前方と接触し転倒して、右足首を剥離骨折した。	22	40301	50~ 99
12	0~1	信号待ちで停車中、後方からノーブレーキで相手車両に追突された。	66	40201	100 ~ 299
12	21~22	交差点にて信号待ちで停車中、加害車両にノーブレーキで追突された。	68	40201	100 ~ 299
12	16~17	タクシー乗務中に停車していたところ、後方路地から出てきた車両に接触されて負傷した。	61	40201	100 ~ 299
12	12~13	事故現場（交差点）の約100m手前で、走行車線・追越車線ともに渋滞していた。右前方の車両の進入を予測し、減速したが、右折のため進入してきた相手車が、大回りして走行車線側に二車線道路を横断するように進入してきた。急ブレーキで避けきれず、相手車の左前方フェンダーと当車前輪が接触し、左側へ転倒し、相手車は当車の前輪を踏み越えて停車した。	52	170209	100 ~ 299

12	10~11	客宅を訪問するため、バイク（50cc）で走行中、交差点で青信号を確認して進入したところ、左側より相手車が赤信号で交差点に進入し、当社バイクの左側（座席下部）と相手車両の前方運転席側のバンパーが接触した。	45	170209	30~ 49
12	18~19	配送業務の途中、看板の確認が遅れ、雨のなかタイヤがスタッドレスタイヤであったためか制御不能となり、左側法面へと激突し、3回転する単独横転事故を起こした。現場は日陰になる場所で、冬場の夜間であったため凍結していたかもしれない。	40	40301	10~ 29
12	12~13	デリバリー配達中、客先へバイクで向かっていたとき、見通しの悪い十字路で一時停止を無視した車に追突され、転倒して右足に受傷した。	20	140201	100 ~ 299
12	23~24	前方の交差点信号が赤色に変わったため停止したところ、後方のバイクが自車に追突し、その衝撃で運転手（当人）が首を痛めた。	60	40201	50~ 99
12	10~11	利用者宅を訪問しようと自転車で移動中、道路で左側から自転車に衝突され負傷した。	47	130201	30~ 49
12	15~16	業務にてバイクで移動中、交差点において、トラックと衝突し負傷した。	48	130201	50~ 99
12	14~15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていたところ、貸走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	170101	30~ 49
12	14~15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていたところ、貸走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	80209	500 ~ 999

12	15~16	営業活動のためバイクにて移動中、対面二車線道路の信号のない交差点にて、当方直進に対して、対面車両が急に右折をした。その際、衝突を回避するため急停止し、転倒して負傷した。	31	90101	10~ 29
12	4~5	得意先に向っている際、現場直前で脇見運転をして視線を戻したとき、すぐ目の前に車が停止しており、急ブレーキをかけたが、ブレーキが効く前に衝突した。なお、前車は赤信号のため停止していた。	37	10109	—
12	16~17	原付バイクで走行中、対向車を避けようとして運転を誤り、電柱に衝突し負傷した。	57	80205	1~9
12	11~12	足場材を倉庫で整理中、積み方が悪かったためフォークリフトを降りて積み込みを確認中、足場が崩れて下半身を負傷（骨折）した。	65	130201	100 ~ 299
12	20~21	お客様降車後出発前に停車していたところ、自車左後方を相手方車両にバックで接触され、その際に負傷した。	56	40201	100 ~ 299
12	14~15	新聞購読の営業のため、50cc原動機付自転車で移動中、信号のない交差点で右折する際に、対向車が来たので急いで曲がったところ、歩行者が横断してきたため、急ハンドルを切って右側へ横転した。そのまま横滑りの状態で道路標識の支柱に接触し負傷した。	71	80205	10~ 29
12	14~15	訪問介護サービスで買い物の援助のため、原付バイクで東から西に直進し、交差点に進入したところ、南から北に直進してきた自転車とバイク左側が接触して転倒し、両足・首・腰を負傷した。	46	130201	100 ~ 299
12	4~5	朝刊配達中、新聞を投入してUターンするときに転倒し、右足がバイクの下敷きになり、骨折した。	52	80205	10~ 29
12	5~6	原付バイクで新聞配達中、下り坂を右方向に曲がろうとした際、ハンドル操作を誤り、転倒して坂を転げ落ち、頭部を強打した。	86	80205	10~ 29
		交差点を通過するとき、対向車線よりトラックが右折しようとしてきたので、それを避けるためハンドルを左に切ってかわしたところ、止まり			10~

12	8~9	きれずにそのまま信号機に激突した。救急車で病院に運ばれ、肋骨が1本折れていると診断された。なお、乗客および他の負傷者はおらず、右折しようとしていたトラックとの接触も無かった（ナンバー不明）。	64	40201	29
12	1~2	お客様を乗せて走行中、赤信号で停車したとき、後方より走行して来た乗用車に追突され負傷した。	59	40201	100 ~ 299
12	1~2	1日約165部のうち、63部の新聞を店所有のバイクに乗車して配達していた。3軒目への配達を終え、次の配達先へ向かう途中、工場の横の道路（幅約4m、下り斜度1~2度）を時速約20~30kmで走行中、右側（西）から突風が吹いたためバランスが崩れて、バイクが左に傾いた。体勢を立て直そうと右側に力を入れたところ、今度はバイクが右側に転倒しそうになったため、さらに右手で支えようとしたが、結局バイクごと転倒し、右腕の筋肉を痛めた。	72	80205	10~ 29
12	1~2	1日約165部のうち、63部の新聞を店所有のバイクに乗車して配達していた。3軒目への配達を終え、次の配達先へ向かう途中、工場の横の道路（幅約4m、下り斜度1~2度）を時速約20~30kmで走行中、右側（西）から突風が吹いたためバランスが崩れて、バイクが左に傾いた。体勢を立て直そうと右側に力を入れたところ、今度はバイクが右側に転倒しそうになったため、さらに右手で支えようとしたが、結局バイクごと転倒し、右腕の筋肉を痛めた。	72	80205	10~ 29
12	18~19	客先へ商品を納品する途中、走行車線から対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックに衝突した。衝突の衝撃で右股関節が外れ、救急車で病院に運ばれた。自転車とトラック共に走行不能となったが、トラックの運転手に怪我はない。	31	80409	1~9
12	14~15	営業に向かうため、公園付近をバイクで走行中（時速約20km）、疲れ等からぼーっとして前方不注意の運転となり、そのまま左のガードレールに衝突した。衝突により、バイクとともに右側に倒れて負傷した。なお、他者との接触はなかった。	24	90209	50~ 99

12	16~17	顧客宅から営業部へ戻る際、会社の駐車場に入ろうとしたとき、運送会社のトラックが動いていたため停車していたところ、後方より乗用車に追突された。	53	90103	30~ 49
12	8~9	敷地より県道へ出るため一旦停車中に、道路を逆走して歩道に進入してきた車両に左側から激突された。	27	30209	1~9
12	12~13	訪問を終えてバイクで介護センターへ戻る道中、交差点内で右折しようとした際、前方より進行してくる車に気づき、ブレーキをかけたところ車輪が滑り、バイクとともに右側へ転倒し、右手骨骨折、右胸腹部を打撲した。	54	130201	300 ~ 499
12	8~9	バイクで配達中、前方が不明瞭のためにバイクごと川に落下した。落下後に救急搬送され、業務を中止した。	46	80205	10~ 29
12	16~17	配達先から道路に左折する際、直進してきた相手方車両の左側面と衝突し、はずみでハンドルをとられ、当方車両が配達先宅の民家の鉄柵と植え込みの中の木に当たり、損傷させた。	29	110101	500 ~ 999
12	11~12	店舗より販売応援先の店へ車で移動中、前方不注意でセンターラインへ接近したため、対向車に接触し、ハンドル操作を誤り、対向車線の後続車へ衝突し、左手首・胸部・膝を負傷した。	22	80209	1~9
12	4~5	道幅約3mの道に出ようとアクセルを回したところ、道路に砂利があったこともあり、スリップして左側より転倒し、ハンドルを持った左腕を捻ったようになった。発生時は、スクータータイプの原付に乗っており、荷物等を乗せてはいなかった。	40	80205	10~ 29
12	13~14	正面入口前の歩道にて、歩道を暴走してきた普通乗用車にはねられ救急搬送された。	31	80202	1~9
12	4~5	自転車で新聞配達中に、後ろから同僚のバイクに追突され転倒し、右膝を負傷した。	70	80205	10~ 29
12	15~16	幼稚園バスの降園業務で添乗していた被災者が、バスから降りた園児の忘れ物（水筒）に気づき、急いでその園児宅に届けようとして、水筒を	21	120109	10~

		持ってバスを降り、バスの前を通過して向こうへ渡ろうとしたとき、後方から来た軽四自動車にはねられた。			29
12	13~14	お客様宅をバイクで訪問後、同地区にある飲食店で昼食を取り、年末のカレンダー配りのためにバイクで向かう途上の事故である。細い道から片側4車線の大通りを横切り、中央分離帯で一旦停車して左側の車を確認し、注意しながら横断を続けた。一番奥にも車線があったので思わず渡っていたところ、左手から猛スピードで走行してきた車に気づき、急いで渡りきろうとしたが間に合わず、衝突して救急搬送された。その際、第8~10胸椎棘突起骨折、および頭部・右肋骨部と右足踵辺りに打撲を負った。	66	90103	300 ~ 499
12	10~11	道路に面した車両周辺で積み下ろし作業中に、当該車両と離合する相手方車両と接触し、交通事故に遭った。	48	40301	50~ 99
12	15~16	西へ直進中、右折してきた対向車と接触した。	56	80202	50~ 99
12	15~16	タクシー乗務中、現場の交差点（当方黄色点滅）を通過中、相手車（赤色点滅側）が停止せず進入してきて、当方側面に衝突したはずみで全身を打った。	62	40201	30~ 49
12	17~18	交差点を右折するため、中央車線を進行していた。交差点に近づいたとき、信号機が赤色になったため、前の車両に続いて停車した。その直後、後方の車両が突然追突してきたため、全身に強い衝撃を受け、肩から腰を強打した。	67	40201	100 ~ 299
12	18~19	原付バイクにて宅配の帰りに、自車が側道から横断しようとした際に、自車の右側から来た直進車に接触した。	18	80209	10~ 29
12	15~16	夕刊配達を行っている被災者は、客先に夕刊配達を終え、次の客宅に夕刊配達を行うため新聞配達用のバイクを運転し、走行移動していた（速度30km/h）。交差点付近の路上に差しかったところ、被災者は太陽光線のまぶしさのため前方を見誤り、赤信号で停車し、信号待ちをしていた2tトラックの荷台右後部に衝突した。その際、被災者はバイクとともに	67	80205	1~9

		に左側に転倒し、左大腿部および身体の各部を路面で強く打ち負傷した。			
12	3~4	朝刊配達時、原付バイクで走行中にふらつき、ガードレールに衝突し負傷した。	33	80205	10~ 29
12	4~5	新聞配達中、坂道をバイクで走行していたところ、バランスを崩して右側に転倒し、バイクが右足の上に倒れたため、右足を負傷した。	63	80205	30~ 49
12	4~5	配達のため、南進し交差点へ進入したところ、西進して来た軽自動車が信号を無視してノンストップで進入し、当方の車側面に衝突し、当方の車両が横転した。横転した際、右手の薬指と小指を負傷した。	34	40301	30~ 49
12	7~8	営業所駐車場で停止する際、ブレーキとアクセルを踏み間違い、縁石に乗り上げ、そのまま後進し転落した。	67	40301	30~ 49
12	14~15	現場からの帰社途中、自動車の後部座席に同乗中に、運転手の脇見運転により、右カーブを直進し、歩道の縁石に乗り上げてガードレール支柱に衝突した。	37	30199	1~9
12	9~10	交差点において、右折のため停車していたところ、相手車に追突された。	76	40201	30~ 49
12	9~10	特急バスを運行していた際、道路を走行中に、反対車線を走行していた乗用車がカーブを曲がりきれず、センターラインをはみ出してきたため、正面衝突し、負傷した。	45	40202	100 ~ 299
12	16~17	当社バスで路線バスを運行中、交差点にて右折するため、停車していた。その際、第1車線を走行中のバンが、左折しようとしている前車に気づくのが遅れ、接触を回避しようとしたが、ラインをはみ出したため、第2車線走行中のトラックに接触した。バンに接触されたトラックが、接触のはずみで当社バスに接触し、負傷した。	52	40202	100 ~ 299
12	13~14	高速道路にて、中央分離帯に接触し、頸椎捻挫した。	32	10104	50~ 99
		見通しの悪く、すれ違いの難しい細い上り道を走行中に、対向車のト			

12	14~15	トラックが来たので脇に避けようとしたが、トラックが下り道で止まりきれず衝突した。	58	80205	10~ 29
12	13~14	営業部に戻る途中、青信号直進中の交差点で、右から赤信号無視の車に追突された。	29	90103	30~ 49
12	21~22	空港タクシープールにて停車中、後続車に追突され、腰を打った。	55	40201	30~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)